

履修の手引き 2026



日本医療大学 保健医療学部

日本医療大学

Japan Healthcare University

建学の精神

共生社会の実現

～病める人や障がいがある人を含む全ての人々が自立し、
その尊厳が重んぜられ暮らせる社会の実現を目指す～

基本理念

人のこころの痛みや思いがわかり、自らも成長していく

教育理念

建学の精神に基づき、深く専門の学術を教授及び研究し、
人間尊重を基盤とした専門職業人を育成して、
社会の発展に寄与するとともに人々の健康及び生活の向上に貢献する

■シンボルマーク



人を想うハートを芯に置き、そこから伸びる大きな翼で、
世界に向けて羽ばたいていく様子を表現しています。
用いたのは、伸びやかで優しく柔らかい印象の曲線と、
幸せや喜びを象徴し知性を感じさせる色。
このロゴマークのもと、これからの医療・福祉を担う人材を育てていきます。

履修の手引き 2026

目次

I 学年暦	1
II 授業と履修について	
1. 授業について	14
2. 履修について	17
3. 試験について	20
4. 単位について	22
5. 進級・卒業要件について	22
6. 成績評価とGPA制度について	24
7. 成績評価についての疑義申し立てについて	25
8. ナンバリングコードについて	25
9. 学籍異動について	26
III 保健医療学部	
III-1 保健医療学部（教育目的・教育目標・学部の方針）	30
III-2 看護学科	31
1. 概要（教育目的・教育目標・学科の方針・教育課程）	31
2. 履修について	34
3. 単位修得について	35
4. 履修科目について	36
5. 卒業要件について	37
6. 先修要件について	37
履修科目一覧	38
カリキュラム・マップ	40
カリキュラム・ツリー	42
III-3 リハビリテーション学科	44
1. 概要（教育目的・教育目標・学科の方針・教育課程）	44
2. 履修について	47
3. 単位修得について	48
4. 履修科目について	49
履修科目一覧	52
カリキュラム・マップ	56
カリキュラム・ツリー	58
III-4 診療放射線学科	62
1. 概要（教育目的・教育目標・学科の方針・教育課程）	62
2. 履修について	65

3. 単位修得について	66
4. 履修科目について	67
履修科目一覧.....	69
カリキュラム・マップ.....	72
カリキュラム・ツリー.....	74
III - 5 臨床検査学科.....	76
1. 概要（教育目的・教育目標・学科の方針・教育課程）	76
2. 履修について	79
3. 単位修得について	80
4. 履修科目について	80
履修科目一覧.....	82
カリキュラム・マップ.....	84
カリキュラム・ツリー.....	86
III - 6 臨床工学科.....	88
1. 概要（教育目的・教育目標・学科の方針・教育課程）	88
2. 履修について	91
3. 単位修得について	92
4. 履修科目について	93
履修科目一覧.....	96
カリキュラム・マップ.....	98
カリキュラム・ツリー.....	100
IV 教育課程進度表	
教育課程進度表 看護学科.....	104
教育課程進度表 リハビリテーション学科 理学療法学専攻.....	106
教育課程進度表 リハビリテーション学科 作業療法学専攻.....	108
教育課程進度表 診療放射線学科.....	110
教育課程進度表 臨床検査学科.....	112
教育課程進度表 臨床工学科.....	114
V 関係規程	
日本医療大学保健医療学部履修規程.....	118
日本医療大学GPA制度に関する内規	123

I 学 年 曆

保健医療学部 看護学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
4月				1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 4/5 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年新入生オリエンテーション 4/1 ・1年初年次教育 4/2 ・1～4年ガイダンス・健康診断 4/1～7 ・2～4年前期授業開始 4/6～ ・1年前期授業開始 4/8～ ・1～4年履修登録期間 4/8～14、変更期間 4/20～22、確認期間 4/27～28 ・1年初期実習 4/20～24
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
5月						1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念日 5/2 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年領域別実習 5/11～9/18 (成人Ⅱ、老年Ⅱ、小児、母性、地域・在宅、統合)
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
31									
6月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日医大フェスティバル 6/19～20 	
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30							
7月				1	2	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・2年基礎看護学実習Ⅰ 7/6～7/10
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31				
8月							1		<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年前期定期試験 8/4～10 ・1～2年夏季休暇 8/11～9/23 ・2～3年仮進級者試験 8/13～14 ・1～3年前期追試験 8/18～24 ・3年領域別実習 8/31～12/11 (成人Ⅰ、老年Ⅰ、精神)
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
30	31								
9月			1	2	3	4	5		<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年前期成績発表 9/11 ・1～2年後期授業開始 9/24～
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					

前期 4/8～7/31 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		14	15	15	17	16	

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 看護学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
10月					1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 10/16 (予定) ・総合型選抜 (前期) 10/17 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4年後期履修登録変更期間 10/1～5、確認期間 10/8～9 ・4年看護研究ゼミナールⅡ発表会 10/2 ・4年前期成績発表 10/23
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
11月	1	2	3	4	5	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会 11/● ・学校推薦型選抜 (前期) 11/21 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年基礎看護学実習Ⅱ 11/24～12/11
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
12月			1	2	3	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜 (後期)・総合型選抜 (中期) 12/19 ・大学休業 12/29～1/4 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年後期定期試験 12/14～18 ・4年後期追試験 12/21～25 ・1～4年冬季休暇 12/24～1/4
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
1月						1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期授業再開 1/5～
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
31									
2月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 (前期) 2/2 ・国家試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期定期試験 2/4～10 ・4年卒業判定 2/10 ・1～3年後期追試験 2/18～24 ・4年後期成績発表 2/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28								
3月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・学位記授与式 3/9 ・一般選抜 (後期)・総合型選抜 (後期) 3/11 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期成績発表 3/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					

後期 9/24～1/29 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		13	16	17	17	17	

※冬季休暇等を除く

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 リハビリテーション学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
4月				1	2	3	4	●入学式 4/5	●1年新入生オリエンテーション 4/1 ●1年初年次教育 4/2 ●1~4年生ガイダンス・健康診断 4/1~7 ●1~4年前期授業開始 4/8~ ●1~4年履修登録期間 4/8~14、変更期間 4/20~22、 確認期間 4/27~28 ●4年 PT 臨床実習Ⅲ・Ⅳ① 4/13~5/29 ●4年 OT 臨床実習Ⅲ 4/20~6/12
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
5月						1	2	●創立記念日 5/2	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
31									
6月		1	2	3	4	5	6	●日医大フェスティバル 6/19~20	●4年 PT 臨床実習Ⅲ・Ⅳ② 6/8~7/24 ●4年 OT 臨床実習Ⅳ 6/29~8/21
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
7月				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
8月							1		●1~3年前期定期試験 8/4~10 ●1~3年夏季休暇 8/11~9/13 ●2~3年仮進級者試験 8/13~14 ●1~3年前期追試験 8/18~24 ●4年 PT 臨床実習Ⅲ・Ⅳ③ 8/3~9/18
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
30	31								
9月			1	2	3	4	5		●1~3年前期成績発表 9/11 ●1~3年後期授業開始 9/14~ ●4年就職説明会 9/19 (予定) ●4年後期授業開始 9/24~ ●1~3年後期履修登録変更期間 9/24~28、 確認期間 10/1~2
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					

前期 4/8~7/31 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		14	15	15	17	16	

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 リハビリテーション学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
10月					1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 10/16 (予定) ・総合型選抜 (前期) 10/17 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年後期履修登録変更期間 10/1～5、確認期間 10/8～9 ・4年前期成績発表 10/23 ・2年 PT 臨床実習 I ① 10/26～30 ・2年 OT 臨床実習 I (前期) 10/26～30
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
11月	1	2	3	4	5	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会 11/● ・学校推薦型選抜 (前期) 11/21 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年 PT 臨床実習 I ② 11/2～6 ・2年 OT 臨床実習 I (後期) 11/2～6 ・2年 PT 臨床実習 I ③ 11/9～13 ・3年 PT 臨床実習 II 11/16～12/11 ・3年 OT 臨床実習 II 11/9～12/18
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
12月			1	2	3	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜 (後期)・総合型選抜 (中期) 12/19 ・大学休業 12/29～1/4 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4年冬季休暇 12/24～1/4
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
1月						1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期授業再開 1/5～
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
2月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 (前期) 2/2 ・国家試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期定期試験 2/4～10 ・4年卒業判定 2/10 ・1～3年後期追試験 2/18～2/24 ・4年後期成績発表 2/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28								
3月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・学位記授与式 3/9 ・一般選抜 (後期)・総合型選抜 (後期) 3/11 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期成績発表 3/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					

後期 9/14～1/29 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		14	17	18	18	18	

※冬季休暇等を除く

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 診療放射線学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
4月				1	2	3	4	●入学式 4/5	●1年新入生オリエンテーション 4/1 ●1年初年次教育 4/2 ●1～4年生ガイダンス・健康診断 4/1～7 ●1～2年前期授業開始 4/8～ ●3～4年前期授業開始 4/3～ ●1～4年履修登録期間 4/8～14、変更期間 4/20～22、 確認期間 4/27～28
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
5月						1	2	●創立記念日 5/2	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
31									
6月		1	2	3	4	5	6	●日医大フェスティバル 6/19～20	●4年前期定期試験 6/2～5 ●4年前期追試験 6/15～18 ●3年前期定期試験 6/15～18 ●4年臨床実習Ⅱ（6週）夏季休暇（6週）6/22～10/9 ●3年前期追試験 6/24～26 ●3年臨床実習Ⅰ（4週）夏季休暇（4週）6/29～9/18
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
7月				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
8月							1		●1～2年前期定期試験 8/4～10 ●1～2年夏季休暇 8/11～9/23 ●2～3年仮進級者試験 8/13～14 ●1～2年前期追試験 8/18～24
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
30	31								
9月			1	2	3	4	5		●1～2年前期成績発表 9/11 ●1～2年後期授業開始 9/24～
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					

前期 4/8～7/31（基本となる授業期間）

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		14	15	15	17	16	

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 診療放射線学科

[●] は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
10月					1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 10/16 (予定) ・総合型選抜 (前期) 10/17 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2年後期履修登録変更期間 10/1～5、確認期間 10/8～9 ・3年後期授業開始 10/5～ ・3年後期履修登録変更期間 10/7～9、確認期間 10/15～16 ・4年後期授業開始 10/13～ ・4年後期履修登録変更期間 10/14～16、確認期間 10/22～23 ・3～4年前期成績発表 10/16 ・2～4年臨床実習報告会 10/29 ・3～4年卒業研究発表会 10/29
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
11月	1	2	3	4	5	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会 11/● ・学校推薦型選抜 (前期) 11/21 	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
12月			1	2	3	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜 (後期)・総合型選抜 (中期) 12/19 ・大学休業 12/29～1/4 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年後期定期試験 12/14～18 ・1～4年冬季休暇 12/24～1/4
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
1月						1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期授業再開 1/5～ ・4年後期追試験 1/5～7
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
31									
2月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 (前期) 2/2 ・国家試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期定期試験 2/4～10 ・4年卒業判定 2/10 ・1～3年後期追試験 2/18～24 ・4年後期成績発表 2/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28								
3月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・学位記授与式 3/9 ・一般選抜 (後期)・総合型選抜 (後期) 3/11 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年後期成績発表 3/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					

後期 9/24～1/29 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		13	16	17	17	17	

※冬季休暇等を除く

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 臨床検査学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
4月				1	2	3	4	●入学式 4/5	●新入生オリエンテーション 4/1 ●1～4年生ガイダンス・健康診断 4/1～7 ●2～3年前期授業開始 4/1～ ●1年初年次教育 4/2 ●4年前期授業開始 4/2～ ●1年前期授業開始 4/8～ ●1～4年履修登録期間 4/8～14、変更期間 4/20～22、 確認期間 4/27～28
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
5月						1	2	●創立記念日 5/2	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
31									
6月		1	2	3	4	5	6	●日医大フェスティバル 6/19～20	●4年夏季休暇 6/27～7/26 (予定)
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
7月				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
8月							1		●4年臨地実習 8/3～10/2 (予定) ●1～3年前期定期試験 8/4～10 ●3年夏季休暇 8/11～9/13 ●1～2年夏季休暇 8/11～9/23 ●2～3年仮進級者試験 8/13～14 ●1～3年前期追試験 8/18～24
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
9月			1	2	3	4	5		●1～4年前期成績発表 9/11 ●3年後期授業開始 9/14～ ●1～2年後期授業開始 9/24～
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					

前期 4/8～7/31 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		14	15	15	17	16	

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 臨床検査学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
10月					1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 10/16 (予定) ・総合型選抜 (前期) 10/17 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~4年後期履修登録変更期間 10/1~10/5、確認期間 10/8~9 ・3年臨地実習 10/5~12/4
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
11月	1	2	3	4	5	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会 11/● ・学校推薦型選抜 (前期) 11/21 	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
12月			1	2	3	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜 (後期)・総合型選抜 (中期) 12/19 ・大学休業 12/29~1/4 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~4年冬季休暇 12/24~1/4
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
1月						1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・1~4年後期授業再開 1/5~
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
2月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 (前期) 2/2 ・国家試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~3年後期定期試験 2/4~10 ・4年卒業判定 2/10 ・1~3年後期追試験 2/18~24 ・4年成績発表 2/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28								
3月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・学位記授与式 3/9 ・一般選抜 (後期)・総合型選抜 (後期) 3/11 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~3年後期成績発表 3/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					

後期 9/24~1/29 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		13	16	17	17	17	

※冬季休暇等を除く

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 臨床工学科

【●】は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
4月				1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 4/5 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション 4/1 ・1～4年ガイダンス・健康診断 4/1～7 ・2～4年前期授業開始 4/1～ ・1年初年次教育 4/2 ・1年前期授業開始 4/8～ ・1～4年履修登録期間 4/8～14、変更期間 4/20～22、確認期間 4/27～28 ・4年臨床実習 4/13～5/15
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
5月						1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念日 5/2 	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
31									
6月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日医大フェスティバル 6/19～20 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年臨床実習 6/29～7/24
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30							
7月				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31				
8月							1		<ul style="list-style-type: none"> ・1～4年前期定期試験 8/4～10 ・1～3年夏季休暇 8/11～9/23 ・4年夏季休暇 8/11～9/6 ・2～3年仮進級者試験 8/13～14 ・1～4年前期追試験 8/18～24
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
30	31								
9月			1	2	3	4	5		<ul style="list-style-type: none"> ・4年後期授業開始 9/7～ ・1～4年前期成績発表 9/11 ・1～3年後期授業開始 9/24～
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					

前期 4/8～7/31（基本となる授業期間）

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		14	15	15	17	16	

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

保健医療学部 臨床工学科

[●] は日程未定

	日	月	火	水	木	金	土	大学行事	教務日程
10月					1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 10/16 (予定) ・総合型選抜 (前期) 10/17 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~4年後期履修登録変更期間 10/1~5、 確認期間 10/8~9
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
11月	1	2	3	4	5	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会 11/● ・学校推薦型選抜 (前期) 11/21 	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
12月			1	2	3	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜 (後期)・総合型選抜 (中期) 12/19 ・大学休業 12/29~1/4 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~3年冬季休暇 12/24~1/4 ・4年冬季休暇 12/26~1/4
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
1月						1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・1~4年後期授業再開 1/5~ ・4年後期定期試験 1/5~8 ・4年後期追試験 1/12~15
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
2月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 (前期) 2/2 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~3年後期定期試験 2/4~10 ・4年卒業判定 2/10 ・1~3年後期追試験 2/18~24 ・4年成績発表 2/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28								
3月		1	2	3	4	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験 ・学位記授与式 3/9 ・一般選抜 (後期)・総合型選抜 (後期) 3/11 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~3年後期成績発表 3/19
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					

後期 9/24~1/29 (基本となる授業期間)

曜日	日	月	火	水	木	金	土
回数		13	16	17	17	17	

※冬季休暇等を除く

※授業回数が不足する曜日の科目は、他の曜日等で不足分の講義を実施します。

Ⅱ 授業と履修について

1. 授業について

1) 授業科目の区分

授業には、講義、演習、実験・実習などの種類があります。

講義	主に教員が中心となり進める授業です。指定図書や資料などを取り入れ進めていきます。
演習	技術などを修得するために、例題や課題を通して、学生と教員が共同して進める授業です。主体的な学修が求められます。
実験・実習	学生自身が中心となり、取り組む授業活動です。学内の実験室・実習室や学外の実習施設で行います。

2) 授業時間

授業時間は1時限90分とし、次のように設定します。

時限	時間
1時限	9:00~10:30
2時限	10:40~12:10
(昼休み)	(12:10~13:00)
3時限	13:00~14:30
4時限	14:40~16:10
5時限	16:20~17:50

※本学では、チャイムを鳴らしません。時間は自己管理をしましょう。

※定期試験や行事のときは、時間割が変更となります。

※授業時間を変更するときは、ユニバーサルパスポート^{*1}などで通知しますので、確認してください。

※冬期間は、雪害等による交通機関の遅延等が発生することを考慮し、余裕をもって通学してください。

3) 休講と補講

- (1) 授業担当教員がやむを得ない事情で授業を休講とするときは後日、補講を実施します。その際は、原則、ユニバーサルパスポートなどでお知らせします。
- (2) 地震、台風、大雪などによって、交通機関の遅延・運休が予想されるとき、または復路の交通事情が懸念されるときなどは、全ての授業、または、その一部を休講とすることがあります。

4) 授業中の態度

- (1) 授業中の私語、飲食等は慎み、皆さん自身が学修の環境作りを心がけてください。
- (2) 授業途中での無断退室を禁じます。理由があるときは、授業担当教員に申し出て許可を得てください。
- (3) 授業中のスマートフォンの使用は原則（教員から使用許可がある場合を除く）禁止します。電源を切る、またはマナーモードにするなど良識のある行動をとってください。

5) 遅刻・早退・欠席

- (1) 遅刻したときは、静かに教室に入室してください。
- (2) 遅刻および早退の扱いは授業担当教員に任されています。ガイダンスなどで確認してください。
- (3) 天候不良などで交通機関の遅れにより遅刻したときは、各種交通機関で発行される「遅延証明書」を欠席届に添付して提出してください。

※1：ユニバーサルパスポートとは、本学が利用する在学生専用のポータルサイトシステムのUNIVERSAL PASSPORTのことです。

- (4) 授業を欠席しなければならないときは、あらかじめ「欠席届」に必要事項を記入の上、学年担任に許可を得て、事務局へ提出してください。やむを得ない事由により事前に届出ができなかったときは、電話連絡の上、登校時にすみやかに届出を提出してください。

なお、病気やけがなどによる欠席が7日以上にわたるときは、原則として医師の診断書の添付が必要となります。

6) 出席に対する不正行為

代返、出席カードや出席カードリーダー等による不正行為があった場合は、懲戒処分の対象となります。

7) 欠席の取り扱い

- (1) 出席回数が規定回数の3分の2未満のときは、定期試験等の受験資格を失うこととなります（失格）。履修する授業科目の出席回数については、各自が日常的に責任をもって把握してください。出欠席の回数に関する照会は受け付けません。

授業で失格になる欠席回数	
8回実施の科目	3回の欠席で受験資格を失います。
15回実施の科目	6回の欠席で受験資格を失います。
30回実施の科目	11回の欠席で受験資格を失います。

- (2) 以下の事由で授業を欠席するときは、特別な事情を考慮して教務委員会で審議し、正当な理由があると認められたときに限り、授業に出席した場合と同等に取り扱う「公欠（公認欠席）」とします。

- ① 忌引き：近親者が死去し喪に服するとき（休日・祭日を含む連続した日数）

一親等（父母・子・配偶者）	会葬等を含む連続した7日間
二親等（祖父母・兄弟姉妹）	会葬等を含む連続した5日間
三親等（曾祖父母・伯叔父母など）	会葬等を含む連続した3日間

- ② 学校感染症（別表のとおり）
 ③ 公共交通機関の遅延・運休
 ④ 卒業後の進路に関する就職試験および進学のための試験
 ただし、実習の期間中は、適用できないことがあります。教務委員会で審議し、取り扱いを決定します。
 ⑤ 裁判員制度に基づく要請
 ⑥ その他（教務委員会で審議し、取り扱いを決定します。）

「授業欠席届」に必要事項を記入し、必要書類を添え担任等の許可を得て、事務局に提出してください。

提出期限：欠席最終日から5日（土・日・祝除く）以内

欠席理由	添付書類等	提出方法
忌引き	会葬礼状等の印刷物等	欠席期間終了後、すみやかに学年担任等に捺印またはサインをもらった後、事務局に提出してください。
学校感染症（別表のとおり）	医師の診断書等（出席できなかった理由、期間が記載されているもの） ただし、行政機関等から外出自粛を要請されている場合を除く ※原則、原本を提出	
公共交通機関の遅延・運休	公共交通機関が発行する遅延証明書等 ※原則、原本を提出	
就職試験・進学試験	試験日時を証明する印刷物等	学年担任等に捺印またはサインをもらった後、欠席期間より事前に事務局に提出してください。
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの通知書等	
その他	事実を証明する印刷物等	欠席期間終了後、すみやかに学年担任等に捺印またはサインをもらった後、事務局に提出してください。

※やむを得ない事情でこれらの書類等を提出できないときは、親族による証明書等にかえることができます。

[別 表]

分類	感染症の種類	出席停止の期間の基準
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）および特定鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルス A 属インフルエンザ A ウイルスであってその血清型が H5N1 であるものに限る）。 ※上記の他、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 6 条第 7 項から第 9 項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症。	治癒するまで
第二種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで
	新型コロナウイルス感染症	発症した後 5 日を経過し、かつ、症状が軽快した後 1 日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまでまたは 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹	解熱した後 3 日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹	発しんが消失するまで
	水痘	すべての発しんが痂皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後 2 日を経過するまで
	結核	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

令和 5 年 4 月 28 日 文部科学省令第 22 号
学校保健安全法施行規則第 18 条・19 条

8) 情報の取り扱い

本学の学生は、将来専門職として業務を行うことを予定している立場にあります。そのため、学生であっても関係施設で得た個人情報、プライバシーの権利を守る義務があります。

大学は、施設との間で個人情報保護に関する誓約書を交わしています。具体的には、医療・福祉に関わる学生として、以下のようなことを他者に口外・発信すること（記録物やメモ用紙等の紛失を含む）は一切、禁止しています。

- (1) 受け入れ施設（実習施設・見学施設など）で知り得た対象者およびその家族の個人情報や秘密
個人が特定される一般的な情報（氏名、生年月日その他の記述により個人を識別することができるもの）、対象者に関する病気、病態、心身に関する状況、家族関係などの情報
- (2) 実習で見たり聞いたりした施設やその関係者の情報
- (3) 講義などで提供される施設や患者の事例内容

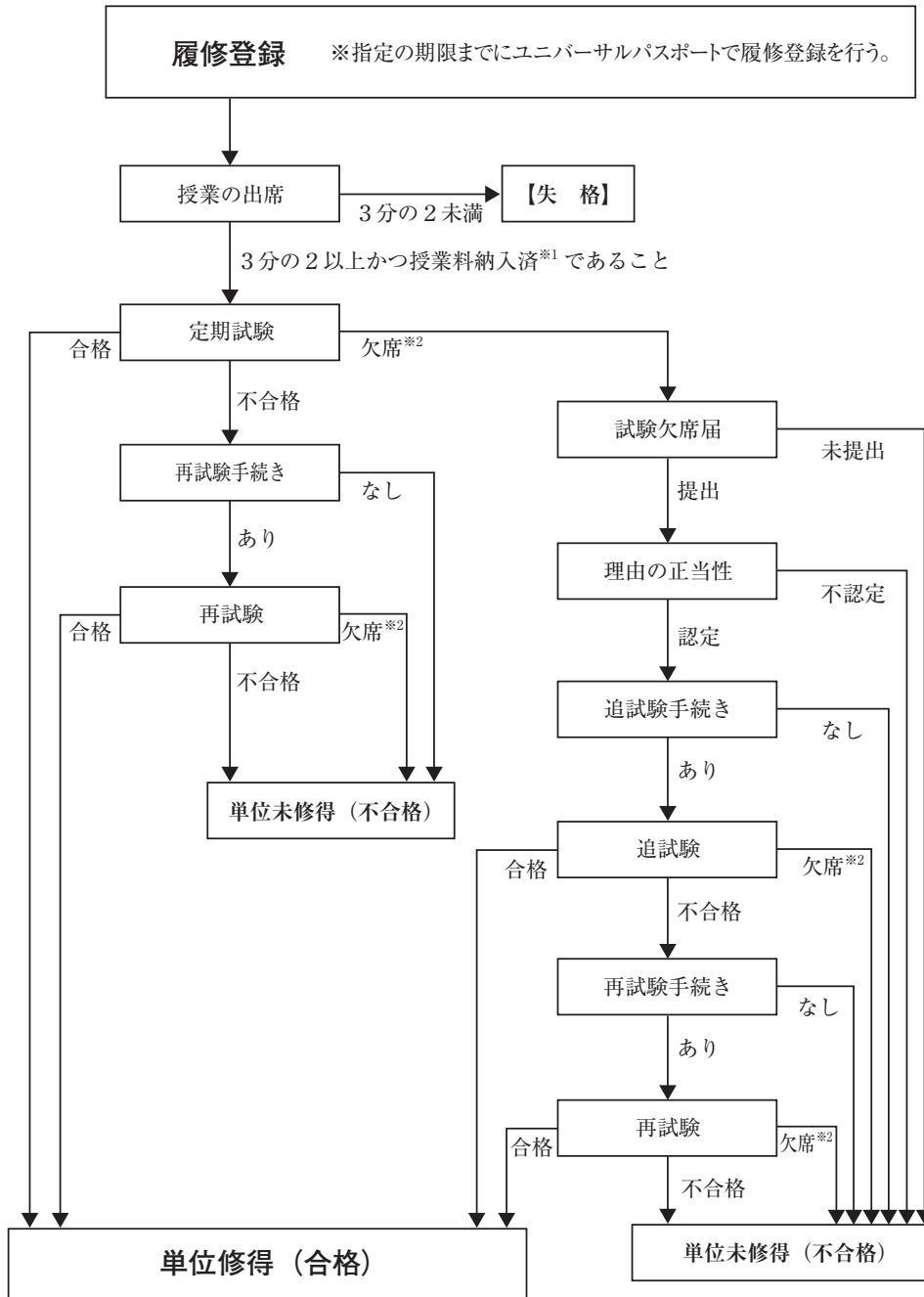
学生が患者や対象者および関係者のプライバシーの権利を侵害したときは、責任を問われる可能性があります。ただし、DV（ドメスティック・バイオレンス）に伴う公益通報保護法に基づく情報（虐待の通報など）に関しては、守秘義務違反にはあたりません。

※SNS 等インターネット上、または紙面上での違法、不適切な書き込み、投稿等は懲戒処分の対象となります（キャンパスガイド 47P 参照）。

2. 履修について

履修とは、「必修・選択科目を確認のうえ単位修得を希望する科目について履修登録し、授業・試験を受けて合格し、単位を修得する」という過程を意味します。履修登録するにあたり、『履修の手引き』・『シラバス』・『授業時間割』を熟読のうえ、履修計画を立ててください。1年間の履修計画を立て、前期の履修登録期間中に後期分の履修登録も行ってください。

履修登録から単位修得までのフローチャート



【特記事項】

必修科目で不合格となり単位未修得の場合は、1年次から2年次、2年次から3年次への進級に限り、不合格となった必修科目1科目のみ有して進級する「仮進級」の申請をすることができます。詳しくは22Pを確認してください。なお、失格した科目は、該当しません。

※1 授業料未納の場合は、定期試験の受験はできません。

※2 公欠の取り扱いあり。

1) 修業年限・在学年限（学則第7条）

本学では、学業を修めるために必要な修業年限を4年としており、8年を超えて在学することはできません。また、1年および2年の在学期間は通算して4年を超えることができません。

2) 学年・学期（学則第23条・第24条）

原則、学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。本学では、学年を前期・後期の2学期制とします。

前期	4月1日～9月30日
後期	10月1日～3月31日

※時間割運用上、変更することがあります。

3) 履修登録スケジュール

履修登録・確認および履修登録変更のスケジュールは以下のとおりです。

看護学科／リハビリテーション学科／診療放射線学科／臨床検査学科／臨床工学科

項目	期 間		手続きについて
履修登録	前期	2026年4月8日（水）～14日（火） ※履修登録期間に前期と後期全ての科目を登録します。	各学年のガイダンス等で履修登録の方法等を説明します。
履修登録 変更	前期	2026年4月20日（月）～22日（水）	詳細については、必ずユニバーサルパスポートの掲示板を確認してください。
	後期	【リハビリテーション学科1～3年】 2026年9月24日（木）～28日（月） 【看護学科／リハビリテーション学科4年／診療放射線学科1・2年／臨床検査学科／臨床工学科】 2026年10月1日（木）～5日（月） 【診療放射線学科3年】 2026年10月7日（水）～9日（金） 【診療放射線学科4年】 2026年10月14日（水）～16日（金）	
履修登録 確認	前期	2026年4月27日（月）～28日（火）	変更は受け付けません。
	後期	【リハビリテーション学科1～3年】 2026年10月1日（木）～2日（金） 【看護学科／リハビリテーション学科4年／診療放射線学科1・2年／臨床検査学科／臨床工学科】 2026年10月8日（木）～9日（金） 【診療放射線学科3年】 2026年10月15日（木）～16日（金） 【診療放射線学科4年】 2026年10月22日（木）～23日（金）	

4) 履修の上限単位（CAP制）

本学では、1単位の単位修得に必要な学修時間を確保し、学修の質の向上と学修の効率化をはかるために、また、各学年ごとで適切に学修できるように、履修登録科目数の上限制度であるCAP（キャップ）制を導入しています。1年間に履修することのできる科目単位に制限があるため、履修計画を立てる際には注意が必要です。

なお、自由選択科目については、履修上限単位数には含めません。

CAP制は、各学年において次のように定めています。

○看護学科

学年	1年間の上限 (2026年度の入学生)
1年	54単位
2年	46単位
3年	27単位
4年	17単位

○リハビリテーション学科

学年	1年間の上限 (2026年度の入学生)
1年	50単位
2年	35単位
3年	38単位
4年	21単位

○診療放射線学科

学年	1年間の上限 (2026年度の入学生)
1年	48単位
2年	37単位
3年	36単位
4年	25単位

○臨床検査学科

学年	1年間の上限 (2026年度の入学生)
1年	48単位
2年	42単位
3年	34単位
4年	24単位

○臨床工学科

学年	1年間の上限 (2026年度の入学生)
1年	48単位
2年	38単位
3年	40単位
4年	30単位

5) 履修上の注意点

- *すでに単位を修得している科目を重複して履修することはできません。
- *授業時間が重複する科目を履修することはできません。
- *各学年において、上級学年の授業科目を履修することはできません。

6) 履修登録時の注意点

履修登録はユニバーサルパスポートを利用し、手続きを行います。

システムへのログインには、入学時に配布するログインIDおよびパスワードが必要です。

また、履修登録が完了した後は自分の確認用に1部印刷し、大切に保管してください。

※履修登録は必ず本人が行い、履修登録方法や履修に関する相談は、必ず事務局窓口で行ってください。

なお、電話やメールでの問い合わせには応じません。

※ID・パスワードを忘れたときは、事務局窓口で確認してください。

7) 履修登録変更期間

履修登録の内容を誤ったときや、授業内容が自分の学修したい内容と異なっていたとき、もしくは履修計画を見直した結果、履修科目を変更したいというときは、定められた期間で履修登録変更の手続きを行ってください。

履修登録変更の手続きについての詳細はユニバーサルパスポートで周知します。

8) 履修登録確認期間

自分が履修登録した科目を確認してください。なお、変更したい科目があっても追加や取り消しは一切認められませんので、必ず履修登録変更期間までに誤りがないかを確認し手続きを行ってください。

9) 既修得単位認定の取り扱い

学則第32条（入学前の既修得単位の認定）

（学生が入学する前に大学または短期大学で修得した単位の認定のこと）

3. 試験について

試験には**定期試験・追試験・再試験・実技試験等**があります。

1) 受験資格

試験を受験できる資格は次の条件を満たしていることが前提となります。

- (1) 履修登録が済んでいること
- (2) 出席回数が規定回数の3分の2以上を満たしていること
(例えば、1単位8回の科目では、6回以上の出席が必要です)
- (3) 授業料その他の入金を所定の期日までに納めていること
- (4) 所定の試験時間（試験開始後20分まで）に試験室に入室していること
- (5) 学生証または仮学生証を持参していること

2) 定期試験

定期試験は原則、各学期末に行います。ただし、授業科目によっては、試験期間外に試験を行うことがあります。

3) レポート

試験扱いとなるレポートなどの課題が課されるときもあります。期限までに提出することができなければ「不合格」となり、単位が修得できなくなります。

4) 追試験

定期試験を欠席した場合、その欠席理由が正当と認められたときに限り追試験が許可されます。下記の欠席理由に該当する場合は、「試験欠席届」に必要事項を記入し、必要書類を添えて、事務局に提出してください。

提出期限：欠席最終日から3日（土・日・祝除く）以内

なお、認められた場合は「追試験許可書」が必要となりますので、定められた期間内に自動証明書発行機で手続きしてください（1科目につき「1,000円」）。

欠席理由	欠席理由を証明する書類等
本人の傷病、学校感染症	医師の診断書等（受験できなかった理由、期間が記載されているもの）ただし、行政機関等から外出自粛を要請されている場合を除く ※原則、原本を提出
忌引き	会葬礼状等の印刷物
不慮の事故	事故を証明できる書類等
親族（三親等以内）の重大事象	医師の診断書またはそれに代わるもの
災害	罹災証明書等、災害の状況が把握できる書類
公共交通機関の遅延・運休	公共交通機関が発行する遅延証明書等 ※原則、原本を提出
裁判員制度に基づく要請	裁判所からの通知書等
部活動等における学生代表または大会参加等	証明書等および大会等の内容がわかる書類
大学で指定した資格試験	資格試験の受験票
就職試験、進学試験	企業、施設等の場所・日時が明記され、受験者であることを証明できるもの
上記の内容に該当しないが、それにかわる正当な理由と考えらえる事項	事実を証明できる印刷物等

※やむを得ない事情でこれらの書類等を提出できないときは、親族による証明書等にかえることができます。

※追試験願の提出に当たっては、代理人による提出を妨げません。

5) 再試験

定期試験または追試験の結果が60点未満の学生は、「**授業科目の担当教員が再試験を認めたとときに限り**」、再試験を受験することができます。ただし、すべての科目に再試験が認められるとは限りませんので注意が必要です。

再試験が認められた場合は、定められた期間内に自動証明書発行機で「再試験許可書」の手続きが必要となります。なお、再試験は1科目につき「2,000円」の手数料が必要となります。再試験に合格した者の評点は60点となります。

6) 失格

履修登録した科目に定められた授業回数の3分の2以上の出席に満たず、定められた試験等を受験する資格がないことを「失格」といいます。

7) 試験に関する留意事項

試験を受けるときは、試験を受ける教室を事前に確認し、次の内容に留意して受験してください。

- ①試験開始時は学生証を所持し、必ず机の上に提示してください。
※当日、学生証を忘れたときは、自動証明書発行機で「仮学生証（400円）」を購入してください。
※学生証または「仮学生証」を所持していない場合は、試験を受けることができませんので注意してください。
- ②試験を受ける教室への私物の持ち込みは最小限としてください。
- ③座席が指定されていますので、指示に従ってください。
- ④試験開始前にはスマートフォンの電源を切ってください。
- ⑤机の上には筆記用具、時計（スマートウォッチ・計算機能付きは不可）、指定されたもの以外は置かないでください。
※風邪や鼻炎などでティッシュペーパーを使用するときは、中身のみを机の上に準備してください。
- ⑥試験で使用を許可されたもの以外は、鞆の中、それに代わるものの中に入れて椅子の下に置いてください。机の下に置くことは誤解を招くこととなりますので、注意してください。
- ⑦試験中は監督者の指示に従い、他の受験者の迷惑にならないように注意してください。
- ⑧遅刻入室は試験開始後20分まで認められます。20分経過後は受験することができません。
- ⑨試験中に具合が悪くなった場合や、やむを得ずトイレを希望する場合は挙手で知らせてください。教員が同行し、誘導します。
- ⑩試験中の退室は40分の試験では認められません。50分以上の試験は、30分経過後から終了10分前まで認められます。再入室は認められません。
- ⑪退室時の試験の解答用紙については、原則、裏側に伏して退室しますが、試験監督者の指示に従って提出してください。
- ⑫その他、試験室においては、試験監督者の指示に従ってください。監督者の指示に従わない場合は、退室を命じられることがあります。

8) 不正行為の取り扱い

試験における不正行為は、学生の本分に反する行為であり、学生としての倫理に欠ける行為です。試験において**不正行為があったときには、当該科目並びに当該試験期間中の全科目を失格とします**。これは、不正行為をした者とそれに便宜を与えた両者に適用されます。また、懲戒処分の対象となります。

- 〈不正行為とみなされる具体例〉
- ①使用が許可されていない被見物等を使用する行為
 - ②カンニングペーパーおよびカンニングペーパーに類似するメモなどを使用する行為
 - ③使用を許可された所持品や机などの物品に、解答に関する内容を書く行為
 - ④試験中に文献およびカンニングペーパーに類似するメモなどの貸し借りをする行為
 - ⑤他の学生の答案を盗み見る行為
 - ⑥他の学生に答案を見せる、または、他の学生の答案を写させてもらう行為
 - ⑦試験内容に関する私語や動作をする行為
 - ⑧その他、上記以外の行動で不正を疑われる行為

4. 単位について

1) 単位制度について（学則第28条：キャンパスガイド P65）

大学で履修する授業科目には、それぞれ「単位」という一定の基準が定められています。1単位とは、学生が1科目について行う45時間（2単位は90時間）の学修活動を意味し、その学修活動とは授業と事前・事後学修からなります（詳細はシラバス参照）。授業時間だけではなく、事前・事後学修として、予習・復習を行う必要があります。

〈1 単位あたりの授業時間数〉

講義・演習	15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位
実験・実習	30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位
1つの授業科目の中に講義、演習、実験・実習のうち、2つ以上を併用	組み合わせに応じ、30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位

2) 単位の修得について

履修登録した科目の出席回数を満たし、定期試験を受験し合格することで、その科目の単位を修得することができます。

ただし、科目によっては、試験の成績にレポート（課題）の評価などが加味され、総合的に評価されます。

必修科目：卒業までに必ず修得していなくてはならない科目（卒業要件単位に算入）。

選択科目：指定された分野の授業の中から、いくつかを選んで修得しなければならない科目（卒業要件単位に算入）。

5. 進級・卒業要件について

1) 進級要件

(1) 進級

進級するためには学年ごとに修得する必要がある全必修科目の単位修得が必要です。進級の可否についての判定は毎年3月に行います。

(2) 留年

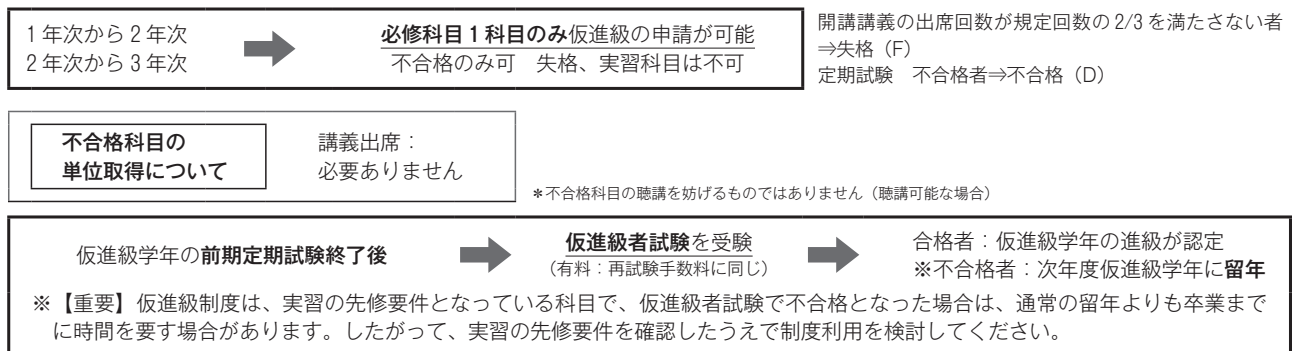
失格または不合格となり単位未修得となった必修科目があった場合、次年度は同一学年に留まる「留年」となります。留年の場合は単位未修得の科目をもう一度履修しなおす「再履修」を行います。

「再履修」とは、当該年度に単位を修得できなかった場合に、翌年度以降に再度履修登録し、授業に出席することです。

(3) 仮進級

1年次から2年次及び2年次から3年次に限り、不合格となった**必修科目1科目のみ**有して進級する「仮進級」の申請をすることができます。認められた場合は、翌年度の前期定期試験終了後に実施する仮進級者試験を受験することができます。なお、失格した科目は該当しません。また、実習の実施期間に応じて前期期間中に仮進級者試験を実施する場合があります。

仮進級者試験について



* 仮進級者試験の評点は60点となります

2) 臨地・臨床実習科目の先修要件

臨地・臨床実習に係る実習科目には進級要件に加えて実習ごとに設定された科目の単位修得を必要とする「先修要件」を満たしていなければ履修ができません。各科目の先修要件の詳細は入学年度の履修規程を確認してください。

学部	学科	先修要件のある科目
保健医療学部	看護学科	基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学実習、老年看護学実習、母性・小児看護学実習、精神看護学実習、地域・在宅看護学実習、統合実習
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲ、臨床実習Ⅳ（2019年度入学生から）
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	臨床実習Ⅰ、地域臨床実習、臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲ、臨床実習Ⅳ（2025年度入学生から）
	診療放射線学科	早期臨床実習、臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ
	臨床検査学科	臨地実習
	臨床工学科	臨床実習

3) 卒業要件

本学を卒業するためには、4年以上在学し、学部学科ごとに次の表に示す単位を修得しなければなりません。

（注）年度は、適用となる教育課程の改正年度を示しています

○看護学科の卒業要件

2026年度 入学生	科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
	必修科目	12単位	24単位	77単位	113単位
	選択科目	8単位以上	3単位以上	1単位以上	12単位以上
	小計	20単位以上	27単位以上	78単位以上	125単位以上

○リハビリテーション学科理学療法専攻の卒業要件

2026年度 入学生	科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
	必修科目	12単位	41単位	61単位	114単位
	選択科目	8単位以上	1単位以上	4単位以上	13単位以上
	小計	20単位以上	42単位以上	65単位以上	127単位以上

○リハビリテーション学科作業療法専攻の卒業要件

2026年度 入学生	科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
	必修科目	12単位	41単位	67単位	120単位
	選択科目	8単位以上	1単位以上	2単位以上	11単位以上
	小計	20単位以上	42単位以上	69単位以上	131単位以上

○診療放射線学科の卒業要件

2026年度 入学生	科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
	必修科目	13単位	31単位	62単位	106単位
	選択科目	8単位以上	8単位以上	7単位以上	23単位以上
	小計	21単位以上	39単位以上	69単位以上	129単位以上

○臨床検査学科の卒業要件

2026年度 入学生	科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
	必修科目	11単位	23単位	87単位	121単位
	選択科目	10単位以上	—	—	10単位以上
	小計	21単位以上	23単位	87単位	131単位以上

○臨床工学科の卒業要件

2026年度 入学生	科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
	必修科目	15単位	38単位	66単位	119単位
	選択科目	3単位以上	3単位以上	5単位以上	11単位以上
	小計	18単位以上	41単位以上	71単位以上	130単位以上

4) 学位・資格

卒業要件の単位数を修得することにより以下の学位および資格が得られます。

学部	学科	学位	資格
保健医療学部	看護学科	学士（看護学）	看護師国家試験受験資格
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	学士（リハビリテーション学）	理学療法士国家試験受験資格
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	学士（リハビリテーション学）	作業療法士国家試験受験資格
	診療放射線学科	学士（診療放射線学）	診療放射線技師国家試験受験資格
	臨床検査学科	学士（臨床検査学）	臨床検査技師国家試験受験資格
	臨床工学科	学士（臨床工学）	臨床工学技士国家試験受験資格

6. 成績評価とGPA制度について

1) 成績評価とGP

成績評価については、90点以上を「AA」の「秀」、80点以上を「A」の「優」、70点以上を「B」の「良」、60点以上を「C」の「可」、60点未満を「D」の「不可」の5段階の評語をもって表しています。

また、GP (Grade Point) は、「AA」は4.0、「A」は3.0、「B」は2.0、「C」は1.0、「D」は0.0です。

評点	区分	成績評語		GP	基準
100~90点	合格	AA	「秀」	4.0	到達目標を十分に達成し、極めて優秀である
89~80点		A	「優」	3.0	到達目標を十分に達成している
79~70点		B	「良」	2.0	到達目標を概ね達成している
69~60点		C	「可」	1.0	到達目標を最低限達成している
59点以下	不合格	D	「不可」	0.0	到達目標を達成していない
—	失格	F	「出席不足」	0.0	
認定科目	合格	N			
※特例：判定が困難な場合に限り、必要に応じて採用	合格	P		GPAに含めない	
	不合格	D*			

2) GPA 制度

GPA 制度の概要

GPA (Grade Point Average) とは、学生の成績評価方法のひとつであり、履修科目の成績の1単位あたりの成績平均を数値で表すものです。学生への GPA の通知は、成績通知書により行います。GPA の結果を学生自らが確認し、自分の履修計画の点検材料として積極的に活用してください。

なお、大学としては GPA を成績順位の資料として活用し、卒業時の表彰等の選考に用います。また、今後の履修計画等に関する修学指導の材料とします。

GPA (Grade Point Average) とは、GP に該当科目の単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する方法です。計算結果は小数点第3位を四捨五入して表記します。

【GPA 計算例】 $GPA = 26.0 \div 9 = 2.89$ (小数点以下第3位を四捨五入)

科目名	単位数	成績評価	GP	GP×単位数
〇〇科学	1	C	1.0	1.0
〇〇倫理	1	A	3.0	3.0
〇〇概論	2	AA	4.0	8.0
〇〇学実習 I	4	A	3.0	12.0
〇〇ゼミナール I	1	B	2.0	2.0
合計	9			26.0

3) 退学・留年防止と GPA

保健医療学部の学生は、単位取得による卒業が目的ではありません。建学の精神である「共生社会の実現」という高い目標を実現できる人材となること、同時に「国家資格取得」が目標となります。この目標を達成するためには4年間の確実な知識・技術の獲得が必要となります。そこで、皆さんの学修目標として各学期の最低レベルとして **GPA2.0** を目指してください。GPA2.0 に満たない学生は、個別面談の実施、学修計画の提出を課す対象となります（日本医療大学 GPA 制度に関する内規第10条）。

7. 成績評価についての疑義申し立てについて

当該期の成績で、採点の誤記の可能性やシラバス等で周知されている成績評価の方法等から疑義のある者は、試験等の可否、成績評価についての疑義申し立てをすることができます。「成績評価確認願」に必要事項を記入し、事務局に提出してください。ただし、申し立てを受け付ける期間は、各試験の可否が掲示された日を含め **3日以内（土・日・祝を除く）**、成績発表日を含め **5日以内（土・日・祝を除く）** とします。学科、学年によってはこの問い合わせ期間に変更が生ずることもあります。

8. ナンバリングコードについて

1) ナンバリング

授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。個々の科目のカリキュラムにおける位置づけを理解することで、履修の際には科目を順序立てて選択することができます。ナンバリングコードはシラバスに記載されています。

2) 日本医療大学のナンバリングコードの形式

課程コード	学部学科コード	科目区分コード	学年配置コード		通し番号
①	②	③	④	—	⑤

〈各コードの説明〉

①課程コード（1桁）：開講する課程を示します。

課程	コード	英語表記
大学（学士課程）	B	Bachelor course

②学部学科コード（2桁）：開講する学部学科を示します。

	学部学科	コード	英語表記
保健医療 学部	看護学科	NS	Department of Nursing
	リハビリテーション学科	PT	Physical Therapy course
	理学療法専攻		
	作業療法専攻	OT	Occupational Therapy course
	診療放射線学科	RT	Department of Radiological Sciences
	臨床検査学科	CL	Department of Clinical Laboratory Sciences
	臨床工学科	CE	Department of Clinical Engineering

③科目区分コード（1～2桁）：授業科目の区分を示します。

科目区分	科目区分コード	備考
基礎教育科目	LA	リベラル・アーツ
専門基礎・専門教育科目	a～	科目区分ごとに順番に付番

④学年配置コード（1桁）：履修する学年を示します。

レベル	学年配置
1	1年次配置
2	2年次配置
3	3年次配置
4	4年次配置
5	実習・卒業研究

⑤通し番号（2桁）：科目区分ごとの科目順に付番しています。

9. 学籍異動について

1) 休学（学則第17条）

病気その他のやむを得ない事情で、3ヵ月以上授業に出席できない学生は、必要な手続きによって、休学の許可を得てください。

- * 休学期間は3ヵ月以上1年以内とし、通算2年を超えて休学することはできません。
- * 休学期間は修業年限には算入しません。
- * 休学が年度をまたがるときは、改めて休学願を提出し、許可を得なければなりません。
- * 休学中は、原則として大学の活動（授業・課外活動・学校行事等）に参加することはできません。
- * 休学時には、休学期間に応じて在籍料（各学期 50,000 円）がかかります。（2023 年度入学生から）

休学期間中でも学則に抵触する行為があったときには、教授会の意見を聞いて懲戒処分を受けることがあります。

2) 復学（学則第18条）

休学期間が満了したとき、または、休学期間中にその理由が消滅したときは、必要な手続きによって、復学の許可を得てください。

3) 退学（学則第19条）

病気その他のやむを得ない事情により、退学するときは、必要な手続きによって、退学の許可を得てください。

4) 留学 (学則第 16 条)

外国および国内の大学に留学を志願するときは、必要な手続きによって、留学の許可を得てください。

5) 再入学 (学則第 20 条)

学則第 19 条による退学者が 3 年以内に再入学を願い出たときは、学長が許可することがあります。

6) 除籍 (学則第 21 条)

次のいずれかに該当するときは、除籍されることがありますので注意してください。

- * 在学年数が所定の年数を超えるとき
- * 死亡、または 1 年以上行方のわからないとき
- * 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納入しないとき
- * 休学期間満了前に、復学、退学または休学の願い出がないとき
- * 休学の期間が通算して 2 年を超えるととき

7) 復籍 (学則第 21 条の 2)

- * 除籍された者は、除籍日から起算して 3 年以内に限り別に定める規程により、学長が復籍を許可することがあります。
- * 復籍の時期は前期または後期の始めとします。

8) 学籍情報の変更

大学に届け出ている以下の事項に変更があったときは、すみやかにユニバーサルパスポートにて変更の手続きを行ってください (遅くとも変更発生後 1 週間以内)。この届出を怠ると、大学からの緊急の連絡や郵便等に支障をきたします。

[届出事項]

学生	氏名	保証人	氏名
	住所 (郵便番号の変更も含む)		住所 (郵便番号の変更も含む)
	自宅電話番号		自宅電話番号
	携帯電話番号		携帯電話番号
	緊急連絡先		氏名
	緊急連絡先電話番号	学費負担者	住所 (郵便番号の変更も含む)
			自宅電話番号
			携帯電話番号

Ⅲ 保健医療学部

Ⅲ-1 保健医療学部

1. 教育目的

本学の建学の精神である「共生社会の実現」を目指し、社会に貢献する保健医療専門職業人の育成を目的とする。

2. 教育目標

【教育目標—養成する人材像】

保健医療学部の教育目的を達成するための教育目標（養成する人材像）は、以下のとおりである。

1. 生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる人材の育成
2. 全人的理解を基盤とした援助的人間関係を形成できる人材の育成
3. 保健医療学に関する専門的知識と技術を修得し、適切な保健医療の実践ができる人材の育成
4. 専門職としての倫理的な態度を身につけ、研鑽し続けることができる人材の育成
5. 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる人材の育成
6. 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる人材の育成

3. 学部の方針

【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）：DP】

本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、保健医療学部における卒業時の到達目標であるディプロマ・ポリシーは、以下の能力を獲得することとする。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与する能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力
4. 科学的根拠に基づき、対象者に必要な保健医療技術を提供する能力
5. 論理的思考をもって主体的に学修し、保健医療学を発展させる能力

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）：CP】

保健医療学部のディプロマ・ポリシーを具現化するために、講義、演習、実習等を組み合わせて科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するために、保健医療の基礎となる専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた保健医療の実践に必要な基礎的知識を修得するために、専門基礎教育科目を配置する
4. 高度で専門的な知識と実践能力を育成するために、専門教育科目を配置する
5. 将来の保健医療専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うために、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）：AP】

養成する人材像やディプロマ・ポリシーの修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、保健医療学部のアドミッション・ポリシーでは以下の人材を求める。

1. 保健医療福祉に関わる専門的知識・技術・態度を学ぶために必要な基礎学力を有する人
2. 適切な対人関係能力の発展に必要な基礎的コミュニケーション能力を有する人
3. 知的好奇心を持ち、探究心と創造力で自ら学ぶ意欲を持つ人
4. 基本的生活態度が身につけており、心身の健康に気を配ることができる人
5. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
6. 自己の強みや弱みを客観視でき、成長に向けて努力できる人

Ⅲ-2 看護学科**1. 概要****1) 教育目的**

本学の建学の精神である「共生社会の実現」を目指し、社会に貢献する看護専門職業人の育成を目的とする。

2) 教育目標**【教育目標—養成する人材像】**

看護学科の教育目的を達成するための教育目標（養成する人材像）は以下のとおりである。

1. 生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる人材の育成
2. 全人的理解を基盤とした援助的人間関係を形成できる人材の育成
3. 看護学に関する専門的知識と技術を修得し、看護の実践ができる人材の育成
4. 看護専門職としての倫理的な態度を身につけ、研鑽し続けることができる人材の育成
5. 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働ができる人材の育成
6. 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる人材の育成

3) 学科の方針**【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）：DP】**

本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、看護学科における卒業時の到達目標であるディプロマ・ポリシーは、以下の能力を獲得することとする。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力
2. 看護学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、看護の向上に寄与する能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力
4. 科学的根拠に基づき、対象者に必要な看護を提供する能力
5. 論理的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）：CP】

看護学科のディプロマ・ポリシーを具現化するために、講義、演習、実習等を組み合わせて科目に適した形態で授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、「科学的思考の基礎」、「人間と生活及び社会の理解」、「語学」について学ぶ基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するために、「社会と健康支援」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「健康と疾病」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
4. 高度で専門的な看護の実践能力の育成のため、「看護の基本」、「対象の特徴と看護実践」、「看護の統合」について学ぶ専門教育科目を配置する
5. 将来の看護専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）：AP】

養成する人材像やディプロマ・ポリシーの修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、看護学科のアドミッション・ポリシーでは以下の人材を求める。

1. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、看護学の学修に意欲と熱意を持つ人
2. 人に関心を持ち、あたたかい心で人とコミュニケーションができる人
3. 知的好奇心を持ち、探究心と創造力で自ら学ぶ意欲を持つ人
4. 基本的な生活態度が身につけており、心身の健康に気を配ることができる人
5. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
6. 自己の強みや弱みを客観視でき、成長に向けて努力できる人

4) 教育課程

(1) 教育課程の特色

① 保健医療学部 5 学科共通

各教育課程をより効果的に進行するために、入学前に高大接続期間を設けリメディアル教育の一環として「初年次教育」、「学力確認テスト」さらに、入学後「スタートアップ講座」を配置しています。

② 看護学科の特色

看護学は、すべての発達段階、多様な健康状態にある個人、家族、集団、地域の固有の健康問題や健康問題に対する人間の反応を探求し、健康の維持・増進に向けて、人との相互作用を基盤とした援助的専門的アプローチを探求する学問です。本学科における看護学教育は、ヒューマンケアの理念に基づいた専門職業人を育成することを目指しています。そのため、教育課程の特色は、看護の対象である人間理解を基盤に、看護学における知識・技術・態度を学ぶために、対象である人を「個人→集団」、さらにライフサイクル別に「母性→小児→成人→老年、また精神、地域・在宅」、健康レベルを「健康→健康障害」、看護の場を「病院・施設→在宅」と段階的に科目編成しています。

(2) 教育課程の編成

教育課程編成の基本的な考え方は、看護学を体系づける「人間」「環境」「健康」「看護」の主要な概念とその関係性を枠組にしています。つまり、人間は、環境と相互作用しながら生活しており、その相互作用により健康状態は変化します。看護は、その人がその人らしく生活を送るために、その人にとって最適な健康状態になるように働きかけます。この枠組に基づいて「基礎教育科目」「専門基礎教育科目」「専門教育科目」の3領域に編成しています。

「基礎教育科目」では、多様な視点から物事を理解し、本質を探究していく姿勢と自らを省察し生涯にわたり修養する力を体得するとともに、看護の対象である「人間」を理解するために必要な知識を学びます。「専門基礎教育科目」では、看護学に不可欠な「健康」「環境」および保健医療福祉の基礎知識を学びます。「専門教育科目」では、看護学の専門的な知識・技術を学び、臨地実習を通して態度を養い「看護」として統合していきます。

「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」、この3領域を構成する各教科目は、体系的かつ系統的に配置し、それぞれの科目により、講義、演習、実習の形態で学修します。授業の進め方は、前期、後期の2学期制です。

それぞれの授業科目、分野の詳細については、シラバスを参照してください。

(3) 教育課程の進行に関する基本的な考え方

① 科目配置

教育課程の進行は、「基礎教育科目」をベースに「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」と学んでいきますが、相互に関連して学びを深めていくことを目的に配置しています。

看護学は、「人間」を対象に「健康」に焦点をあてた学問です。そのため、人間理解に必要な幅広い知性と豊かな感性を育て、学生自身の人間性を育む「基礎教育科目」は低学年に配置しています。『科学的思考の基礎』、『人間と生活及び社会の理解』、『語学』の3つの分野から、人間に関する学際的な学問領域の教科目を設定しています。

専門職業人を育成するための教科目は、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」に設定しています。「専門基礎教育科目」は、『健康と疾病』、『社会と健康支援』の2つ分野から構成され、看護学を学修する基礎的知識を学びます。「専門教育科目」は、『看護の基本』、『対象の特徴と看護実践』、『看護の統合』の3つの分野から構成され、看護師として必要な専門的知識・技術・態度を修得します。学年進むにしたがって「専門教育科目」が増えていきますが、『看護の基本』での学修を基盤に関連付けながら、学びを積み重ねていきましょう。

② 学年の特徴

1年次では、「基礎教育科目」を中心に、人間理解の基礎となる学問的知識を得るとともに、学生個人の価値観や人間観を育て、科学的思考力や大学生として主体的・自律的に学ぶ姿勢を身につけることを目標としています。同じく、1年次から「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」を配置しているのは、「専門教育科目」への導入と「基礎教育科目」と「専門教育科目」の関連性を確認しながら学ぶことで、今後の学修への関心を高め、明確な動機付けとなることを目的としているからです。

2年次では、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」数が増え、「基礎教育科目」で学んだ知識を関連させ、活用しながら、「専門教育科目」の基礎を修得することを目指しています。

3年次では、「専門教育科目」の講義・演習・実習をとおして、専門的知識を深めるとともに自身の看護観を構築しつつ、最終学年における統合化に向けて準備することを目的としています。

4年次では、3年次までの学修に加え、さらなる実習で看護の領域の広がりを学ぶとともに、卒業時の到達度と今後の目標や自己課題を明らかにすることを目的としています。

③ 看護学実習

看護学は実践の科学であり、「看護学実習」は、看護学教育の中心的な位置づけにあります。

「看護学実習」では、看護職としての倫理的態度を基盤に、既修の知識と技術を活用して看護の実践を学びます。また、看護学実習の体験から、看護の現象を意味付け、看護の知として学ぶ学修でもあります。いずれも当該領域の講義・演習を学修したのちに実習を配置しています。

④ 看護ゼミナール

4年次に学生が主体となって、学修のまとめをする授業科目として「看護ゼミナール」を配置しています。教員の指導の下、学生が各学年の学修のまとめをとおして、学修の達成度と課題を明確にするとともに、学生相互に学修し合うことを目的としています。学生一人ひとりの成長を教員が丁寧に指導していきます。

看護学科では、2020年度、2022年度、2025年度にカリキュラムを変更しています。

2026年度入学生は、2025年度カリキュラムに基づいて教育が展開されます。

2025年度カリキュラムの構成と年次進行はカリキュラム・マップ（40ページ）を参照してください。

2. 履修について

履修とは、「必修・選択科目を確認のうえ単位修得を希望する科目について登録し、授業・試験を受けて合格し、単位を修得する」という過程を意味します。履修登録にあたり、『履修の手引き』・『シラバス』・『授業時間割』を熟読のうえ、履修計画を立ててください。1年間の履修計画を立て、前期の履修登録期間中に後期分の履修登録も行ってください。

1) 履修の上限単位（CAP制）

本学では、1単位の単位修得に必要な学修時間を確保し、学修の質の向上と学修の効率化をはかるために、学年ごとに履修登録科目数の上限制度であるCAP（キャップ）制を導入しています。各学年が履修できる1年間の総単位数に上限を設定することで、各学科のディプロマ・ポリシーを達成するための学修を計画的に進められるよう適切に授業科目を履修できることを目的とした制度です。

（2025年度以降入学生）

学 年	1年間の上限
1年	54単位
2年	46単位
3年	27単位
4年	17単位

2) 履修登録スケジュール

履修登録および履修登録変更のスケジュールは該当年度の「履修の手引き」等で確認してください。

3) 履修登録変更期間について

履修登録内容を誤った場合や、授業内容が自分の学修したい内容と異なっていた場合、もしくは履修計画を見直したい場合は、定められた期間で履修登録変更の手続きを行ってください。やむを得ない事情による所定の期間外の履修登録および変更は、教務委員長の許可が必要になります。

履修登録変更の手続きについての詳細は該当年度の「履修の手引き」およびユニバーサルパスポートで周知します。

4) 履修上の注意

卒業に必要な科目履修、単位の管理は、学生自身の自己責任となります。「履修の手引き」とシラバス等を活用して、履修方法、単位認定、試験等にかかわる事項を十分に確認しておきましょう。

1 年次 4 月の段階で 4 年間の履修計画を立案し、1 年 1 年の学修の積み重ねによって、堅実に単位を修得していきましょう。

3. 単位修得について

1) 卒業要件総単位数（2025 年度以降入学生）

本学を卒業するためには、下記の表が示す単位数の修得が必要となります。

科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
必修単位	12 単位	24 単位	77 単位	113 単位
選択単位	8 単位以上	3 単位以上	1 単位以上	12 単位以上
小 計	20 単位以上	27 単位以上	78 単位以上	125 単位以上

2) 算定基準

大学で履修する授業科目には、それぞれ「単位」という一定の基準が定められています。1 単位とは、学生が 1 科目について行う 45 時間（2 単位の場合は 90 時間）の学修活動を意味し、その学修活動とは授業と事前・事後学修からなります。授業科目の 1 単位あたりの時間数は、授業形態に応じた教育効果や事前・事後学修等を考慮したものです。

〈1 単位あたりの授業単位数〉

講義・演習	15 時間～30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って 1 単位
実験・実習・実技	30 時間～45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って 1 単位
1 つの授業科目の中に講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2 つ以上を併用	1 つの授業科目に講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2 つ以上の方法の併用により行う授業については、組み合わせに応じ、30 時間～45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業を 1 単位としています。

3) 単位の「修得」について

単位の「修得」は、「履修登録」した科目の規定回数の 3 分の 2 以上を出席し、定期試験を受験し合格することで、その科目の単位を修得することができます。

ただし、科目によっては、試験の成績にレポート（課題）の評価などが加味され、総合的に評価されます。

4. 履修科目について

必ず履修しなければならない「必修科目」と各区分の中から指定された単位数以上を自由に選択できる「選択科目」を履修します。

1) 基礎教育科目（必修科目12単位、選択科目21単位から20単位以上選択）

「科学的思考の基礎」：必修科目6単位、選択科目5単位から8単位以上選択

大学での学修に不可欠なスタディスキルを学ぶとともに、学問的探究心と科学的思考力の基礎を養います。

「人間と生活及び社会の理解」：必修科目3単位、選択科目12単位から7単位以上選択

多様な視点から人間や物事を理解し、本質を探究していく学際的な学問領域について学び、価値観や人間観を育て、主体的・自律的に学ぶ姿勢を身につけます。

「語学」：必修科目3単位、選択科目4単位から5単位以上を選択

語学学修をとおして、他者との交流におけるコミュニケーションに必要なスキルを学びます。

2) 専門基礎教育科目（必修科目24単位、選択科目5単位から27単位以上を選択）

「健康と疾病」：必修科目18単位

看護学を学ぶ上で必修の基礎的知識である人体の構造・機能、健康と疾病の成り立ち、および回復の促進に関する知識を学修します。

「社会と健康支援」：必修科目6単位、選択科目5単位から9単位以上を選択

保健医療福祉チームにおける看護職の役割および多職種との役割を学修し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する基礎的能力を養います。

3) 専門教育科目（必修科目77単位、選択科目1単位以上を選択）

「看護の基本」：必修科目16単位

看護学の基礎となる知識、技術、態度を中心に、看護実践の具体的な展開に必要な基本的な学修をします。

「対象の特徴と看護実践」：必修科目48単位

看護の対象を小児、母性、成人、老年の各発達段階および精神疾患、地域・在宅の療養者の特徴から理解し、対象が必要とする看護実践の知識・技術・態度を学修します。各看護学概論では、各々の対象理解と目的および方法に関する理論を学修します。「概論」の知識を基盤に各看護援助論Ⅰでは、各々の対象者の特徴および健康障害、疾患に対応した看護の実践方法を学修します。さらに、各看護援助論Ⅱは、演習科目として「概論」、「援助論Ⅰ」の学修を基盤に看護実践（臨地実習）へ直結する学修をします。学内での「概論」「援助論Ⅰ」「援助論Ⅱ」の学修の統合の場として「臨地実習」を位置づけています。「臨地実習」は、実践現場において学生個々が対象者と向き合い、対象者の健康状態に対応した看護実践をとおして、体験的に学修します。

「看護の統合」：必修科目13単位、選択科目5単位から14単位以上を選択

社会のニーズにより対応した看護職者の育成を目的に科目を配置するとともに、主体的な学修により今後の学修課題を明確にする科目を配置しています。

5. 卒業要件について

卒業に必要な履修単位は以下の通りです。

科目区分	2025年度カリキュラム		
	必修科目	選択科目	
基礎教育科目	科学的思考の基礎	6単位	2単位以上
	人間と生活及び社会の理解	3単位	4単位以上
	語学	3単位	2単位以上
専門基礎教育科目	健康と疾病	18単位	－
	社会と健康支援	6単位	3単位以上
専門教育科目	看護の基本	16単位	－
	対象の特徴と看護実践	48単位	－
	看護の統合	13単位	1単位以上

6. 先修要件について

臨地実習に関わる科目を履修するためには、履修規程第19条の進級要件を満たし、かつ次に定める先修要件を満たしていなければなりません。

〈看護学科〉2025年度以降入学生

臨地実習科目	先 修 要 件
初期実習	なし
基礎看護学実習Ⅰ	看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・基礎看護技術論Ⅱ・基礎看護技術論Ⅲの単位を修得していること
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護技術論Ⅳ・基礎看護技術論Ⅴ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得していること
成人看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱの単位を修得していること
老年看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱの単位を修得していること
精神看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱの単位を修得していること
母性・小児看護学実習	小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱ、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの単位を修得していること
地域・在宅看護学実習	地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護援助論Ⅰ、地域・在宅看護援助論Ⅱの単位を修得していること
統合実習	3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

〈履修科目一覧 看護学科 (2025年度以降カリキュラム)〉

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に必要な単位数	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	6単位	必修を含む 8単位以上
科学的思考の基礎	必修	スタートアップ講座[1] 生命科学[2] 情報科学I[1] 情報科学II[1]	統計学[1]							6単位
	選択	数学[1] 環境科学[1] 生活と運動[1]	生活科学[1] 健康とスポーツ[1]							2単位以上
人間と生活及び社会の理解	必修	心理学[1] 倫理学[1] 論理学[1]								3単位
	選択	人間関係の科学[1] 北海道史[1]	発達心理学[1] 生命倫理[1] 文化人類学[1]	法学[1] 教育学[1] ポランティア論[1]	医療と哲学[1] 医療と宗教[1] 医療と社会[1] 音楽[1]					4単位以上
語学	必修	日本語表現[1] 英語I[1]	英語II[1]							3単位
	選択		中国語[1]	英語III[1] 韓国語[1]				英語IV[1]		2単位以上
健康と疾病	必修	総合医療論[1] 形態生理学I(消化器・血液系)[2] 形態生理学II(循環・代謝系)[2] 形態生理学III(運動・神経系)[2] 臨床微生物学[1]	形態生理学II(人体解剖学)[2] 臨床栄養学[1] 感染症概論[1]	病態病理学[1] 疾病論I(循環器・呼吸器系)[1] 疾病論III(運動・神経系)[1] 疾病論IV(内分泌・泌尿器・生殖器系)[1]	臨床薬理学[1] 疾病論II(消化器・血液系)[1]					18単位
	必修		公衆衛生学[1] 保健医療福祉行政論[1]	保健医療統計[1] 関係法規[1]		健康教育論[1] チーム医療論[1]				6単位
社会と健康支援	必修		コミュニケーション論[1]	心の健康科学[1]	社会福祉学[1]	リハビリテーション概論[1]				3単位以上
	選択							家族論[1]		

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に必要な単位数	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基本 必修	初期実習 [1] 看護学概論 [2] 基礎看護技術論 I [2] 基礎看護技術論 II [2]	基礎看護技術論 III [2]	基礎看護技術論 IV [2] 基礎看護技術論 V [2] 基礎看護学実習 I [1]	基礎看護学実習 II [2]					16単位	
		成人看護学概論 [2] 老年看護学概論 [2] 地域在宅看護学概論 [2]	成人看護援助論 I [2] 老年看護援助論 I [2] 小児看護援助論 I [2] 母性看護学概論 [2] 精神看護学概論 [2] 精神看護学概論 [2]	老年看護援助論 II [1] 小児看護援助論 I [2] 母性看護援助論 I [2] 精神看護援助論 I [2] 地域在宅看護援助論 I [2]	成人看護援助論 II [2] 小児看護援助論 II [1] 母性看護援助論 II [1] 精神看護援助論 II [1] 地域在宅看護援助論 II [2]	成人看護学実習 [5] 老年看護学実習 [3] 精神看護学実習 [2]	母性・小児看護学実習 [4] 地域在宅看護学実習 [2]			48単位
対象の特徴と看護実践 必修										
		災害看護学 I [1]	医療安全 [1]		看護研究 [1] 看護管理 [1] 臨床看護技術演習 [2] 看護ゼミナール I [1]		総合実習 [3] 看護研究ゼミナール II [1] 看護倫理学 [1] 看護ゼミナール [1] 国際看護学 [1]			13単位 14単位 以上
看護の統合 選択								看護教育 [1] 災害看護学 II [1] エンド・オブ・ライフケア [1]	1単位以上	
必修科目	42単位		35単位		24単位		12単位		113単位	
選択科目	12単位		11単位		3単位		5単位		31単位	
計	54単位		46単位		27単位		17単位		144単位	
CAP制(履修上限)	54単位		46単位		27単位		17単位		144単位	

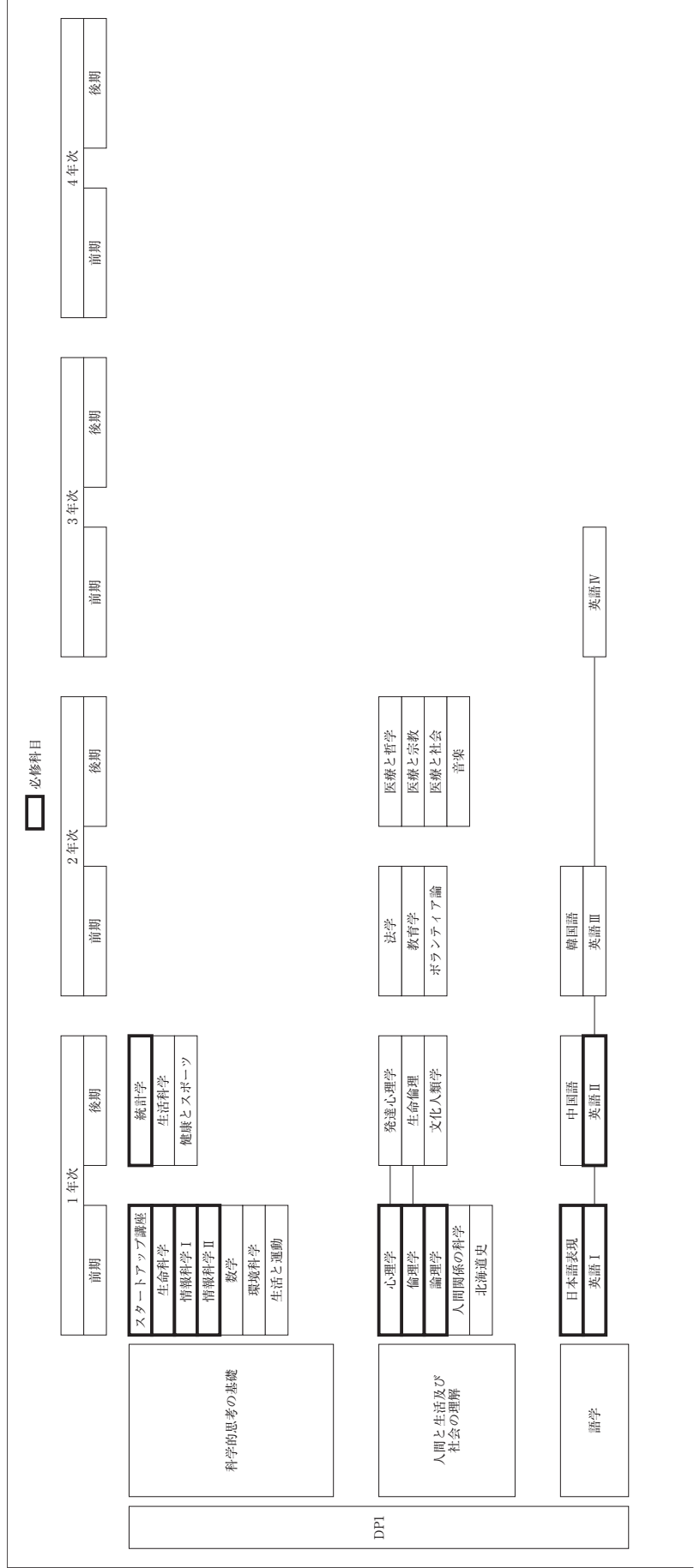
- 卒業要件：125単位以上 必修113単位、選択12単位以上
- [] 内は、単位数
- 太字は臨地実習科目（1単位45時間）

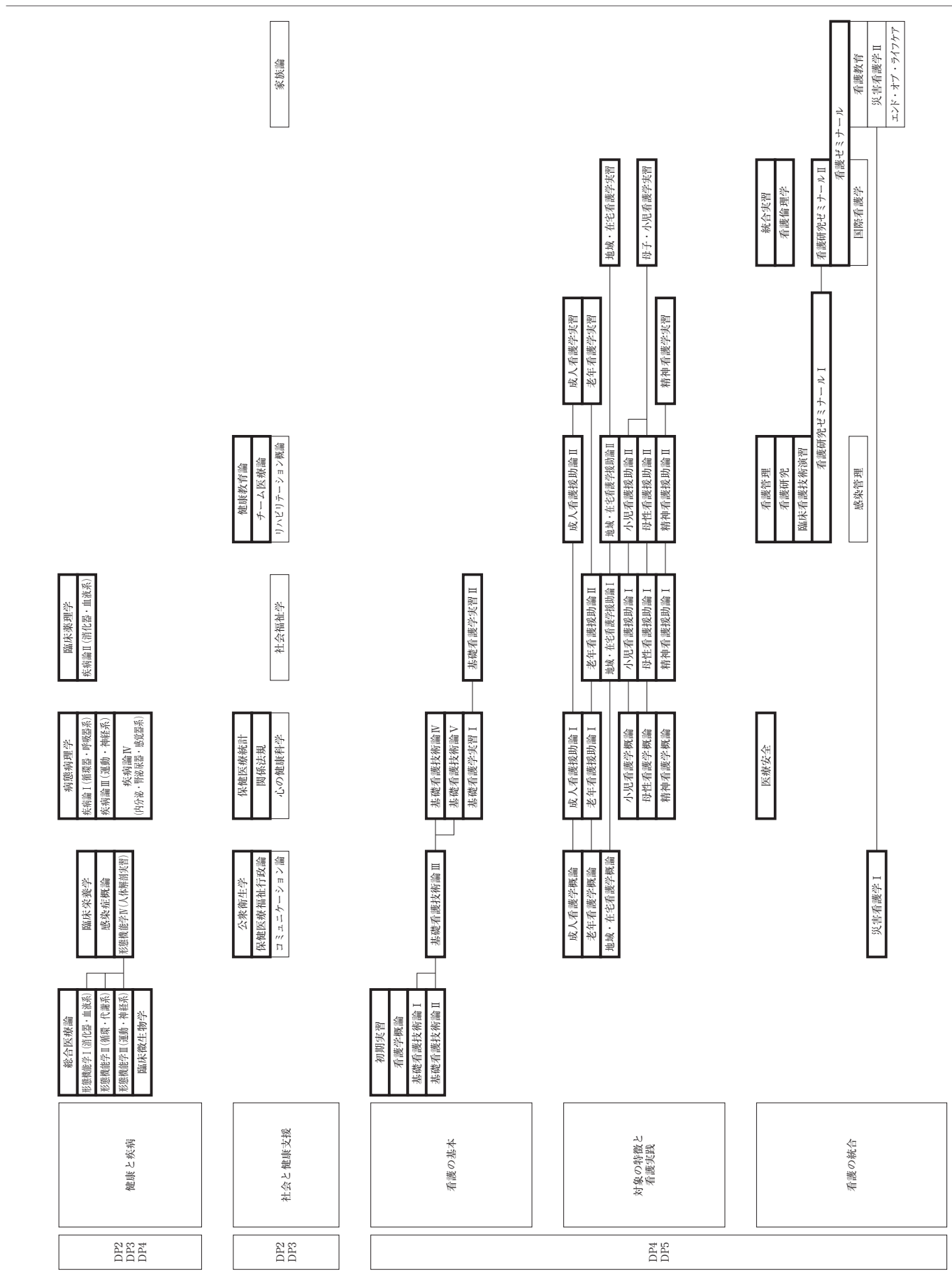
〈カリキュラム・マップ 看護学科 (2025年度以降カリキュラム)〉

DP	基礎教育科目		専門基礎教育科目		専門教育科目	
	科学的思考の基礎	人間と生活及び社会の理解	語学	社会と健康支援	健康と疾病	看護の基本
1 年 次	スタートアップ講座 (必1)	心理学 (必1)	日本語表現 (必1)	公衆衛生学 (必1)	総合医療論 (必1)	初期実習 (必1)
	生命科学 (必2)	発達心理学 (選1)	英語 I (必1)	保健医療福祉行政論 (必1)	形態機能学 I (消化器・血管系) (必2)	成人看護学概論 (必2)
	数学 (選1)	倫理学 (必1)	英語 II (必1)	コミュニケーション論 (選1)	形態機能学 II (循環・代謝系) (必2)	老年看護学概論 (必2)
	環境科学 (選1)	生命倫理 (選1)	中国語 (選1)		形態機能学 III (運動・神経系) (必2)	地域・在宅看護学概論 (必2)
	生活科学 (選1)	論理学 (必1)			形態機能学 IV (人体解剖実習) (必2)	
	統計学 (必1)	人間関係の科学 (選1)			臨床微生物学 (必1)	
	情報科学 I (必1)	文化人類学 (選1)			臨床栄養学 (必1)	
	情報科学 II (必1)	北海道史 (選1)			臨床栄養学 (必1)	
	生活と運動 (選1)				感染症概論 (必1)	
	健康とスポーツ (選1)					
2 年 次	医療と哲学 (選1)	英語 III (選1)	保健医療統計 (必1)	病態病理学 (必1)	基礎看護技術論 IV (必2)	成人看護援助論 I (必2)
	医療と宗教 (選1)	韓国語 (選1)	関係法規 (必1)	臨床薬理学 (必1)	基礎看護技術論 V (必2)	老年看護援助論 I (必2)
	医療と社会 (選1)		社会福祉学 (選1)	疾病論 I (循環器・呼吸器系) (必1)	基礎看護学実習 I (必1)	老年看護援助論 II (必1)
	音楽 (選1)		心の健康科学 (選1)	疾病論 II (消化器・血液系) (必1)	基礎看護学実習 II (必2)	小児看護学概論 (必2)
	法学 (選1)			疾病論 III (運動・神経系) (必1)	小児看護学実習 II (必2)	小児看護援助論 I (必2)
	教育学 (選1)			疾病論 IV (内分泌・生殖器系・感覚器系) (必1)	小児看護学概論 (必2)	母性看護学概論 (必2)
	ボラテンティア論 (選1)				母性看護学実習 I (必2)	母性看護援助論 I (必2)
					精神看護学概論 (必2)	精神看護学概論 (必2)
					精神看護援助論 I (必2)	精神看護援助論 I (必2)
					地域・在宅看護援助論 I (必2)	地域・在宅看護援助論 I (必2)
3 年 次		英語 IV (選1)	健康教育論 (必1)	健康教育論 (必1)	成人看護援助論 II (必2)	看護研究 (必1)
			チーム医療論 (必1)	チーム医療論 (必1)	成人看護学実習 (必5)	看護研究ゼミナール I (必1)
			リハビリテーション概念 (選1)	リハビリテーション概念 (選1)	老年看護学実習 (必3)	看護管理 (必1)
					小児看護援助論 II (必1)	感覚管理 (選1)
					母性看護援助論 II (必1)	臨床看護技術演習 (必2)
4 年 次			家族論 (選1)	家族論 (選1)	精神看護援助論 II (必1)	
					精神看護学実習 (必2)	
					地域・在宅看護援助論 II (必2)	
					母子・小児看護学実習 (必4)	統合実習 (必3)
					地域・在宅看護学実習 (必2)	看護研究ゼミナール II (必1)

〈カリキュラム・ツリー 看護学科 (2025年度以降カリキュラム)〉

看護学科ディプロマポリシー (DP)	DPL 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力	DP2 看護学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、看護の向上に寄与する能力	DP3 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力	DP4 科学的根拠に基づき、対象者に必要な看護を提供する能力	DP5 論理的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力
看護学科カリキュラムポリシー (CP)	CPL 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、「科学的思考の基礎」、「人間と生活及び社会の理解」、「語学」について学ぶ基礎教育科目を配置する	CP2 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するために、「社会と健康支援」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する	CP3 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「健康と疾病」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する	CP4 高度で専門的な看護の実践能力の育成のため、「看護の統合」について学ぶ専門教育科目を配置する	CP5 将来の看護専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う





Ⅲ-3 リハビリテーション学科

1. 概要

1) 教育目的

本学の建学の精神である「共生社会の実現」を目指し、社会に貢献するリハビリテーション専門職業人の育成を目的とする。

2) 教育目標

【教育目標—養成する人材像】

リハビリテーション学科の教育目的を達成するための教育目標（養成する人材像）は以下のとおりである。

1. 生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる人材の育成
2. 全人的理解を基盤とした援助的人間関係を形成できる人材の育成
3. リハビリテーション学に関する専門的知識と技術を修得し、リハビリテーションの実践ができる人材の育成
4. リハビリテーション専門職としての倫理的な態度を身につけ、研鑽し続けることができる人材の育成
5. 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる人材の育成
6. 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる人材の育成

3) 学科の方針

【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）：DP】

本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、リハビリテーション学科における卒業時の到達目標であるディプロマ・ポリシーは、以下の能力を獲得することとする。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力
2. リハビリテーション学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、リハビリテーションの向上に寄与する能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力
- 4-1. 科学的根拠に基づき、良質な理学療法を提供する能力（理学療法学専攻）
- 4-2. 科学的根拠に基づき、良質な作業療法を提供する能力（作業療法学専攻）
5. 論理的思考をもって主体的に学修し、理学療法学・作業療法学を発展させる能力

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）：CP】

リハビリテーション学科のディプロマ・ポリシーを具現化するために、講義、演習、実習等を組み合わせて科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するために、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた理学療法・作業療法の実践に必要な基礎的な知識を修得するため、「人体の構造と機能及び心身の発達」、「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
- 4-1. 対象者の運動機能の維持、改善を目的とした、高度で専門的な理学療法の実践能力育成するため、理学療法評価法および治療法を学ぶ専門教育科目を配置する（理学療法学専攻）

- 4-2. 対象者の主体的な生活の獲得、またはそれを支援することを目的とした、高度で専門的な作業療法の実践能力を育成するため、作業療法評価法および治療法を学ぶ専門教育科目を配置する（作業療法学専攻）
5. 将来のリハビリテーションの専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うために、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）：AP】

養成する人材像やディプロマ・ポリシーの修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、リハビリテーション学科のアドミッション・ポリシーでは以下の人材を求める。

1. 理学療法学・作業療法学に関わる専門的知識・技術・態度を学ぶために必要な基礎学力を有する人
2. 適切な対人関係能力の発展に必要な基礎的コミュニケーション能力を有している人
3. 知的好奇心を持ち、探究心と創造力で自ら学ぶ意欲を持つ人
4. 基本的な生活態度が身につけており、心身の健康に気を配ることができる人
5. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
6. 自己の強みや弱みを客観視でき、成長に向けて努力できる人

4) 教育課程

(1) 教育課程の特色

① 保健医療学部 5 学科共通

各教育課程をより効果的に進行するために、入学前に高大接続期間を設けリメディアル教育の一環として「初年次教育」、「学力確認テスト」さらに、入学後「スタートアップ講座」を配置しています。

② リハビリテーション学科の特色

リハビリテーションとは、単に手足の機能回復などの部分的な意味にとどまるものではなく、人間全体として「人間らしく生きる権利の回復（全人間的復権）」を意味するものです。これを遂行するために理学療法士・作業療法士は、科学的思考に基づいた専門的知識・技術を用いて、保健医療福祉チームと協働してリハビリテーションサービスを提供します。

リハビリテーション学科では、様々な状況や環境にある国民のリハビリテーションに対する期待に応えられるリハビリテーション専門職としての理学療法士・作業療法士の育成を目指しています。本学のカリキュラムは、医療技術の高度化、多様化に対応できる幅広い教養とグローバルな視野を持ち、主体的に学び、考え、行動する人材の育成及び地域医療・福祉に貢献することができるように構成されています。

(2) 教育課程の編成

教育課程の編成は、人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成しています。また、理学療法士・作業療法士の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、選択科目を多く開講し、リハビリテーション学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置しています。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定しています。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視しています。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、

これらのことを十分に考慮して配置しています。

(3) 教育課程進度表

① 科目配置

教育課程の進行は、「基礎教育科目」をベースに「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」と学んでいきますが、相互に関連して学びを深めていくことを目的に配置しています。

リハビリテーション医学は「ヒト」を対象に研究する学問ですので、人間理解に必要な幅広い知性と豊かな感性を育て、学生自身の人間性を育てるための教育科目は、「基礎教育科目」として低学年に配置し、人間に関する学際的な学問領域の教育科目を設定しています。

専門職業人を育成するための教育科目は、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」に設定し、理学療法士・作業療法士として必要な専門的知識・技術はそれらの領域で学修します。学年が進むにしたがい、「専門教育科目」が増えていきますが、「基礎教育科目」と「専門教育科目」が関連付けて学修できるように、「専門教育科目」を1年次から配置し、「基礎教育科目」も可能な限り配置しています。

② 学年の特徴

1年次では、「基礎教育科目」を配置し、人間理解の基礎となる学問的知識を得るとともに、学生個人の価値観や人間観を育て、科学的思考力や大学人として主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けることを目標としています。同じく、1年次から「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」を配置しているのは、「専門教育科目」への導入と「基礎教育科目」と「専門教育科目」の関連性を確認しながら学ぶことで、今後の学修への関心を高め、明確な動機付けとなることを目的としているからです。

2年次では、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」数が増え、「基礎教育科目」で学んだ知識を関連させ、活用しながら、「専門教育科目」の基礎を修得することを目的としています。

3年次では、「専門教育科目」の講義・演習・実習をとおして、専門的知識を深め、最終学年における統合化に向けて準備することを目的としています。

4年次では、3年次までの学修に加え、さらなる実習でリハビリテーション領域の広がり学ぶとともに、卒業時の学修到達度と今後の目標や自己課題を明らかにすることを目的としています。

③ 臨床実習

リハビリテーション学は実践の科学であり、そのために必要な臨床実習には多くの時間を割いています。臨床実習は、既修の理論と知識、技術、態度を体験的に学ぶ学修であり、また、臨床実習の体験から、リハビリテーションの現象を意味付け、リハビリテーションを知として学ぶ学修でもあります。特に「臨床実習Ⅲ」、「臨床実習Ⅳ」は、当該領域の講義・演習を学修したのちに実習を配置しています。

④ 主体的学修

学修の主体は、学生であることから、それぞれの授業科目において、学生自らが積極的に参加し、主体的に学修に取り組むことで、自らの課題を達成していくこと、並びに学生の個性に応じて、多領域にわたり、学問的興味や関心を持つことができることを目的に、演習の学修時間を多くしています。グループワークなどのチーム学修をとおして、学生相互に学びを深めるとともに、調整する能力や協働する能力、ディスカッション能力を育成することもねらいとしています。

2. 履修について

履修とは、「必修・選択科目を確認のうえ単位修得を希望する科目について登録し、授業・試験を受けて合格し、単位を修得する」という過程を意味します。履修登録にあたり、『履修の手引き』・『シラバス』・『授業時間割』を熟読のうえ、履修計画を立ててください。1年間の履修計画を立て、前期の履修登録期間中に後期分の履修登録も行ってください。

1) 履修の上限単位（CAP制）

本学では、1単位の単位修得に必要な学修時間を確保し、学修の質の向上と学修の効率化をはかるために、学年ごとに履修登録科目数の上限制度であるCAP（キャップ）制を導入しています。各学年が履修できる1年間の総単位数に上限を設定することで、各学科のディプロマ・ポリシーを達成するための学修を計画的に進められるよう適切に授業科目を履修できることを目的とした制度です。

（2025年度以降入学生）

学 年	1年間の上限
1 年	50単位
2 年	35単位
3 年	38単位
4 年	21単位

2) 履修登録スケジュール

履修登録および履修登録変更のスケジュールは該当年度の「履修の手引き」等で確認してください。

3) 履修登録変更期間について

履修登録内容を誤った場合や、授業内容が自分の学修したい内容と異なっていた場合、もしくは履修計画を見直したい場合は、定められた期間で履修登録変更の手続きを行ってください。やむを得ない事情による所定の期間外の履修登録および変更は、教務委員長の許可が必要になります。

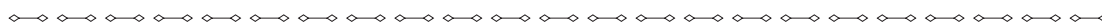
履修登録変更の手続きについての詳細は該当年度の「履修の手引き」およびユニバーサルパスポートで周知します。

4) 履修上の注意

卒業に必要な科目履修、単位の管理は、学生自身の自己責任となります。「履修の手引き」とシラバス等を活用して、履修方法、単位認定、試験等にかかわる事項を十分に確認しておきましょう。

また、堅実な履修計画を立て、単位を管理し、4年間の履修計画を立てておきましょう。

- ① すでに単位を修得している科目を履修することはできません。
- ② 教育上やむを得ないと認められる場合は、履修登録の事前または事後に履修人数を調整することがあります。
- ③ 授業時間が重複する科目を履修することはできません。
- ④ 各学年において、上級学年に履修する授業科目を履修することはできません。
- ⑤ 臨床実習の履修には、先修要件があります。先修要件を満たしていない場合は、実習を履修できません。



臨床実習に関わる科目を履修するためには、履修規程第19条の進級要件を満たし、かつ次に定める科目の単位を修得していなければなりません。

理学療法学専攻

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	1年次前期のリハビリテーション論、理学療法概論を修得し、2年次前期の必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	3年次前期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅲ	3年次後期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅳ	

作業療法学専攻

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	1年次前期のリハビリテーション論、作業療法概論を修得し、2年次前期の必修科目の単位をすべて修得していること
地域臨床実習	2年次後期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	3年次前期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅲ	3年次後期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅳ	

3. 単位修得について

1) 卒業要件総単位数（2025年度以降入学生）

本学を卒業するためには、下記の表が示す単位数の修得が必要となります。

理学療法学専攻

科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	小計
必修単位	12 単位	41 単位	61 単位	114 単位
選択単位	8 単位以上	1 単位以上	4 単位以上	13 単位以上
小計	20 単位以上	42 単位以上	65 単位以上	127 単位以上

作業療法学専攻

科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	小計
必修単位	12 単位	41 単位	67 単位	120 単位
選択単位	8 単位以上	1 単位以上	2 単位以上	11 単位以上
小計	20 単位以上	42 単位以上	69 単位以上	131 単位以上

2) 算定基準

大学で履修する授業科目には、それぞれ「単位」という一定の基準が定められています。1単位とは、学生が1科目について行う45時間（2単位の場合は90時間）の学修活動を意味し、その学修活動とは授業と事前・事後学修からなります。授業科目の1単位あたりの時間数は、授業形態に応じた教育効果や事前・事後学修時間等を考慮したものです。

〈1単位あたりの授業時間数〉

講義・演習	15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位
実験・実習・実技	30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位
1つの授業科目の中に講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2つ以上を併用	1つの授業科目の中に 講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2つ以上の方法の併用により行う授業については、組み合わせに応じ、30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位としています。

3) 単位の「修得」について

単位の「修得」は、「履修登録」した科目の規定回数の3分の2以上を出席し、定期試験を受験し合格することで、その科目の単位を修得することができます。

ただし、科目によっては、試験の成績にレポート（課題）の評価などが加味され、総合的に評価されます。

4. 履修科目について

必ず履修しなければならない必修科目と各区分の中から指定された単位数以上を自由に選択できる選択科目を履修します。

1) 基礎教育科目

必修科目12単位、選択科目から8単位以上選択

「科学的思考の基礎」

必修科目7単位、選択科目から3単位以上選択

リハビリテーション学の基礎となる学問的探究心と科学的思考力を養います。

「人間と生活及び社会の理解」

必修科目2単位、選択科目から4単位以上選択

人間に関する学際的な学問領域について学び、価値観や人間観を育て、主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けます。

「語学」

必修科目3単位、選択科目から1単位以上選択

語学学修をとおして、他者との交流におけるコミュニケーションに必要なスキルを学びます。

2) 専門基礎教育科目

必修科目41単位、選択科目から1単位以上選択

「人体の構造と機能及び心身の発達」

必修科目20単位

リハビリテーション学を学ぶ上で必修の基礎知識である人体の構造と機能及び心身の発達について、解剖学、生理学、運動学を中心に学びます。

「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」

必修科目15単位、選択科目から1単位以上選択

リハビリテーションの対象となる疾病や障害の成り立ち及び回復過程の促進について、基礎医学を学修するとともに、理学療法士・作業療法士の臨床場面において、障害を把握できる能力を養い、問題解決能力の基礎となる知識を修得します。

「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」

必修科目6単位

保健医療福祉チームの一員として、かつリハビリテーションを共通言語とした他職種との連携・協働力の育成に必要なコミュニケーションのあり方やチーム医療を総合的に学修します。

3) 専門教育科目

卒業要件：〔理学療法学専攻〕 必修科目を含む65単位以上

〔作業療法学専攻〕 必修科目を含む69単位以上

専門教育科目は、専攻別に以下の区分で設定されています。

〔理学療法学専攻〕

「基礎理学療法学」

必修科目 7 単位

理学療法の概要を知るとともに、「理学療法セミナーⅠ～Ⅲ」においては学年に応じた臨床実習に向けて科学的思考を模擬的に学修し、かつ学生が主体的に学修する能力を身につけます。これらは、探求型課題解決学習能力の修得に繋がるものです。

「理学療法評価学」

必修科目 8 単位

疾病や障害に応じた理学療法評価を学び、それらの結果を統合・解釈する能力を養います。

「理学療法治療学」

必修科目 20 単位、選択科目から 4 単位以上選択

疾病や障害に応じた理学療法を提供するための知識と技術を学びます。また、「高齢期障害理学療法学」では、障害者のみならず、健康な高齢者に対する健康増進や介護予防の領域での予防的リハビリテーションの各論を学びます。

「地域理学療法学」

必修科目 4 単位

地域リハビリテーションの概念・背景などに基づく、理学療法士の役割や他職種との連携のあり方を住環境整備もふくめて学びます。

「理学療法臨床実習」

必修科目 20 単位

臨床実習は、既修の理論と知識、技術、態度を病院等の臨床の場で体験的に学びます。「臨床実習Ⅰ」では、理学療法士の社会的な意義を理解するとともに、臨床実習指導者のもとの理学療法に関連する見学をします。「臨床実習Ⅱ」では、臨床実習指導者のもとの、対象者を理解するための理学療法評価を実施し、理学療法計画を立案します。「臨床実習Ⅲ」、「臨床実習Ⅳ」では、臨床実習指導者のもとの、理学療法評価、計画立案から実施までの一連の過程を実施・体験するとともに、他職種との連携・協働など専門職としてのあるべき行動を実習します。

「理学療法管理学」

必修科目 2 単位

リハビリテーション専門職として基礎となる生命倫理、および職業倫理を学ぶとともに、職場の管理業務に必要な管理学の基礎知識と実践について学びます。

内容はリハビリテーション部門のマネジメントや診療管理、診療・介護報酬の仕組みなど多岐にわたり、業務遂行に必要な各種法令について最新の状況を学修します。

【作業療法学専攻】

「基礎作業療法学」

必修科目 8 単位

作業療法の概要を知るとともに、「作業療法セミナーⅠ～Ⅲ」においては学年に応じた臨床実習に向けて科学的思考を模擬的に学修し、かつ学生が主体的に学修する能力を身につけます。これらは、探求型課題解決学習能力の修得に繋がるものです。

「作業療法評価学」

必修科目 6 単位

疾病や障害に応じた作業療法評価を学び、それらの結果を統合・解釈する能力を養います。

「作業療法治療学」

必修科目 20 単位、選択科目から 2 単位以上選択

疾病や障害に応じた作業療法を提供するための知識と技術を学びます。また、「高齢期障害作業治療学」では、障害者のみならず、健康な高齢者に対する健康増進や介護予防の領域での予防的リハビリテーションの各論を学びます。

「地域作業療法学」

必修科目 4 単位

地域リハビリテーションの概念・背景などに基づく作業療法士の役割や他職種との連携のあり方を、住環境整備もふくめて学びます。

「作業療法臨床実習」

必修科目 27 単位

臨床実習は、既修の理論と知識、技術を病院等の臨床の場で体験的に学びます。「臨床実習Ⅰ」では作業療法士の社会的な意義を理解するとともに、臨床実習指導者のもとで、施設における作業療法の見学を行います。「地域臨床実習」では、地域社会の中での作業療法の在り方を見学し、これからの予防医療の在り方を学びます。「臨床実習Ⅱ」では、臨床実習指導者のもとで対象者を理解するための作業療法評価を実施し、作業療法計画を立案します。「臨床実習Ⅲ」、「臨床実習Ⅳ」では、臨床実習指導者のもとで、治療を含めた作業療法の一連の流れを体験します。専門職としてのあるべき行動についても体験します。

「作業療法管理学」

必修科目 2 単位

「リハビリテーション管理学」として、専門職としての行動規範、組織の中での個人の在り方などを含めて、実習や卒後を見据えて学修をします。

〈履修科目一覧 理学療法専攻（2025年度以降カリキュラム）〉

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
科学的思考の基礎	必修 スタートアップ講座[1] 心理学[1] 情報科学[1]	後期 生活と運動[1] 統計学[1]	後期 人間発達学[2]						10単位以上 (必修科目7単 位を含む)
	選択 生物学[1] 物理学[1] 環境科学[1] 情報科学演習[1]	発達心理学[1] 生活科学[1] 健康とスポーツ[1]							
人間と生活及び 社会の理解	必修 倫理学[1]	医療と社会[1]							6単位以上 (必修科目2単 位を含む)
	選択 論理学[1] 人間関係の科学[1] 法学[1] 教育学[1] 北海道史[1]	生命倫理[1] 医療と哲学[1] 医療と宗教[1] 文化人類学[1]	音楽[1]						
言語学	必修 日本語表現[1] 英語I[1]	英語II[1]							4単位以上 (必修科目3単 位を含む)
	選択	中国語[1]	英語III[1] 韓国語[1]		英語IV[1]				
人体の構造 と機能及び 心身の発達	必修 解剖学I[2] 解剖学演習[2] 体表解剖学[1] 生理学I[2]	解剖学II[2] 生理学II[2] 運動学I[2]	解剖学特論[1] 生理学演習[1] 運動学II[2]	生理学特論[1] 運動学演習[1]	運動学特論[1]				20単位
	必修 栄養学[1]	病理学[2] 薬理学[1] 予防医学[1]	整形外科学[2] 神経障害学[2]	内科学[2] 精神障害学[1] 発達障害学[1] 生体情報論[1]	応急処置法[1]				
疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	必修 リハビリテーション論[2] 総合医療論[1]		心の健康科学I[1] 教育心理学[1]	社会福祉学[1]	チーム医療論[1]				16単位以上 (必修科目15 単位を含む)
	選択	リハビリテーション論[2] 総合医療論[1]						健康政策論[1]	
保健医療福祉と リハビリテー ションの理念	必修								6単位
基礎教育科目									
専門基礎教育科目									

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎理学療法学	理学療法概論 [1]	理学療法概論演習 [1] 理学療法セミナーⅠ [1]		理学療法セミナーⅡ [1]	理学療法研究法 [1]	理学療法セミナーⅢ [1]		理学療法総合演習 [1]	7単位
	必修								
理学療法評価学		理学療法評価学Ⅰ [1] 理学療法評価学演習Ⅰ [1]	理学療法評価学Ⅱ [1] 理学療法評価学演習Ⅱ [1] 運動器系検査法(筋力測定) [1] 運動療法学 [1]	運動療法学演習 [1] 臨床神経機能解剖学 [1]	臨床判断学 [1]				8単位
	必修								
理学療法治療学					運動器障害理学療法学 [1] 運動器障害理学療法学演習 [1] 神経障害理学療法学 [1] 神経障害理学療法学演習 [1] 内臓障害理学療法学(循環器) [1] 神経障害理学療法学演習 [1] 物理療法学 [1] 物理療法学演習 [1] 義肢装具学 [1] 日常生活活動基礎学 [1]	内部障害理学療法学 (呼吸器) [1] 代謝・免疫系障害理学療法学 [1] 学療法学 [1] 発達障害理学療法学 [1] 高齢期障害理学療法学 [1] 義肢装具学演習 [1]	卒業研究Ⅱ [1]		24単位以上 (必修科目20単位を含む)
	必修								
専門教育科目					卒業研究Ⅰ [2]				
療理学域					ウイメンズヘルスケア論 [1] 災害リハビリテーション [1] 徒手関節治療学 [1]	神経筋促進治療学 [1] 軟部組織治療学 [1] 高次脳機能障害学 [1] スポーツ理学療法学 [1]			4単位
	必修								
臨床実習Ⅱ			地域リハビリテーション学 [1]	地域リハビリテーション学演習 [1]		臨床実習Ⅱ(理学療法) [4]	臨床実習Ⅲ(理学療法) [7] 臨床実習Ⅳ(理学療法) [7]		20単位
	必修								
管理理学							リハビリテーション管理学 [2]		2単位
必修科目		36単位	31単位	30単位	30単位	17単位	17単位	114単位	
選択科目		17単位	7単位	8単位	8単位	0単位	0単位	32単位	
計		53単位	38単位	38単位	38単位	17単位	17単位	146単位	
CAP制(履修上限)		50単位	35単位	38単位	38単位	21単位	21単位	144単位	

○卒業要件 127単位以上、必修114単位、選択13単位以上

○ [] 内は、単位数

〈履修科目一覧 作業療法学専攻（2025年度以降カリキュラム）〉

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に 必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
科学的思考の基礎	必修 スタートアップ講座〔1〕 心理学〔1〕 情報科学〔1〕	後期 生活と運動〔1〕 統計学〔1〕		後期 人間発達学〔2〕					10単位以上 (必修科目7単 位を含む)
	選択 生物学〔1〕 物理学〔1〕 環境科学〔1〕 情報科学演習〔1〕	発達心理学〔1〕 生活科学〔1〕 健康とスポーツ〔1〕							
人間と生活及び 社会の理解	必修 倫理学〔1〕	医療と社会〔1〕							6単位以上 (必修科目2単 位を含む)
	選択 論理学〔1〕 人間関係の科学〔1〕 法学〔1〕 教育学〔1〕 北海道史〔1〕	生命倫理〔1〕 医療と哲学〔1〕 医療と宗教〔1〕 文化人類学〔1〕	ボランテニア論〔1〕	音楽〔1〕					
語学	必修 日本語表現〔1〕 英語I〔1〕	英語II〔1〕							4単位以上 (必修科目3単 位を含む)
	選択	中国語〔1〕	英語III〔1〕 韓国語〔1〕		英語IV〔1〕				
人体の構造 と機能及び 心身の発達	必修 解剖学I〔2〕 解剖学演習〔2〕 体表解剖学〔1〕 生理学I〔2〕	解剖学II〔2〕 生理学II〔2〕 運動学I〔2〕	解剖学特論〔1〕 生理学演習〔1〕 運動学II〔2〕	生理学特論〔1〕 運動学演習〔1〕	運動学特論〔1〕				20単位
	必修 栄養学〔1〕	病理学〔2〕 薬理学〔1〕 予防医学〔1〕	整形外科学〔2〕 神経障害学〔2〕	内科学〔2〕 精神障害学〔1〕 痿痺障害学〔1〕 生体情報論〔1〕	応急処置法〔1〕				
疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	必修		心の健康科学I〔1〕 教育心理学〔1〕	心の健康科学II〔1〕					16単位以上 (必修科目15 単位を含む)
	選択								
保健医療福祉と リハビリテーションの 理念	必修	リハビリテーション論〔2〕 総合医療論〔1〕		社会福祉学〔1〕	チーム医療論〔1〕			健康政策論〔1〕	6単位
	必修								

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に 必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
療作業基礎 法理学	作業療法概論 [1] 基礎作業学 [1]	基礎作業学演習 [1] 作業療法セミナーI [1]		作業療法セミナーII [1]	作業療法研究法 [1]	作業療法セミナーIII [1]		作業療法総合演習 [1]	8単位
		作業療法評価学 [1] 作業療法評価学演習 (骨・関節系) [1]		作業療法評価学演習 (中枢神経系) [1] 作業療法評価学演習 (精神・高齢期) [1]					
作業療法 評価学			日常生活学 (ADL) [1]	日常生活学 (動作分析) [1]	作業療法治療学 (総論) [2] 身体障害治療学 [2] 精神障害治療学 [2] 発達障害治療学 [2] 高齢期障害治療学 [2] 高次脳機能障害治療学 [1] 義肢装具作業療法学 [1] 就労支援作業療法学 [1]	身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) [1] 身体障害作業治療学 (内 部障害・代謝障害系) [1] 身体障害作業治療学 (ハンデセラピー) [1]			6単位
					卒業研究I [2]	卒業研究II [1]			
作業療法治療学					作業療法治療学 (総論) [1] 作業療法治療学 (シニア) [1] 認知機能評価 (スクリーン) [1] ワイメンズヘルスケア論 [1] 災害リハビリテーション [1]	軟部組織治療学 [1]			22単位以上 (必修科目20 単位を含む)
地域作業療法学			地域リハビリテーション学 [1]	地域リハビリテーション学演習 [1] 福祉住環境論 [1]	地域作業療法学 [1]				4単位
臨床実習 作業療法					臨床実習 (作業療法) [1]	臨床実習II (作業療法) [6]	臨床実習III (作業療法) [8] 臨床実習IV (作業療法) [8]		27単位
					臨床実習 (作業療法) [2] 臨床実習セミナーI [1]	臨床実習セミナーII [1]			
作業療法 管理学						リハビリテーション管理学 [2]			2単位

必修科目	37単位	31単位	33単位	19単位	120単位
選択科目	17単位	7単位	7単位	0単位	31単位
計	54単位	38単位	40単位	19単位	151単位
CAP制 (履修上限)	50単位	35単位	38単位	21単位	144単位

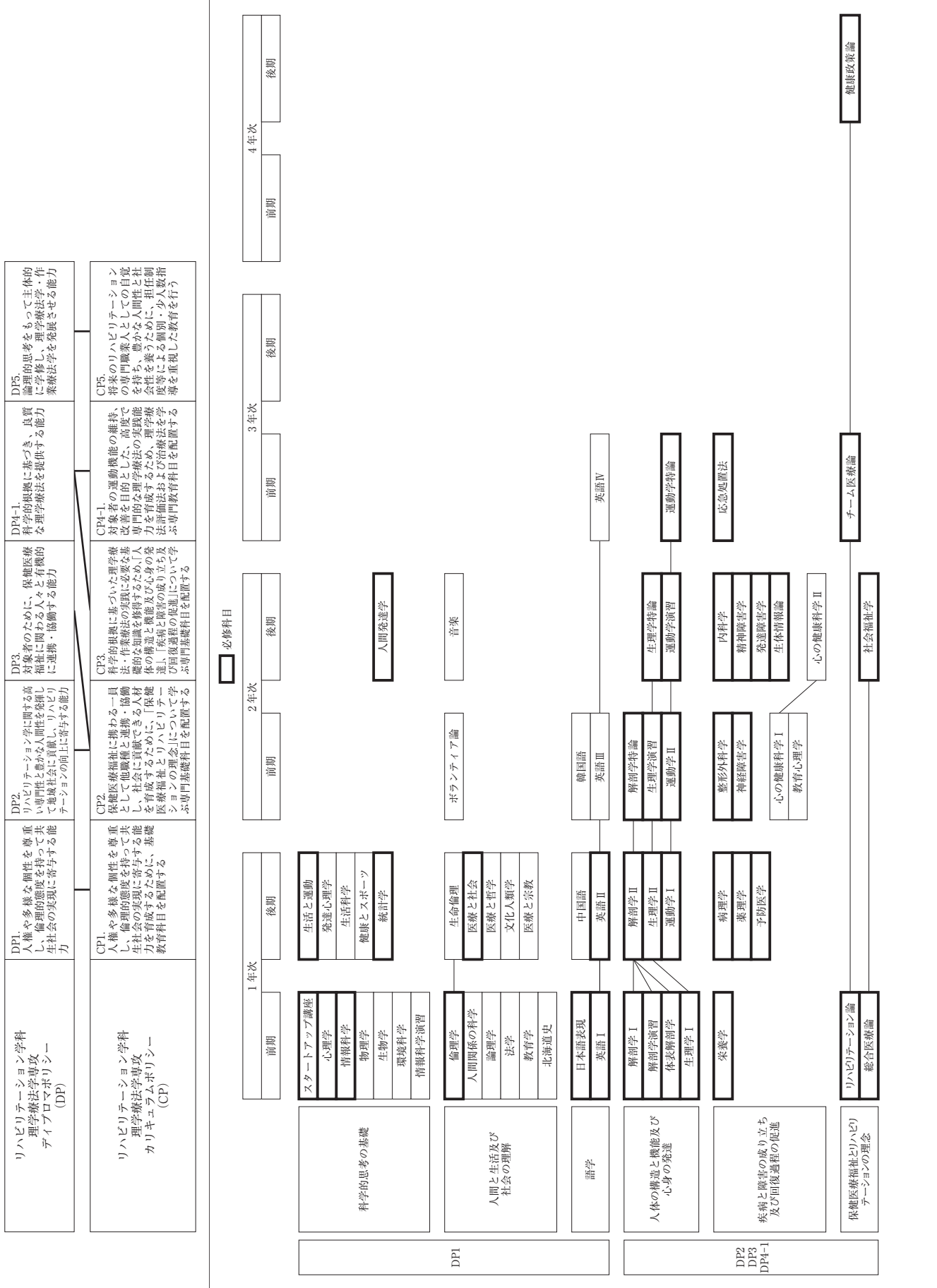
○卒業要件 131単位以上 必修120単位、選択11単位以上

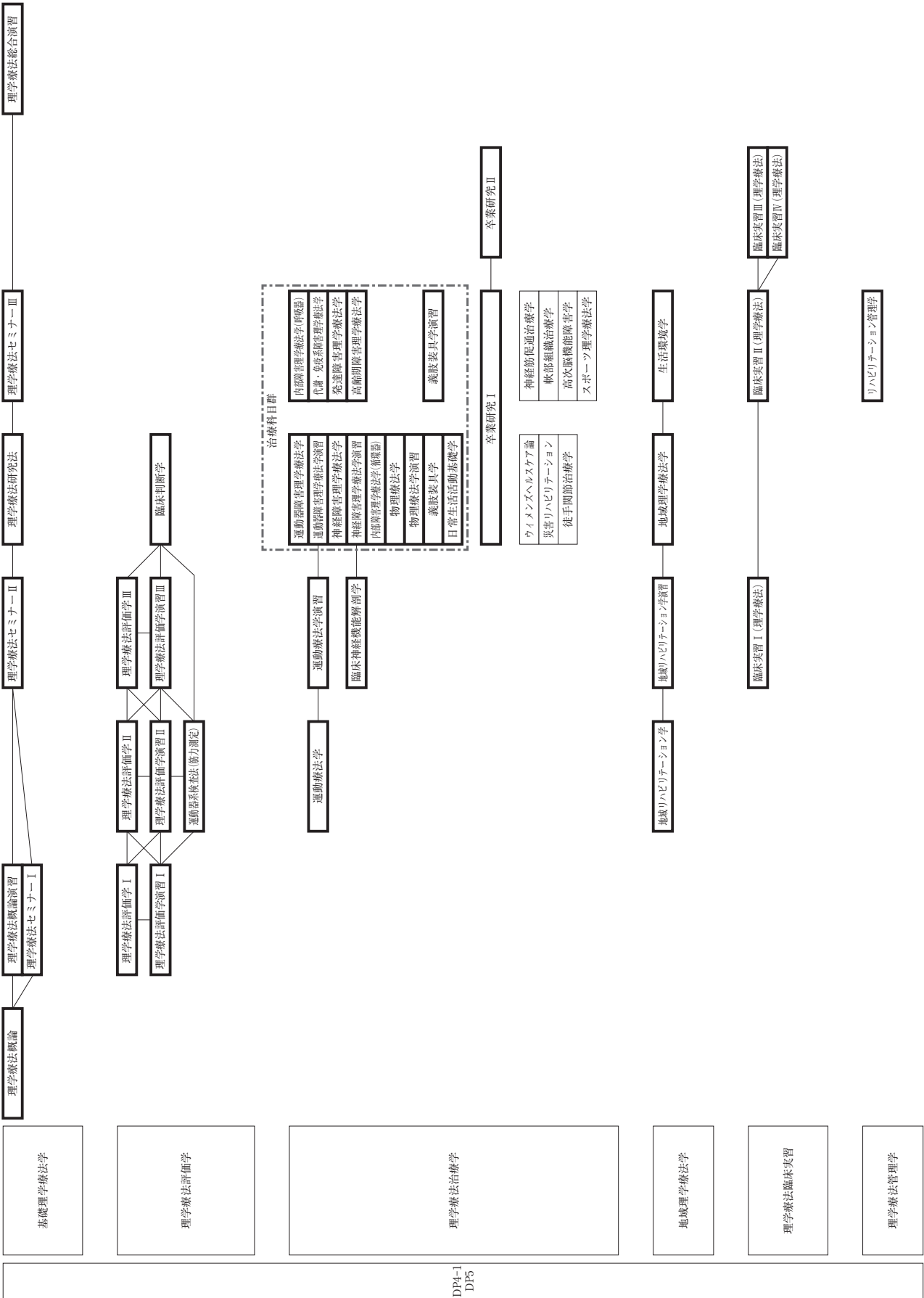
○ [] 内は、単位数

〈カリキュラム・マップ 理学療法学専攻（2025年度以降カリキュラム）〉 ※DP：ディプロマポリシー

DP	<p>DP1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持つて共生社会の実現に寄与する能力</p> <p>DP2. リハビリテーション学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、リハビリテーションの向上に寄与する能力</p> <p>DP3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力</p> <p>DP4-1. 科学的根拠に基づき、良質な理学療法を提供する能力</p> <p>DP4-1. 科学的根拠に基づき、良質な理学療法を提供する能力</p> <p>DP5. 論理的思考をもって主体的に学修し、理学療法学・作業療法学を発展させる能力</p>	<p>基礎教育科目</p> <p>科学的思考の基礎 スタートアップ講座(必1) 発達心理学(選1) 生体心理学(選1) 物理学(選1) 生活科学(選1) 環境科学(選1) 生活と運動(必1) 健康とスポーツ(選1) 統計学(必1) 情報科学(選1)</p> <p>人間と生活及び社会の理解 倫理学(必1) 生命倫理(選1) 医療と哲学(選1) 論理学(選1) 医療と宗教(選1) 人間関係の科学(選1) 文化人類学(選1) 医療と社会(必1) 法学(選1) 教育学(選1) 北海道史(選1)</p> <p>言語 日本語表現(必1) 英語Ⅰ(必1) 英語Ⅱ(必1) 中国語(選1)</p>	<p>専門基礎教育科目</p> <p>人体の構造と機能及び心身の発達 解剖学Ⅰ(必2) 解剖学Ⅱ(必2) 解剖学演習(必2) 体表解剖学(必1) 生理学Ⅰ(必2) 生理学Ⅱ(必2) 運動学Ⅰ(必2)</p> <p>疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 病理学(必2) 栄養学(必1) 薬理学(必1) 予防医学(必1)</p> <p>保健医療福祉とリハビリテーションの理念 リハビリテーション概論(必2) 総合医療論(必1)</p>	<p>基礎理学療法学 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>理学療法評価学 理学療法評価学Ⅰ(必1) 理学療法評価学演習Ⅰ(必1)</p>	<p>理学療法治療学 運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>地域理学療法学 地域リハビリテーション概論(必1) 地域リハビリテーション演習(必1)</p>	<p>理学療法臨床実習</p>	<p>理学療法管理心理学</p>				
1年次	<p>人間発達学(必2) 音楽(選1) ボランティア論(選1)</p>	<p>解剖学時論(必1) 生理学時論(必1) 運動学Ⅱ(必2) 運動学演習(必1)</p>	<p>英語Ⅲ(選1) 韓国語(選1)</p>	<p>心身の健康科学Ⅰ(選1) 心の健康科学Ⅱ(選1) 教育心理学(選1) 内科学(必2) 整形外科学(必2) 神経障害学(必1) 精神障害学(必1) 発達障害学(必1) 生体情報論(必1)</p>	<p>社会福祉学(必1)</p>	<p>理学療法セミナーⅡ(必1) 理学療法評価学Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅲ(必1) 運動療法概論(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>理学療法評価学Ⅰ(必1) 理学療法評価学演習Ⅰ(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>理学療法臨床実習</p>	<p>理学療法管理心理学</p>
2年次	<p>人間発達学(必2) 音楽(選1) ボランティア論(選1)</p>	<p>解剖学時論(必1) 生理学時論(必1) 運動学Ⅱ(必2) 運動学演習(必1)</p>	<p>英語Ⅲ(選1) 韓国語(選1)</p>	<p>心身の健康科学Ⅰ(選1) 心の健康科学Ⅱ(選1) 教育心理学(選1) 内科学(必2) 整形外科学(必2) 神経障害学(必1) 精神障害学(必1) 発達障害学(必1) 生体情報論(必1)</p>	<p>社会福祉学(必1)</p>	<p>理学療法セミナーⅡ(必1) 理学療法評価学Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅲ(必1) 運動療法概論(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>理学療法評価学Ⅰ(必1) 理学療法評価学演習Ⅰ(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>理学療法臨床実習</p>	<p>理学療法管理心理学</p>
3年次	<p>人間発達学(必2) 音楽(選1) ボランティア論(選1)</p>	<p>解剖学時論(必1) 生理学時論(必1) 運動学Ⅱ(必2) 運動学演習(必1)</p>	<p>英語Ⅳ(選1)</p>	<p>心身の健康科学Ⅰ(選1) 心の健康科学Ⅱ(選1) 教育心理学(選1) 内科学(必2) 整形外科学(必2) 神経障害学(必1) 精神障害学(必1) 発達障害学(必1) 生体情報論(必1)</p>	<p>社会福祉学(必1)</p>	<p>理学療法セミナーⅡ(必1) 理学療法評価学Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅲ(必1) 運動療法概論(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>理学療法評価学Ⅰ(必1) 理学療法評価学演習Ⅰ(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>理学療法臨床実習</p>	<p>理学療法管理心理学</p>
4年次	<p>人間発達学(必2) 音楽(選1) ボランティア論(選1)</p>	<p>解剖学時論(必1) 生理学時論(必1) 運動学Ⅱ(必2) 運動学演習(必1)</p>	<p>英語Ⅳ(選1)</p>	<p>心身の健康科学Ⅰ(選1) 心の健康科学Ⅱ(選1) 教育心理学(選1) 内科学(必2) 整形外科学(必2) 神経障害学(必1) 精神障害学(必1) 発達障害学(必1) 生体情報論(必1)</p>	<p>社会福祉学(必1)</p>	<p>理学療法セミナーⅡ(必1) 理学療法評価学Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅱ(必1) 理学療法評価学演習Ⅲ(必1) 運動療法概論(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>基礎理学療法学(必1) 理学療法概論(必1) 理学療法概論演習(必1) 理学療法セミナーⅠ(必1)</p>	<p>理学療法評価学Ⅰ(必1) 理学療法評価学演習Ⅰ(必1)</p>	<p>運動療法学(必1) 運動療法学演習(必1) 臨床神経機能解剖学(必1)</p>	<p>理学療法臨床実習</p>	<p>理学療法管理心理学</p>

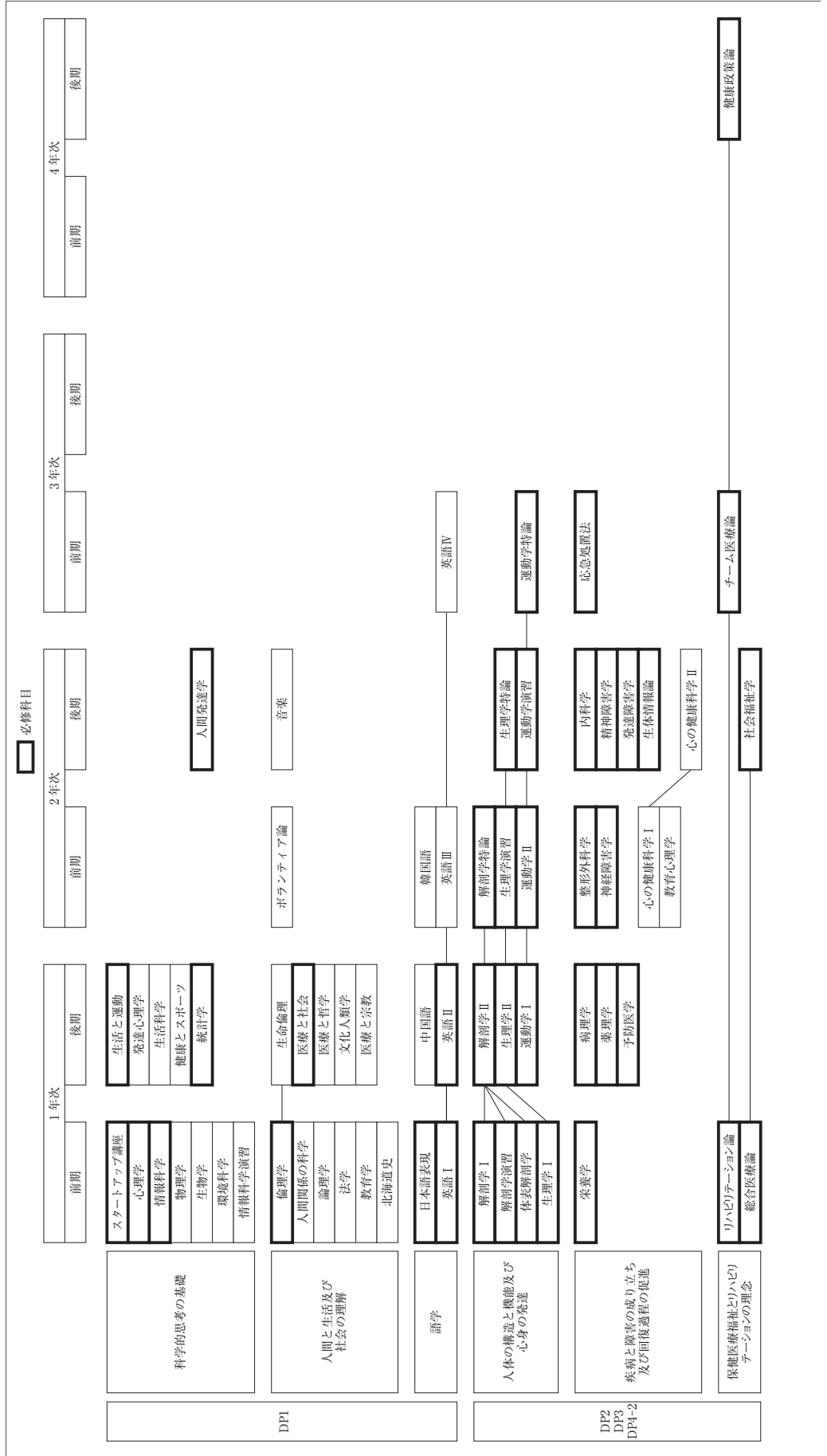
〈カリキュラム・ツリー 理学療法学専攻 (2025年度以降カリキュラム)〉

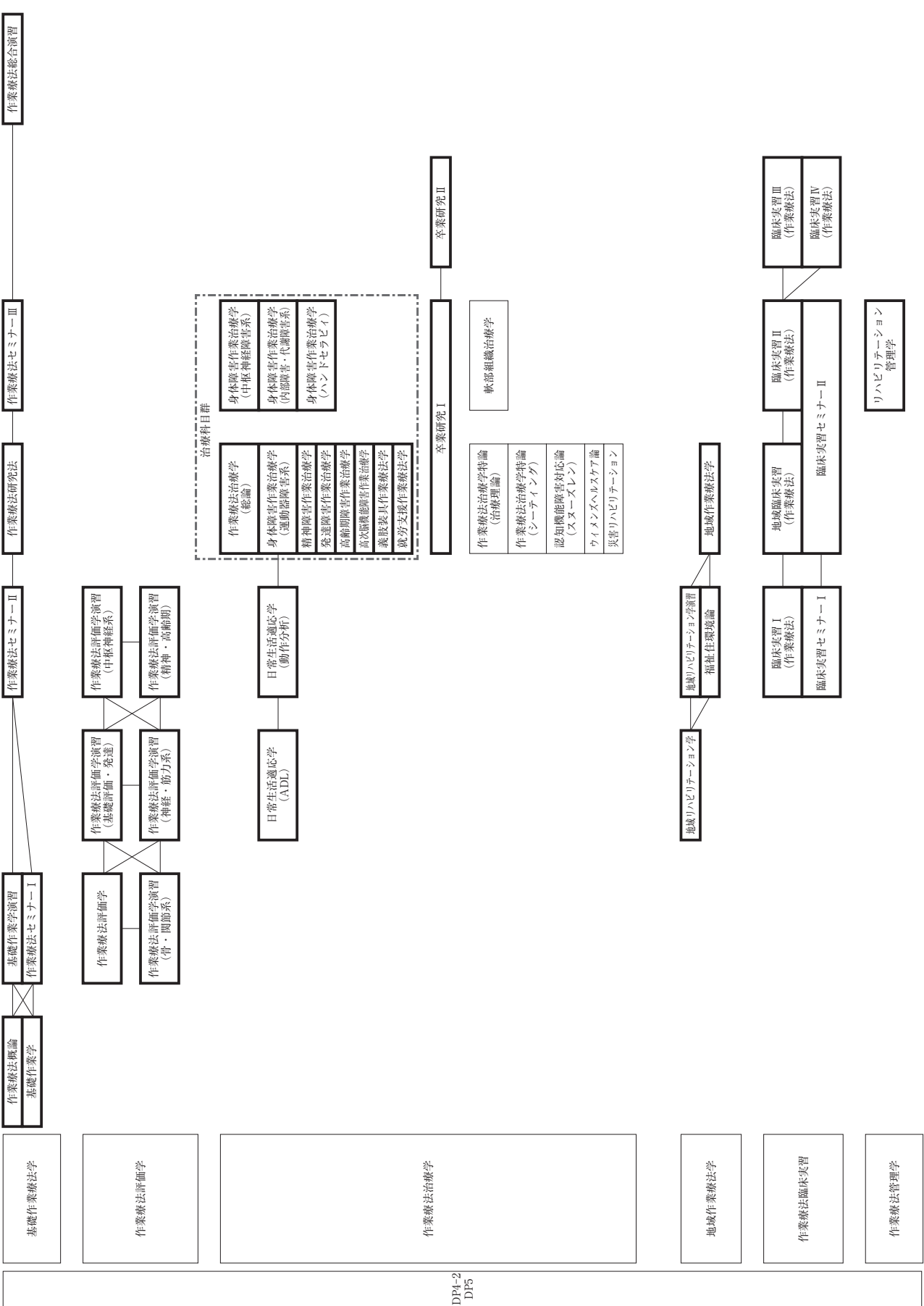




〈カリキュラム・ツリー 作業療法学専攻 (2025年度以降カリキュラム)〉

リハビリテーション学科 作業療法学専攻 ディプロマポリシー (DP)	DP1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力	DP2. リハビリテーション学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、リハビリテーションの向上に寄与する能力	DP3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力	DP4-2. 科学的根拠に基づき、良質な作業療法を提供する能力	DP5. 論理的思考をもって主体的に学修し、理学療法・作業療法学を発展させる能力
リハビリテーション学科 作業療法学専攻 カリキュラムポリシー (CP)	CP1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、基礎教育科目を配置する	CP2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するために、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」について学ぶ専門基礎科目を配置する	CP3. 科学的根拠に基づいた理学療法・作業療法の実践に必要な基礎的な知識を修得するため、人権の構造と機能及び心身の発達、回復過程の促進について学ぶ専門基礎科目を配置する	CP4-2. 対象者の主体的な生活の獲得、またはそれを支援することを目的とした、高度で専門的な作業療法の実践能力を育成するため、作業療法評価法および治療法を学ぶ専門教育科目を配置する	CP5. 将来のリハビリテーションの専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を兼ね備えるために、担任制等による個別・少人数指導を重視した教育を行う





DP4-2
DP5

Ⅲ-4 診療放射線学科

1. 概要

1) 教育目的

本学の建学の精神である「共生社会の実現」を目指し、社会に貢献する診療放射線専門職業人の育成を目的とする。

2) 教育目標

【教育目標—養成する人材像】

診療放射線学科の教育目的を達成するための教育目標（養成する人材像）は、以下のとおりである。

1. 生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる人材の育成
2. 全人的理解を基盤とした援助の人間関係を形成できる人材の育成
3. 診療放射線学に関する専門的知識と技術を修得し、放射線による診断や治療の実践ができる人材の育成
4. 放射線による診断・治療の専門職としての倫理的な態度を身につけ、研鑽し続けることができる人材の育成
5. 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる人材の育成
6. 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる人材の育成

3) 学科の方針

【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）：DP】

本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、診療放射線学科における卒業時の到達目標であるディプロマ・ポリシーは、以下の能力を獲得することとする。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力
2. 診療放射線学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、放射線による診断と治療の向上に寄与する能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力
4. 科学的根拠に基づき、画像診断と放射線治療の医療技術を提供する能力
5. 論理的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）：CP】

診療放射線学科のディプロマ・ポリシーを具現化するために、講義、演習、実習等を組み合わせて科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するために「保健医療福祉と診療放射線」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた診療放射線の実践に必要な基礎的知識を修得するために、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「保健医療における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術」について学ぶ専門基礎教

育科目を配置する

4. 高度で専門的な診療放射線の実践能力を育成するため、診療放射線検査法、放射線治療法、放射線安全管理法について学ぶ専門教育科目を配置する
5. 将来の診療放射線専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うために、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）：AP】

養成する人材像やディプロマ・ポリシーの修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、診療放射線学科のアドミッション・ポリシーでは以下の人材を求める。

1. 診療放射線学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、診療放射線学の学修に意欲と熱意を持つ人
2. 適切な対人関係能力の発展に必要な基礎的コミュニケーション能力を有する人
3. 知的好奇心を持ち、探究心と創造力で自ら学ぶ意欲を持つ人
4. 基本的な生活態度が身につけており、心身の健康に気を配ることができる人
5. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
6. 自己の強みや弱みを客観視でき、成長に向けて努力できる人

4) 教育課程

(1) 教育課程の特色

① 保健医療学部 5 学科共通

各教育課程をより効果的に進行するために、入学前に高大接続期間を設けリメディアル教育の一環として「初年次教育」、「学力確認テスト」さらに、入学後「スタートアップ講座」を配置しています。

② 診療放射線学科の特色

診療放射線学科は、本学の教育理念に基づき、「幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と人間関係形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する」ことを教育研究上の目的としています。

(2) 教育課程の編成

教育課程の編成は、人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成しています。また、診療放射線技師の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、診療放射線学科で掲げた人材育成に必要な選択科目を配置しています。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教育科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定しています。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視しています。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置しています。

(3) 教育課程の進行に関する基本的な考え方

① 科目配置

教育課程の進行は、「基礎教育科目」をベースに「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」と学んでいきますが、相互に関連して学びを深めていくことを目的に配置しています。

放射線医学は「ヒト」を対象に研究する学問ですので、人間理解に必要な幅広い知性と豊かな感性を育て、学生自身の人間性を育てるための教育科目は、「基礎教育科目」として低学年に配置し、人間に関する学際的な学問領域の教育科目を設定しています。

専門職業人を育成するための教育科目は、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」に設定し、診療放射線技師として必要な専門的知識はそれらの領域で学修します。学年が進むにしたがい、「専門教育科目」が増えていきますが、「基礎教育科目」と「専門教育科目」が関連付けて学修できるように、「専門基礎教育科目」を1年次から配置し、「基礎教育科目」も可能な限り配置しています。

② 学年の特徴

1年次では、基礎教育科目を配置し、人間理解の基礎となる学問的知識を得るとともに、学生個人の価値観や人間観を育て、科学的思考力や大学人として主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けることを目標としています。同じく、1年次から「専門基礎教育科目」を配置しているのは、専門教育科目への導入と「基礎教育科目」と「専門教育科目」との関連性を確認しながら学ぶことで、今後の学修への関心を高め、明確な動機付けとなることを目的としているからです。

2年次では、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の数が増え、「基礎教育科目」で学んだ知識を関連させ活用しながら、「専門教育科目」の基礎を修得することを目的としています。

3年次では、「専門教育科目」の講義・演習・実習をとおして、専門的知識を深め、最終学年における統合化に向けて準備することを目的としています。

4年次では、3年次までの学修に加え、さらなる実習で診療放射線領域の広がり学ぶとともに、卒業時の学修到達度と今後の目標や自己課題を明らかにすることを目的としています。

③ 臨床実習

臨床実習は、既修の理論と知識や技能、態度を体験的に学ぶ学修であり、また、臨床実習の体験から、放射線医学の現象を意味付け、診療放射線を知として学ぶ学修でもあります。

「早期臨床実習」では、早期に福祉・臨床現場で実習することで、他職種との関係や連携を通してチーム医療を体験し、診療放射線技師という職業を理解する学修です。「臨床実習Ⅰ」では、X線を使用した一般撮影をはじめ、CT、MRI、造影検査を通じて臨床の基本的な知識と技能に関する実践能力を身に付け、また、臨床現場で患者と接しながら対人的な能力を体験的に学ぶ学修です。「臨床実習Ⅱ」では、臨床実習Ⅰの領域に加えて核医学検査分野と放射線治療分野の専門的な知識と応用能力を身に付ける学修の実習を配置しています。

④ 主体的学修

学修の主体は学生であることから、それぞれの授業科目において、学生自らが積極的に参加し、主体的に学修に取り組むことで自らの課題を達成していくこと、並びに学生の個別性に応じて、多領域にわたり学問的興味や関心を持つことができることを目的に、演習の学修時間を多くしています。グループワークなどのチーム学修をとおして、学生相互に学びを深めるとともに、調整する能力や協働する能力、ディスカッション能力を育成することもねらいとしています。

2. 履修について

履修とは、「必修・選択科目を確認のうえ単位修得を希望する科目について登録し、授業・試験を受けて合格し、単位を修得する」という過程を意味します。履修登録にあたり、『履修の手引き』・『シラバス』・『授業時間割』を熟読のうえ、履修計画を立ててください。1年間の履修計画を立て、前期の履修登録期間中に後期分の履修登録も行ってください。

1) 履修の上限単位（CAP制）

本学では、1単位の単位修得に必要な学修時間を確保し、学修の質の向上と学修の効率化をはかるために、学年ごとに履修登録科目数の上限制度であるCAP（キャップ）制を導入しています。各学年が履修できる1年間の総単位数に上限を設定することで、各学科のディプロマ・ポリシーを達成するための学修を計画的に進められるよう適切に授業科目を履修できることを目的とした制度です。

（2026年度入学生）

学年	1年間の上限
1年	48単位
2年	37単位
3年	36単位
4年	25単位

2) 履修登録スケジュール

履修登録および履修登録変更のスケジュールは該当年度の「履修の手引き」で確認してください。

3) 履修登録変更期間について

履修登録内容を誤った場合や、授業内容が自分の学修したい内容と異なっていた場合、もしくは履修計画を見直したい場合は、定められた期間で履修登録変更の手続きを行ってください。やむを得ない事情による所定の期間外の履修登録および変更は、教務委員長の許可が必要になります。

履修登録変更の手続きについての詳細は該当年度の「履修の手引き」およびユニバーサルパスポートで周知します。

4) 履修上の注意

卒業に必要な科目履修、単位の管理は、学生自身の自己責任となります。「履修の手引き」とシラバス等を活用して、履修方法、単位認定、試験等にかかわる事項を十分に確認しておきましょう。

また、堅実な履修計画を立て、単位を管理し、4年間の履修計画を立てておきましょう。

- ① すでに単位を修得している科目を履修することはできません。
- ② 教育上やむを得ないと認められる場合は、履修登録の事前または事後に履修人数を調整することがあります。
- ③ 授業時間が重複する科目を履修することはできません。
- ④ 各学年において、上級学年に履修する授業科目を履修することはできません。
- ⑤ 臨床実習の履修には、先修要件があります。先修要件を満たしていない場合は、実習を履修できません。

臨床実習に関わる科目を履修するためには、履修規程第19条の進級要件を満たし、かつ次に定める科目の単位を修得していなければなりません。

5) 先修要件

臨床実習科目	先修要件
早期臨床実習	1年次後期までの専門基礎教育科目の必修単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅰ	2年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

3. 単位修得について

1) 卒業要件総単位数

本学を卒業するためには、下記の表が示す単位数の修得が必要となります。

科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
必修科目	13 単位	31 単位	62 単位	106 単位
選択科目	8 単位以上	8 単位以上	7 単位以上	23 単位以上
小 計	21 単位以上	39 単位以上	69 単位以上	129 単位以上

2) 算定基準

大学で履修する授業科目には、それぞれ「単位」という一定の基準が定められています。1 単位とは、学生が 1 科目について行う 45 時間（2 単位の場合は 90 時間）の学修活動を意味し、その学修活動とは授業と事前・事後学修からなります。授業科目の 1 単位あたりの時間数は、授業形態に応じた教育効果や事前・事後学修等を考慮したものです。

〈1 単位あたりの授業時間数〉

講義・演習	15 時間～30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って 1 単位
実験・実習	30 時間～45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って 1 単位
1 つの講義科目の中に講義、演習、実験、実習のうち、2 つ以上を併用	1 つの授業科目の中に講義、演習、実験、実習のうち、2 つ以上の方法の併用により行う授業については、組み合わせに応じ、30 時間～45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って 1 単位としています。

3) 単位の「修得」について

単位の「修得」は、「履修登録」した科目の規定回数の 3 分の 2 以上を出席し、定期試験を受験し合格することで、その科目の単位を修得することができます。

ただし、科目によっては、試験の成績にレポート（課題）の評価などが加味され、総合的に評価されます。

4. 履修科目について

必ず履修しなければならない必修科目と各区分の中から指定された単位数以上を自由に選択できる選択科目を履修します。

1) 基礎教育科目（必修科目13単位、選択科目18単位から8単位以上選択）

「人間と生活」必修科目4単位、選択科目10単位から4単位以上選択

生命・人間・社会等に関する幅広い学問領域について学び、自主的・自律的に学ぶ姿勢を身につけます。

「科学的思考の基礎」必修科目8単位、選択科目4単位から2単位以上選択

診療放射線学科の専門課程を学んでいく基礎となる探究心と科学的思考力を養います。

「語学」必修科目1単位、選択科目4単位から2単位以上選択

語学学習を通して他者とのコミュニケーションに必要なスキルを学びます。

2) 専門基礎教育科目（必修科目31単位、選択科目12単位から8単位以上選択）

「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」必修科目12単位、選択科目5単位から3単位以上選択

診療放射線学を学ぶ上で必修の基礎知識である人体の構造と機能及び疾病の成り立ちを履修します。具体的には、解剖学、生理学、病理学、薬理学、衛生学などを学びます。

「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術」必修科目16単位、選択科目4単位から3単位以上選択

放射線、放射線の物質との相互作用など放射線に関係する基礎的な教科を履修します。具体的には放射線物理学・放射化学・放射線生物学、放射線計測学などを学びます。

「医療専門職の機能と役割」必修科目3単位、選択科目3単位から2単位以上選択

医療は多くの専門職種とのチーム医療として行われている事を学びます。

3) 専門教育科目（必修科目62単位、専門教育科目全体の選択科目10単位から7単位以上選択）

専門教育科目は、専門基礎分野等で修得した内容を踏まえ、医療専門職として必要な専門的知識と技術を修得します。

「診療画像技術学・画像診断学」

診療画像技術学として合計11科目、画像診断学として合計6科目があり、診療画像検査に関する検査技術・検査機器・検査実験などと、画像解剖学・画像診断学の専門知識を学びます。診療画像技術学には必修科目14単位と選択科目2単位、画像診断学には必修科目8単位と選択科目2単位があります。

「核医学検査技術学」

合計5科目があり、核医学検査に関する専門知識を学びます。必修科目6単位と選択科目1単位があります。

「放射線治療技術学」

合計5科目があり、放射線治療に関する専門知識を学びます。必修科目7単位と選択科目1単位があります。

「医療画像情報学」

合計5科目があり、医療画像に関する専門知識を学びます。必修科目6単位と選択科目1単位があります。

「放射線安全管理学」

必修の 3 科目があり、放射線管理に関する専門知識を学びます。必修科目 4 単位があります。

「医療安全管理学」

必修の 2 科目があり、医療安全に関する専門知識を学びます。必修科目 2 単位があります。

「臨床実習」

臨床実習は必修の科目で、2 年次の「早期臨床実習」1 単位と 3 年次の「臨床実習Ⅰ」5 単位と 4 年次の「臨床実習Ⅱ」6 単位があり臨床実習病院での実習となります。臨床実習は、医療の現場で臨床実習指導者から検査・治療について学びます。学内の講義で学んだ事も含めて実際の医療現場でどの様に行われているかを体験し、患者接遇や他の医療職種とのコミュニケーションについても学びます。

「総合科目」

総合科目は合計 3 科目があり、専門教育科目の復習の内容になっており、履修した専門教育科目のより深い理解やスキルを身につける内容を学びます。臨床実習や国家試験に向けて専門領域の学修をします。必修科目 2 単位と選択科目 1 単位があります。

「卒業研究」

卒業研究は合計 2 科目があり、3 年次までに修得した知識を基礎として自主的な研究意欲と研究の基本的な考えを養うため、担当教員の指導の下で研究計画を立案します。4 年次では立案された研究計画に従い研究を進め、最終的に卒業論文としてまとめます。また、卒業研究発表会においてプレゼンテーションを行い、お互いに研究内容を報告します。必修科目 1 単位、選択科目 2 単位があります。

〈履修科目一覧 診療放射線学科 (2026年度カリキュラム)〉

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に 必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎 教育 科目	必修 選択	スタートアップ講座[1] 生命科学[1] 心理学[1]	医療コミュニケーション学[1]						4単位
	必修 選択	倫理学[1] 人間関係の科学[1] 北海道史[1]	教育学[1] 生命倫理[1] 医療と宗教[1] 文化人類学[1] 医療と社会[1] 法学[1]	ポランテア論[1]					選択科目10単位 から4単位以上
	必修 選択	物理学[2] 化学[1] 生物学[1] 数学I(指数・対数・ 三角関数)[2] 情報科学[1] 生活と運動[1]	数学II(微分・積分・ 微分方程式)[1]						8単位
	必修 選択	英語I[1] 日本語表現[1]	数学III(統計学)[1] 情報科学演習[1]	健康とスポーツ[1]					選択科目4単位 から2単位以上
専門 基礎 教育 科目	必修 選択	英語I[1] 日本語表現[1]	英語II[1] 中国語[1]	韓国語[1]					1単位
	必修 選択	医学概論[1] 系統解剖学[2]	臨床解剖学[2] 衛生学[1]	病理学[1] 生化学[1]	病態生理学[1] 臨床医学概論[1]		臨床薬理学I[1]		選択科目4単位 から2単位以上
	必修 選択		系統解剖学演習[1]	臨床解剖学演習[1] 生理学[1]			臨床薬理学II[1] 臨床医学演習[1]		12単位
	必修 選択	放射線科学概論[2]	放射線生物学[2] 放射線物理学[2] 放射化学[2] 放射線・物理学実験[1] 医用工学[2] 診療画像検査学概論[2]	放射線計測学[2]	放射線計測学演習[1]		放射線計測学演習[1]		選択科目5単位 から3単位以上
必修 選択			放射線生物学演習[1] 放射線物理学演習[1] 放射化学演習[1]				医用工学演習[1]	16単位	
必修 選択				放射線生物学演習[1] 放射線物理学演習[1] 放射化学演習[1]				医用工学演習[1]	選択科目4単位 から3単位以上

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に 必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
医療専門職と役割 の 基礎教育科目	必修	基礎看護学 [1] チーム医療論 [1]	放射線カウンセリング学 [1]	放射線技術学Ⅱ (造影検査) [2] MRI検査学 [2] 放射線技術学実習Ⅱ [1]	超音波検査学 [2]	放射線技術学実習Ⅲ [1]	医療職としての責任と役割 [1]		3単位
	選択	医療経済学 [1] 心の健康科学Ⅰ [1]	診療画像技術学Ⅰ (一般撮影) [2] X線CT検査学 [1] 放射線技術学実習Ⅰ [1] 診療画像機器学 [2]						選択科目3単位 から2単位以上
診療画像技術学・画像診断学	必修		画像解剖学Ⅰ (X線画像) [2]	画像解剖学Ⅱ (MRI・超音波) [2]	画像解剖学Ⅱ (MRI・超音波) [2]	画像診断学 [2]	診療画像技術学演習※ [1] 診療画像機器学演習※ [1]		14単位
	選択				実践臨床画像学 [2]				※1
専門教育科目	必修			画像解剖学Ⅰ (X線画像) [2]	画像解剖学Ⅱ (MRI・超音波) [2]	画像診断学 [2]			8単位
	選択					画像解剖学Ⅲ (演習) ※ [1]	画像診断学演習※ [1]		※1
核医学検査技術学	必修		放射性医薬品学 [1]	核医学検査技術学概論 [1]	核医学検査技術学概論 [1]	核医学検査技術学 [2]			6単位
	選択						核医学検査技術学演習※ [1]		※1
放射線治療技術学	必修		放射線治療技術学概論 [2]	放射線治療技術学 [2]	放射線治療技術学 [2]	放射線治療機器学 [2]	放射線治療計測学 [1]		7単位
	選択						放射線治療技術学演習※ [1]		※1
医療画像情報学	必修		医療画像処理学 [1]	医療画像工学 [2]	医療画像情報学 [2]	医療画像情報学 [2]	医療情報管理学 [1]		6単位
	選択						医療画像情報学演習※ [1]		※1

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に 必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 教 育 科 目	必修				放射線安全管理学 学[1]	放射線安全管理学 学[2]	放射線安全管理学 学[2]	関係法規 [1]	4 単位
	必修					医療安全管理学 [1]	医療安全管理学 [1]	応急処置法(演習)[1]	2 単位
	必修			早期臨床実習 [1]	臨床実習 I [5]	臨床実習 II [6]			12 単位
総合科目	必修							総合演習 I (専門基礎領域) [1] 総合演習 II (臨床領域) [1]	2 単位
	選択						放射線技術学特別講義※ [1]		※1
卒業研究	必修					診療放射線学 ウム [1]			1 単位
	選択						卒業研究※ [2]		※1

必修科目	32 単位	26 単位	33 単位	15 単位	106 単位
選択科目	16 単位	11 単位	3 単位	10 単位	40 単位
計	48 単位	37 単位	36 単位	25 単位	146 単位
CAP制(履修上限)	48 単位	37 単位	36 単位	25 単位	146 単位

○卒業要件 128 単位以上 必修 105 単位 選択 23 単位以上

○ [] 内は単位数

○※1 診療画像技術学、画像診断学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医療画像情報学、総合科目、卒業研究の全ての選択科目の中から7単位以上を修得

〈カリキュラム・マップ 診療放射線学科（2026年度カリキュラム）〉

DP	DP.5 論理的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力						
	DP.4 科学的根拠に基づき、						
科目区分	基礎教育科目			専門基礎教育科目			
	人間と生活	科学的思考の基礎	語学	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	保健医療福祉における理工学的基础並びに放射線の科学及び技術	医療専門職の機能と役割	診療画像技術学
1年次	スタートアップ講座(必1)	物理学(必2)	日本語表現(選1)	医学概論(必1)	放射線科学概論(必2)		
	生命科学(必1)	化学(必1)	英語I(必1)	系統解剖学(必2)	放射線生物学(必2)		
	心理学(必1)	生物学(必1)	英語II(選1)	系統解剖学演習(選1)	放射線物理学(必2)		
	倫理学(選1)	生活と運動(選1)	中国語(選1)	臨床解剖学(必2)	放射線・物理学実験(必1)		
	生命倫理(選1)	数学I(指数・対数・三角関数)(必2)		衛生学(必1)	放射化学(必2)		
	医療と宗教(選1)	数学II(微分・積分・微分方程式)(必1)			医用工学(必2)		
	人間関係の科学(選1)	数学III(統計学)(選1)			診療画像検査学概論(必2)		
	文化人類学(選1)	情報科学(必1)					
	医療と社会(選1)	情報科学演習(選1)					
	法学(選1)						
	教育学(選1)						
	北海道史(選1)						
	医療コミュニケーション学(必1)						
2年次	ボランティア論(選1)	健康とスポーツ(選1)	韓国語(選1)	臨床解剖学演習(選1)	放射線生物学演習(選1)	基礎看護学(必1)	診療画像技術学I(一般撮影)(必2)
				生理学(選1)	放射線物理学演習(選1)	チーム医療論(必1)	診療画像技術学II(造影検査)(必2)
				病態生理学(必1)	放射化学演習(選1)	医療経済学(選1)	X線CT検査学(必1)
				病理学(必1)	放射線計測学(必2)	心の健康科学I(選1)	MRI検査学(必2)
				生化学(必1)		放射線カウンセリング学(選1)	放射線技術学実習I(必1)
				臨床医学概論(必1)			放射線技術学実習II(必1)
3年次				臨床薬理学I(必1)			超音波検査学(必2)
				臨床薬理学II(選1)			放射線技術学実習III(必1)
				臨床医学演習(選1)			
4年次				公衆衛生学(必1)	医用工学演習(選1)	医療職としての責任と役割(必1)	診療画像技術学演習(選1)
					放射線計測学演習(必1)		診療画像機器学演習(選1)

Ⅲ・4 診療放射線学科

※DP:ディプロマポリシー

画像診断と放射線治療の医療技術を提供する能力

専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、放射線による診断と治療の向上に寄与する能力

専門教育科目

画像診断学	核医学検査技術学	放射線治療技術学	医療画像情報学	放射線安全管理学	医療安全管理学	総合科目	臨床実習	卒業研究
-------	----------	----------	---------	----------	---------	------	------	------

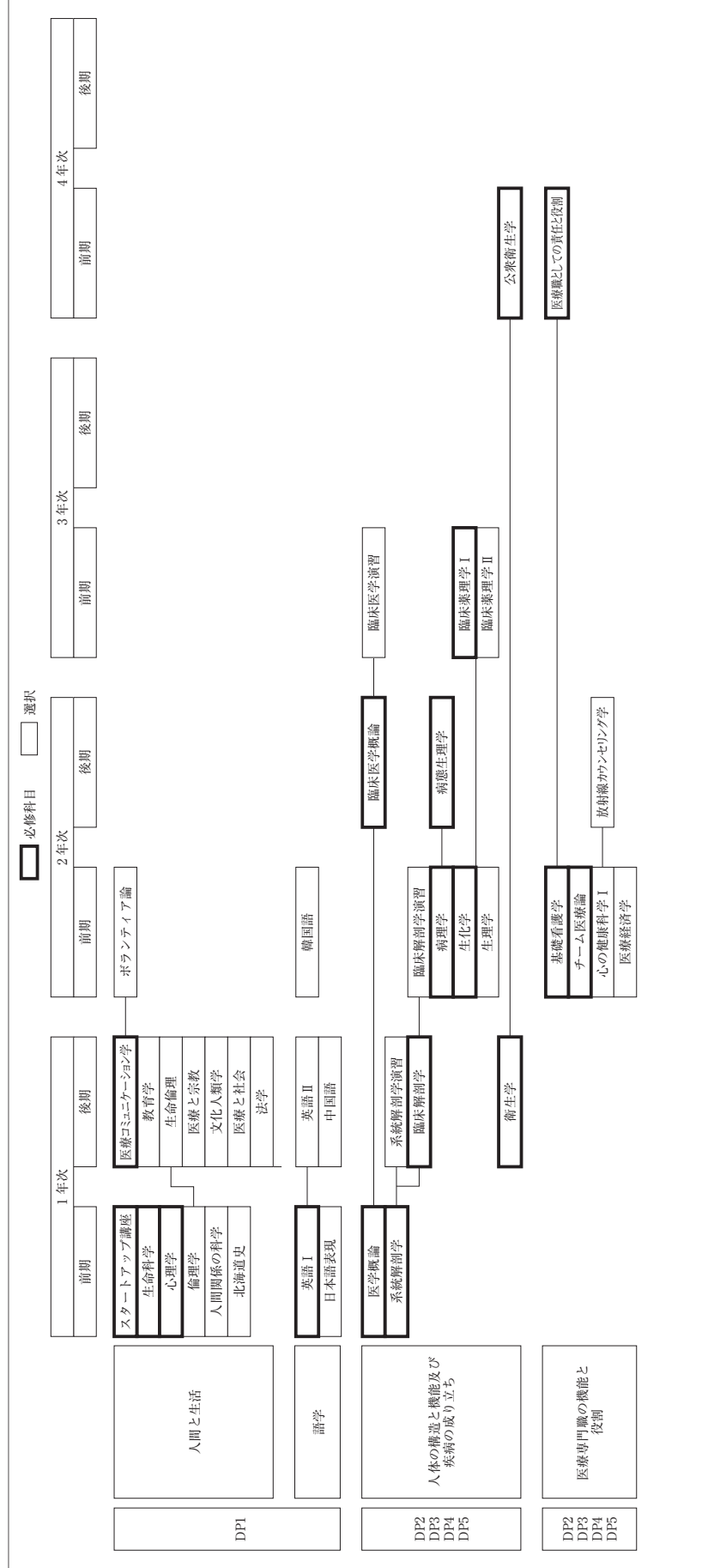
画像解剖学Ⅰ(X線画像)(必2)	放射性医薬品学(必1)	放射線治療技術学概論(必2)	医療画像処理学(必1)				早期臨床実習(必1)	
------------------	-------------	----------------	-------------	--	--	--	------------	--

画像解剖学Ⅱ(MRI・超音波)(必2)	核医学検査技術学概論(必1)	放射線治療技術学(必2)	医療画像工学(必2)	放射線安全管理学(必2)	医療安全管理学(必1)		臨床実習Ⅰ(必5)	診療放射線学コロキウム(必1)
画像解剖学Ⅲ(演習)(選1)	核医学検査機器学(必2)	放射線治療機器学(必2)	医療画像情報学(必2)	医療機器安全管理学(必1)				
実践臨床画像学(必2)	核医学検査技術学(必2)							
画像診断学(必2)								

画像診断学演習(選1)	核医学検査技術学演習(選1)	放射線治療計測学(必1)	医療画像情報学演習(選1)	関係法規(必1)	応急処置法(演習)(必1)	放射線技術学特別講義(選1)	臨床実習Ⅱ(必6)	卒業研究(選2)
		放射線治療技術学演習(選1)	医療情報管理学(必1)			総合演習Ⅰ(専門基礎領域)(必1)		
						総合演習Ⅱ(臨床領域)(必1)		

〈カリキュラム・ツリー 診療放射線学科 (2026年度カリキュラム)〉

<p>DPL 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力</p>	<p>DP2 診療放射線学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、放射線による診断と治療の向上に寄与する能力</p>	<p>DP3 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力</p>	<p>DP4 科学的根拠に基づき、画像診断と放射線治療の医療技術を提供する能力</p>	<p>DP5 論理的思考をもって主体的に学修し、診療放射線技術を発展させる能力</p>
<p>CPL 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与するために、基礎教育科目を配置する</p>	<p>CP2 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働を育成するために「保健医療福祉と診療放射線」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する</p>	<p>CP3 科学的根拠に基づいた診療放射線の実践に必要な基礎的知識を修得するために、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「保健医療における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する</p>	<p>CP4 高度で専門的な診療放射線の実践能力を育成するため、診療放射線検査法、放射線治療法、放射線安全管理法について学ぶ専門教育科目を配置する</p>	<p>CP5 将来の診療放射線専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うために、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う</p>



Ⅲ-5 臨床検査学科

1. 概要

1) 教育目的

本学の建学の精神である「共生社会の実現」を目指し、社会に貢献する臨床検査専門職業人の育成を目的とする。

2) 教育目標

【教育目標—養成する人材像】

臨床検査学科の教育目的を達成するための教育目標（養成する人材像）は、以下のとおりである。

1. 生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる人材の育成
2. 全人的理解を基盤とした援助の人間関係を形成できる人材の育成
3. 臨床検査学に関する専門的知識と技術で臨床検査の実践ができる人材の育成
4. 臨床検査専門職としての倫理的な態度を身につけ、研鑽し続けることができる人材の育成
5. 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる人材の育成
6. 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる人材の育成

3) 学科の方針

【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）：DP】

本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、臨床検査学科における卒業時の到達目標であるディプロマ・ポリシーは、以下の能力を獲得することとする。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力
2. 臨床検査学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、臨床検査の向上に寄与する能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力
4. 科学的根拠に基づき、良質な臨床検査を提供する能力
5. 論理的思考をもって主体的に学修し、臨床検査学を発展させる能力

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）：CP】

臨床検査学科のディプロマ・ポリシーを具現化するために、講義、演習、実習等を組み合わせて科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って、共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するため「保健医療福祉と医学検査」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた臨床検査の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能」、「医学検査の基礎とその疾病との関連」、「医療工学及び情報科学」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
4. 高度で専門的な臨床検査の実践能力、発展させる能力を育成するため、「臨床病態学」、「各臨床検査学」、「検査総合管理学」、「医療安全管理学」を学ぶ専門教育科目を配置する
5. 将来の臨床検査専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）：AP】

養成する人材像やディプロマ・ポリシーの修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、臨床検査学科のアドミッション・ポリシーでは以下の人材を求める。

1. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、臨床検査学の学修に意欲と熱意を持つ人
2. 適切な対人関係能力の発展に必要な基礎的コミュニケーション能力を有する人
3. 知的好奇心を持ち、探究心と創造力で自ら学ぶ意欲を持つ人
4. 基本的生活態度が身につけており、心身の健康に気を配ることができる人
5. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
6. 自己の強みや弱みを客観視でき、成長に向けて努力できる人

4) 教育課程

(1) 教育課程の特色

① 保健医療学部 5 学科共通

各教育課程をより効果的に進行するために、入学前に高大接続期間を設けリメディアル教育の一環として「初年次教育」、「学力確認テスト」さらに、入学後「スタートアップ講座」を配置しています。

② 臨床検査学科の特色

本学の基本理念、臨床検査学科の養成する人材像及び教育目標を達成するために、教育課程を編成し、医療人として必要な一般教養とともに臨床検査技師として求められる知識と技術、態度を確実に修得することを目指しています。

「患者中心の仕事ができる臨床検査技師」の育成には、通常の専門教育科目に加え、チーム医療におけるマネジメント能力修得のための「コミュニケーション学」や「臨床検査マネジメント論」、各種チーム医療と臨床検査技師の役割や病棟内での臨床検査を学ぶための「チーム医療論」や「臨床病棟検査概論」、臨床検査データの解析による医師へのサポート能力を身に付けるための「症例臨床検査学（細胞診、血液・染色体、微生物・感染制御、臨床化学・免疫、輸血、生理機能）」を配置しています。

「科学的に臨床検査学を追究できる臨床検査技師」の育成には、専門基礎科目及び専門教育科目の総合的な修得や「卒業研究」により、臨床検査結果がもたらす意味を考えるうえでの応用力、観察力、洞察力や分析力を身につけ、研究の基礎となる教育研究を行います。

「検査室の基本的運営・管理ができる能力をもった臨床検査技師」の育成には、検査機器の安全管理を学ぶための「検査機器総論演習」、各種認定資格と制度を学ぶ「専門検査技師総論」、ISO15189を含めた臨床検査室管理体制や内部・外部精度管理の手法を修得するための「臨床検査管理学Ⅰ・Ⅱ」、検査室管理者の役割を理解するための「臨床検査マネジメント論」、検体採取時や生理機能検査従事者の安全管理、病院全体での医療安全を学ぶための「関係法規」や「医療安全管理学」、院内感染対策を学ぶための「感染管理学」を配置し、臨床検査室の運営や管理能力を備えるための実践的な教育研究を行います。

(2) 教育課程の編成

教育課程の編成は、人材育成に必要な内容を授業科目として設定し「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門科目」の三領域で編成しています。また、臨床検査技師の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、臨床検査学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置しています。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、

各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定しています。

なお、教育課程編成には、「基礎教育科目」→「専門基礎教育科目」→「専門教育科目」において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視しています。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置しています。

(3) 教育課程の進行に関する基本的な考え方

① 科目配置

教育課程の進行は、「基礎教育科目」をベースに「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」と学んでいきますが、相互に関連して学びを深めていくことを目的に配置しています。

臨床検査学は、「ヒト」を対象に研究する学問ですので、人間理解に必要な幅広い知性と豊かな感性を育て、学生自身の人間性を育てるための教科目は「基礎教育科目」として低学年に配置し、人間に関する学際的な学問領域の教科目を設定しています。

専門職業人を育成するための教科目は、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」に設定し、臨床検査技師として必要な専門的知識・技術はそれらの領域で学修します。学年が進むにしたがい、「専門教育科目」が増えていきますが、「基礎教育科目」と「専門教育科目」とを関連付けて学修できるように、「専門教育科目」を1年次から配置し、「基礎教育科目」も可能な限り配置しています。

② 学年の特徴

1年次では、「基礎教育科目」を配置し、人間理解の基礎となる学問的知識を得るとともに、学生個人の価値観や人間観を育て、科学的思考力や大学人として主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けることを目標としています。同じく、1年次から「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」を配置しているのは、「基礎教育科目」との関連性を確認しながら学ぶことで、今後の学修への関心を高めることを目的としているからです。

2年次では、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」数が増え、「基礎教育科目」で学んだ知識を関連させ、活用しながら、「専門教育科目」の基礎を修得することを目的としています。

3年次では、「専門教育科目」の講義・演習・実習をとおして、専門的知識を深め、加えて後期には臨地実習を実施し、最終学年における統合化に向けて準備することを目的としています。

4年次では、3年次までの学修に加え、臨床検査領域の広がり学ぶとともに、卒業時の学修到達度と今後の目標や自己課題を明らかにすることを目的としています。

③ 臨地実習

臨地実習では、学内の講義や実習で得た臨床検査学の知識・技術がどのように臨床の現場で応用され、実践されているかを学ぶことを目的としています。具体的には、検査材料の正しい採取の仕方、様々な検体の質の評価と取り扱い、検査機器の取り扱い方、検査結果の解釈と報告の仕方、他職種間スタッフとの連携や信頼関係、検査部門の管理体制や運営業務の実践的な技術を修得することです。

④ 主体的学修

学修の主体は、学生であることから、それぞれの授業科目において、学生自らが積極的に参加し、主体的に学修に取り組むことで、自らの課題を達成していくこと、並びに学生の個性に応じて、多領域にわたり、学問的興味や関心を持つことができることを目的に、演習の学修時間を多くしています。グループワークなどの

チーム学修をとおして、学生相互に学びを深めるとともに、調整する能力や協働する能力、ディスカッション能力を育成することもねらいとしています。

2. 履修について

履修とは、「必修・選択科目を確認のうえ単位修得を希望する科目について登録し、授業・試験を受けて合格し、単位を修得する」という過程を意味します。履修登録にあたり、『履修の手引き』・『シラバス』・『授業時間割』を熟読のうえ、履修計画を立ててください。1年間の履修計画を立て、前期の履修登録期間中に後期分の履修登録も行ってください。

1) 履修の上限単位 (CAP制)

本学では、1単位の単位修得に必要な学修時間を確保し、学修の質の向上と学修の効率化をはかるために、学年ごとに履修登録科目数の上限制度であるCAP (キャップ) 制を導入しています。各学年が履修できる1年間の総単位数に上限を設定することで、各学科のディプロマ・ポリシーを達成するための学修を計画的に進められるよう適切に授業科目を履修できることを目的とした制度です。

(2025年度以降カリキュラム)

学 年	1 年間の上限
1 年	48 単位
2 年	42 単位
3 年	34 単位
4 年	24 単位

2) 履修登録スケジュール

履修登録および履修登録変更のスケジュールは該当年度の履修の手引き等で確認してください。

3) 履修登録変更期間について

履修登録内容を誤った場合や、授業内容が自分の学修したい内容と異なっていた場合、もしくは履修計画を見直したい場合は、定められた期間で履修登録変更の手続きを行ってください。やむを得ない事情による所定の期間外の履修登録および変更は、教務委員長の許可が必要になります。

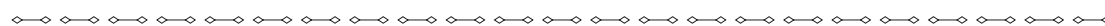
履修登録変更の手続きについての詳細は該当年度の「履修の手引き」およびユニバーサルパスポートで周知します。

4) 履修上の注意

卒業に必要な科目履修、単位の管理は、学生自身の自己責任となります。「履修の手引き」とシラバス等を活用して、履修方法、単位認定、試験等にかかわる事項を十分に確認しておきましょう。

また、堅実な履修計画を立て、単位を管理し、4年間の履修計画を立てておきましょう。

- ① すでに単位を修得している科目を履修することはできません。
- ② 教育上やむを得ないと認められる場合は、履修登録の事前または事後に履修人数を調整することがあります。
- ③ 授業時間が重複する科目を履修することはできません。
- ④ 各学年において、上級学年に履修する授業科目を履修することはできません。
- ⑤ 臨地実習の履修には、先修要件があります。先修要件を満たしていない場合は、実習を履修できません。



臨地実習に関わる科目を履修するためには、履修規程第19条の進級要件を満たし、かつ次に定める科目の単

位を修得していなければならない。

臨地実習科目	先修要件
臨地実習	2年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること。

3. 単位修得について

1) 卒業要件総単位数 (2025年度以降入学生)

本学を卒業するためには、下記の表が示す単位数の修得が必要となります。

科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
必修単位	11単位	23単位	87単位	121単位
選択単位	10単位以上	—	—	10単位以上
小計	21単位以上	23単位	87単位	131単位以上

2) 算定基準

大学で履修する授業科目には、それぞれ「単位」という一定の基準が定められています。1単位とは、学生が1科目について行う45時間（2単位の場合は90時間）の学修活動を意味し、その学修活動とは授業と事前・事後学修からなります。授業科目の1単位あたりの時間数は、授業形態に応じた教育効果や事前・事後学修時間等を考慮したものです。

〈1単位あたりの授業時間数〉

講義・演習	15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位
実験・実習・実技	30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位
1つの授業科目の中に講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2つ以上を併用	1つの授業科目に講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2つ以上の方法の併用により行う授業については、組み合わせに応じ、30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位としています。

3) 単位の「修得」について

単位の「修得」は、「履修登録」した科目の規定回数の3分の2以上を出席し、定期試験を受験し合格することで、その科目の単位を修得することができます。

ただし、科目によっては、試験の成績にレポート（課題）の評価などが加味され、総合的に評価されます。

4. 履修科目について

必ず履修しなければならない必修科目と各区分の中から指定された単位数以上を自由に選択できる選択科目を履修します。

1) 基礎教育科目 (必修科目11単位、選択科目16単位から10単位以上選択)

「人間と生活」 必修科目3単位、選択科目10単位から6単位以上選択

人間に関する学際的な学問領域について学び、価値観や人間観を育て、主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けます。

「科学的思考の基礎」 必修科目5単位、選択科目3単位から2単位以上選択

臨床検査学の基礎となる学問的探究心と科学的思考力を養います。

「語学」 必修科目3単位、選択科目3単位から2単位以上選択

語学学修をとおして、他者との交流におけるコミュニケーションに必要なスキルを学びます。

2) 専門基礎教育科目 (必修科目 23 単位)

「人体の構造と機能」 必修科目 8 単位

人体の構造と機能を系統的に学び、生命現象を総合的に理解し、関連科目を修得するための基礎能力を養います。

「医学検査の基礎とその疾病との関連」 必修科目 6 単位

医学・医療における検査の基礎を学修し、疾病の成因を系統的に把握、理解します。

「保健医療福祉と医学検査」 必修科目 5 単位

保健・医療・福祉の制度を理解し、予防医学と検査の関連並びに疫学的分析法の理論と技術を学び、医療チームの一員としての自覚を養います。

「医療工学及び情報科学」 必修科目 4 単位

医療分野における工学的手法の基礎と概要及び安全性対策を理解・実践できる能力を養うとともに、情報科学の理論を修得します。

3) 専門教育科目 (必修科目 87 単位)

「臨床病態学」 必修科目 15 単位

各種疾患の病態を体系的に学び、疾患と臨床検査との関わりについて理解し、臨床に対して支援する能力を養います。

「形態検査学」 必修科目 10 単位

身体の構造、特に疾病時の臓器・組織・細胞等の形態学的検査についての知識と技術を修得します。具体的には、病理・細胞検査学、血液検査学の領域について学修します。

「生物化学分析検査学」 必修科目 11 単位

各種生体試料に含まれる成分について、遺伝子解析を含む生物化学的分析の理論と実際を修得します。具体的には、一般検査学、臨床化学、遺伝子・染色体検査学の領域について学修します。

「病因・生体防御検査学」 必修科目 15 単位

病因・生体防御の仕組みを理解し、感染・免疫・輸血・移植に関する検査の理論と実際を修得します。具体的には、臨床微生物学、臨床免疫学、輸血・移植検査学の領域について学修します。

「生理機能検査学」 必修科目 11 単位

生体からの生理機能情報を収集するための理論を修得します。具体的には、臨床生理学、認知症検査学の領域について学修します。

「検査総合管理学」 必修科目 7 単位

医療機関等における臨床検査の意義を理解し、総合的な精度管理及び機器・情報・運営・安全に関する管理法を修得するとともに、職業倫理を高めます。

「医療安全管理学」 必修科目 3 単位

臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、医療機関における感染管理及び医療安全について学びます。また、適切な検体採取法やそれに伴う危険因子の認識と対処できる能力を身に付けます。

「臨地実習」 必修科目 11 単位

臨床検査技師としての基本的な実践技術及び施設における検査部門の運営に関する知識を修得します。また、医療チームの一員としての責任と自覚を養います。

「卒業研究」 必修科目 4 単位

卒業研究は必修科目 4 単位の科目で、臨床検査学科で学んだ集大成として担当教員の指導の下に研究テーマを決め、研究計画書の作成、実験、結果の解釈や検証方法などについて学びます。研究成果は発表会で発表し、論文としてまとめます。

〈履修科目一覧 臨床検査学科 (2025年度以降カリキュラム)〉

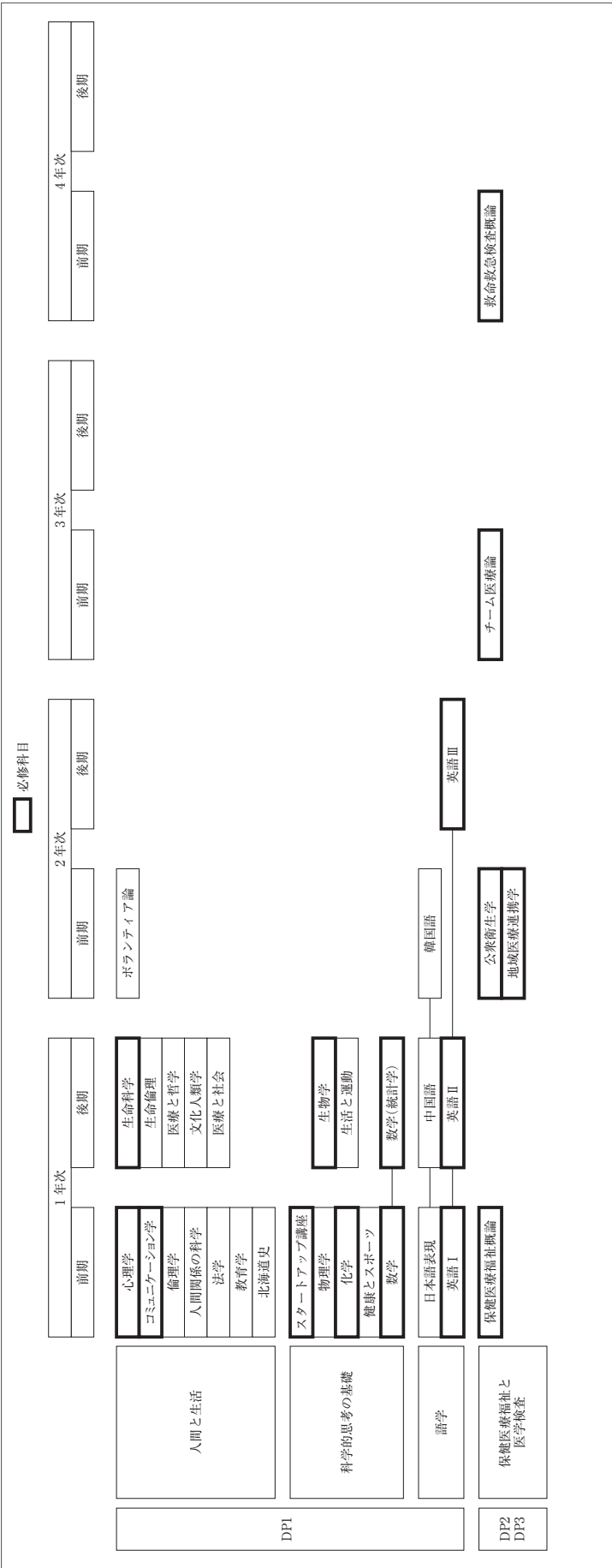
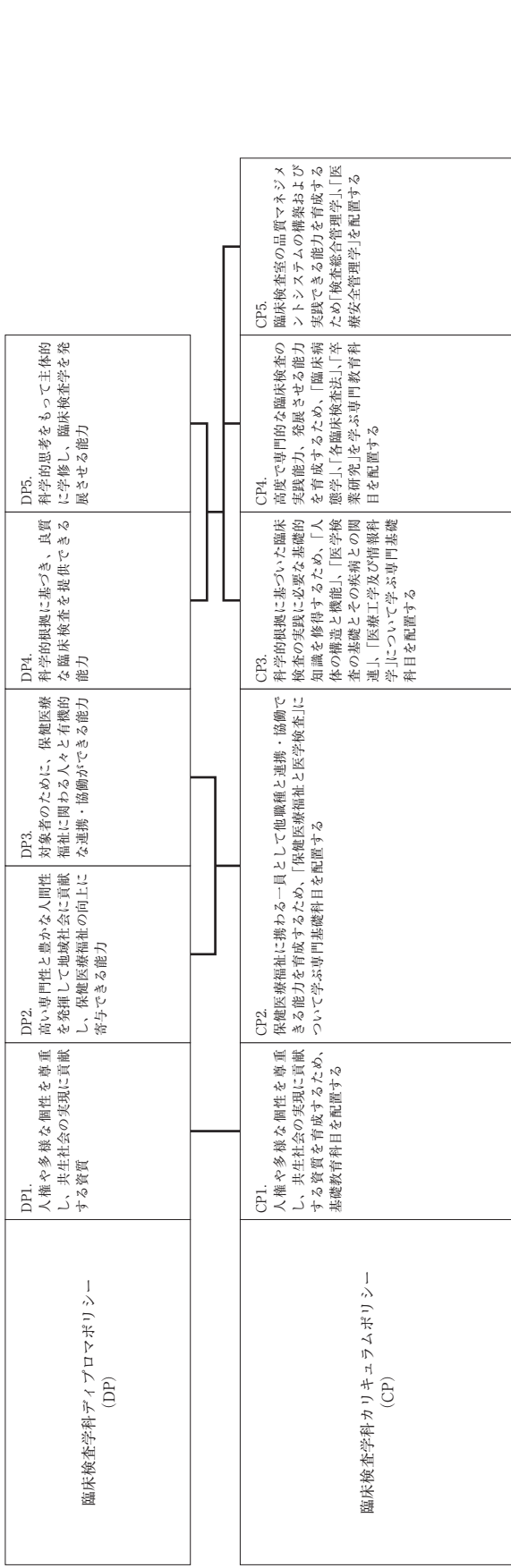
科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎教育科目	必修	心理学Ⅰ コミュニケーション学Ⅰ	生命科学Ⅰ						9単位以上 (必修科目3 単位を含む)
	選択	倫理学Ⅰ 人間関係の科学Ⅰ 法学Ⅰ 教育学Ⅰ 北海道史Ⅰ	生命倫理Ⅰ 医療と哲学Ⅰ 文化人類学Ⅰ 医療と社会Ⅰ	ポランティア論Ⅰ					
基礎教育科目	必修	スタートアップ講座Ⅰ 化学Ⅰ 数学Ⅰ	生物学Ⅰ 数学(統計学)Ⅰ						7単位以上 (必修科目5 単位を含む)
	選択	物理学Ⅰ 健康とスポーツⅠ	生活と運動Ⅰ						
基礎教育科目	必修	英語ⅠⅠ	英語ⅡⅠ	英語ⅢⅠ					5単位以上 (必修科目3 単位を含む)
	選択	日本語表現Ⅰ	中国語Ⅰ	韓国語Ⅰ					
基礎教育科目	必修	解剖学Ⅰ 解剖学演習Ⅰ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生化学Ⅰ	組織細胞学Ⅰ 組織細胞学実習Ⅰ 生化学Ⅱ						8単位
	必修	免疫学Ⅰ 臨床検査入門Ⅰ	病理学Ⅰ	臨床薬理概論Ⅰ 臨床病棟検査概論Ⅰ			臨床栄養概論Ⅰ		
基礎教育科目	必修	保健医療福祉概論Ⅰ							6単位
	必修	情報科学Ⅰ 情報科学演習Ⅰ	公衆衛生学Ⅰ 地域医療連携学Ⅰ				救命救急検査概論Ⅰ		
基礎教育科目	必修								5単位
	必修							医用工学ⅠⅠ 医用工学ⅡⅠ	
基礎教育科目	必修								4単位
	必修								
専門教育科目	必修		臨床検査医学総論ⅠⅠ	臨床検査医学総論ⅡⅠ				臨床検査総論演習Ⅶ	15単位

科目 区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に 必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
検形 検査 学	必修	臨床血液学Ⅰ[1]	病理検査学[1] 臨床血液学Ⅱ[1] 臨床血液学実習Ⅰ[1]	病理検査学実習[1] 細胞検査学[1] 細胞検査学実習[1] 臨床血液学実習Ⅱ[1]	病理検査学総合演習[1]	血液検査学総合演習[1]			10単位
	必修	一般検査学[1] 臨床化学Ⅰ[1] 一般検査学実習[1]	臨床化学Ⅱ[2] 臨床化学実習Ⅰ[1] 遺伝子染色体検査学[1] 遺伝子検査学実習[1]	臨床化学総合演習[1] 分析検査学総合演習[1]					11単位
検病 学	必修	臨床免疫学[1] 微生物学[1]	輸血・移植検査学Ⅰ[1] 臨床微生物学Ⅰ[1] 臨床微生物学実習Ⅰ[1]	臨床微生物学Ⅱ[1] 臨床微生物学Ⅲ[1] 臨床微生物学実習Ⅱ[2] 臨床免疫学実習[1] 輸血・移植検査学Ⅱ[1]	輸血・移植検査学Ⅲ[1] 輸血検査学実習[1]	微生物検査学総合演習[1] 免疫検査学総合演習[1]			15単位
	必修		臨床生理学Ⅰ[2] 臨床生理学Ⅱ[1]	臨床生理学Ⅲ[1] 臨床生理学Ⅳ[1] 臨床生理学実習Ⅰ[2]	臨床生理学Ⅴ[1] 臨床生理学実習Ⅱ[2]	生体機能検査学総合演習[1]			11単位
検査 管理 学	必修	検査機器総論演習[1]		臨床検査管理学Ⅰ[1]	臨床検査管理学Ⅱ[1] 関係法規[1]	臨床検査学総合演習[1]	専門検査技師総論[1] 臨床検査マネジメント論[1]		7単位
	必修		医療安全管理学[1] 医療安全管理学実習[1]						3単位
実 習 地	必修						臨地実習[1]		11単位
	必修						卒業研究[4]		4単位

必修科目	34単位	37単位	29単位	21単位	121単位
選択科目	14単位	2単位	0単位	0単位	16単位
計	48単位	39単位	29単位	21単位	137単位
CAP制(償修上限)	48単位	42単位	34単位	24単位	148単位

○卒業要件 131単位以上 必修121単位 選択10単位以上
○[]内は、単位数

〈カリキュラム・ツリー 臨床検査学科 (2025年度以降カリキュラム)〉



Ⅲ-6 臨床工学科

1. 概要

1) 教育目的

本学の建学の精神である「共生社会の実現」を目指し、社会に貢献する臨床工学専門職業人の育成を目的とする。

2) 教育目標

【教育目標—育成する人材像】

臨床工学科の教育目的を達成するための教育目標（養成する人材像）は、以下のとおりである。

1. 生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる人材の育成
2. 全人的理解を基盤とした援助の人間関係を形成できる人材の育成
3. 臨床工学に関する専門的知識と技術を修得し、生命維持管理装置の運用管理の実践ができる人材の育成
4. 生命維持管理装置の運用管理専門職としての倫理的な態度を身につけ、研鑽し続けることができる人材の育成
5. 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる人材の育成
6. 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる人材の育成

3) 学科の方針

【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）：DP】

本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、臨床工学科における卒業時の到達目標であるディプロマ・ポリシーは、以下の能力を獲得することとする。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力
2. 臨床工学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、生命維持管理装置の運用管理の向上に寄与する能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力
4. 科学的根拠に基づき、良質な生命維持管理装置の運用管理を提供する能力
5. 論理的思考をもって主体的に学修し、臨床工学を発展させる能力

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）：CP】

臨床工学科のディプロマ・ポリシーを具現化するために、講義、演習、実習等を組み合わせて科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って、共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するため、保健医療福祉について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた生命維持管理装置の運用管理の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能」、「臨床工学に必要な医学的基礎」、「臨床工学に必要な理工学的基礎」、「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する

4. 高度で専門的な生命維持管理装置の運用管理を実践する能力と向上させる能力を育成するため、「医用生体工学」、「医用機器学及び臨床支援技術」、「生体機能代行技術学」、「医療安全管理学」、「関連臨床医学」、「臨床実習」を学ぶ専門教育科目を配置する
5. 将来の臨床工学専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）：AP】

養成する人材像やディプロマ・ポリシーの修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、臨床工学科のアドミッション・ポリシーでは以下の人材を求める。

1. 臨床工学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、臨床工学の学修に意欲と熱意を持つ人
2. 適切な対人関係能力の発展に必要な基礎的コミュニケーション能力を有する人
3. 知的好奇心を持ち、探究心と創造力で自ら学ぶ意欲を持つ人
4. 基本的な生活態度が身につけており、心身の健康に気を配ることができる人
5. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
6. 自己の強みや弱みを客観視でき、成長に向けて努力できる人

4) 教育課程

(1) 教育課程の特色

① 保健医療学部 5 学科共通

各教育課程をより効果的に進行するために、入学前に高大接続期間を設けリメディアル教育の一環として「初年次教育」、「学力確認テスト」さらに、入学後「スタートアップ講座」を配置しています。

② 臨床工学科の特色

本学科では、本学の基本理念に基づき、生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重する態度とチーム医療の一員として必要な高い倫理観の醸成を重視しています。また、専門分野の基礎・基本となる知識及び技術を高めることで生命維持管理装置機器を適切に管理運用できる確かな実践力と倫理的な態度を身に付け、医療安全の確保と医療機器を用いた質の高い診療支援ができる臨床工学技士の育成を教育研究上の目標としています。さらに、科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長を続け、臨床工学技士として研鑽をつめる人材の育成を目指しています。

(2) 教育課程の編成

教育課程の編成は、人材育成に必要な内容を授業科目として設定し「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成しています。また、臨床工学技士の養成施設としての指定規則要件を充足しつつ、臨床工学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置しています。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定しています。

なお、教育課程編成には、「基礎教育科目」→「専門基礎教育科目」→「専門教育科目」において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視しています。教育科目の開講年次および前期、後期への

配分については、これらのことを十分に考慮して配置しています。

(3) 教育課程の進行に関する基本的な考え方

① 科目配置

教育課程の進行は、「基礎教育科目」をベースに「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」と学んでいきますが、相互に関連して学びを深めていくことを目的に配置しています。

臨床工学技士は、医療機器を介して患者の治療に関わる職種であるため、患者対応に必要な幅広い知性と豊かな感性を育て、学生自身の人間性を育てるための科目を「基礎教育科目」として低学年に配置し、医療人に必要な学際的学問領域の科目を設定しています。

臨床工学技士の専門性を醸成するための科目は、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」に設定し、専門的な知識および技術はそれらの領域で学修します。学年が進むにしたがい、「専門教育科目」が増えていきますが、「基礎教育科目」と「専門教育科目」が関連付けて学修できるように、「専門教育科目」を1年次から配置し、「基礎教育科目」も可能な限り配置しています。

② 学年の特徴

1年次では、「基礎教育科目」を配置し、医療人の基礎となる学問的知識を得るとともに、学生個人の価値観や人間観を育て、科学的思考力や大学人として主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けることを目標としています。同じく、1年次から「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」を配置しているのは、「専門教育科目」への導入と「基礎教育科目」と「専門教育科目」の関連性を確認しながら学ぶことで、今後の学修への関心を高め、明確な動機付けとなることを目的としているからです。

2年次では、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」数が増え、「基礎教育科目」で学んだ知識を関連させ、活用しながら、「専門教育科目」の基礎を修得することを目的としています。

3年次では、「専門教育科目」の講義・演習・実習を通して、専門的知識を深め、最終学年での統合化に向けて準備することを目的としています。

4年次では、3年次までの学修に加え、さらなる実習で臨床工学領域の広がり学ぶとともに、卒業時の学修到達度と今後の目標や自己課題を明らかにすることを目的としています。

③ 臨床実習

臨床実習では、学内の講義や実習で得た臨床工学の知識・技術がどのように臨床の現場で応用され、実践されているかを学ぶことを目的としています。具体的には、医用室ごとに使用されている医療機器の操作および管理方法、医療施設の設備および管理方法、また医用機器を用いた治療における患者対応、他職種間の連携、医療安全管理体制などの実践的な技術を修得することです。当該領域の講義・演習を学修したのちに臨床実習を配置しています。

④ 主体的学修

学修の主体は、学生であることから、それぞれの授業科目において、学生自らが積極的に参加し、主体的に学修に取り組むことで、自らの課題を達成していくこと、並びに学生の個性に応じて、多領域にわたり、学問的興味や関心を持つことができることを目的に、演習の学修時間を多くしています。グループワークなどのチーム学修をとおして、学生相互に学びを深めるとともに、調整する能力や協働する能力、ディスカッション

能力を育成することもねらいとしています。

2. 履修について

履修とは、「必修・選択科目を確認のうえ単位修得を希望する科目について登録し、授業・試験を受けて合格し、単位を修得する」という過程を意味します。履修登録するにあたり、『履修の手引き』・『シラバス』・『授業時間割』を熟読のうえ、履修計画を立ててください。1年間の履修計画を立て、前期の履修登録期間中に後期分の履修登録も行ってください。

1) 履修の上限単位（CAP制）

本学では、1単位の単位修得に必要な学修時間を確保し、学修の質の向上と学修の効率化をはかるために、学年ごとに履修登録科目数の上限制度であるCAP（キャップ）制を導入しています。各学年が履修できる1年間の総単位数に上限を設定することで、各学科のディプロマ・ポリシーを達成するための学修を計画的に進められるよう適切に授業科目を履修できることを目的とした制度です。

（2026年度以降入学生）

学年	1年間の上限
1年	48単位
2年	38単位
3年	40単位
4年	30単位

2) 履修登録スケジュール

履修登録および履修登録変更のスケジュールは該当年度の「履修の手引き」等で確認してください。

3) 履修登録変更期間について

履修登録内容を誤った場合や、授業内容が自分の学修したい内容と異なっていた場合、もしくは履修計画を見直したい場合は、定められた期間で履修登録変更の手続きを行ってください。やむを得ない事情による所定の期間外の履修登録および変更は、教務委員長の許可が必要になります。

履修登録変更の手続きについての詳細は該当年度の「履修の手引き」およびユニバーサルパスポートで周知します。

4) 履修上の注意

卒業に必要な科目履修、単位の管理は、学生自身の自己責任となります。「履修の手引き」とシラバス等を活用して、履修方法、単位認定、試験等にかかわる事項を十分に確認しておきましょう。

また、堅実な履修計画を立て、単位を管理し、4年間の履修計画を立てておきましょう。

- ① すでに単位を修得している科目を履修することはできません。
- ② 教育上やむを得ないと認められる場合は、履修登録の事前または事後に履修人数を調整することがあります。
- ③ 授業時間が重複する科目を履修することはできません。
- ④ 各学年において、上級学年に履修する授業科目を履修することはできません。

- ⑤ 臨床実習の履修には、先修要件があります。先修要件を満たしていない場合は、実習を履修できません。
- ⑥ 国家試験の受験には卒業に必要なすべての単位を取得し、卒業見込みであることが要件となります。

5) 先修要件

臨床実習に関わる科目を履修するためには、履修規程第19条の進級要件を満たし、かつ次に定める科目の単位を修得していなければならない。

臨床実習科目	先修要件
臨床実習	3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

3. 単位修得について

1) 卒業要件総単位数 (2026年度以降入学生)

本学を卒業するためには、下記の表が示す単位数の修得が必要となります。

臨床工学科

科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
必修単位	15単位	38単位	66単位	119単位
選択単位	3単位以上	3単位以上	5単位以上	11単位以上
小計	18単位以上	41単位以上	71単位以上	130単位以上

2) 算定基準

大学で履修する授業科目には、それぞれ「単位」という一定の基準が定められています。1単位とは、学生が1科目について行う45時間（2単位の場合は90時間）の学修活動を意味し、その学修活動とは授業と事前・事後学修からなります。授業科目の1単位あたりの時間数は、授業形態に応じた教育効果や事前・事後学修時間等を考慮したものです。

〈1単位あたりの授業時間数〉

講義・演習	15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位
実験・実習・実技	30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位
1つの授業科目の中に講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2つ以上を併用	1つの授業科目に講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2つ以上の方法の併用により行う授業については、組み合わせに応じ、30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業を持って1単位としています。

3) 単位の「修得」について

単位の「修得」は、「履修登録」した科目の所定の規定回数の3分の2以上を出席し、定期試験を受験し合格することで、その科目の単位を修得することができます。

ただし、科目によっては、試験の成績にレポート（課題）の評価などが加味され、総合的に評価されます。

4. 履修科目について

必ず履修しなければならない必修科目と各区分の中から指定された単位数以上を自由に選択できる選択科目を履修します。

1) 基礎教育科目（必修科目15単位、選択科目16単位から3単位以上選択）

「人間と生活及び社会の理解」 必修科目4単位、選択科目13単位から2単位以上選択

人間に関する学際的な学問領域について学び、価値観や人間観を育て、主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けます。

「科学的思考の基盤」 必修科目8単位

臨床工学の基礎となる学問的探究心と科学的思考力を養います。

「語学」 必修科目3単位、選択科目3単位から1単位以上選択

語学学修をとおして、他者との交流におけるコミュニケーションに必要なスキルを学びます。

2) 専門基礎教育科目（必修科目38単位、選択科目6単位から3単位以上選択）

「人体の構造と機能」 必修科目8単位

人体の構造と機能を系統的に学び、生命現象を総合的に理解し、関連科目を修得するための基礎能力を養います。

「臨床工学に必要な医学的基礎」 必修科目9単位

幅広い病態と治療の理解に必要な基礎を学修するほか、医療における臨床工学分野の役割を概論的に学ぶことで、チーム医療の中で他職種と連携・協働するために必要な基礎能力を養います。

「臨床工学に必要な理工学的基礎」 必修科目15単位、選択科目4単位から2単位以上選択

医用機器の原理・構造の理解に必要な工学の基礎を学修し、医用機器の安全管理を実践できる能力を養います。

「臨床工学に必要な医療情報学とシステム工学の基礎」 必修科目6単位、選択科目2単位から1単位以上選択

分析力および応用力の修得に必要なデータ処理などを学修するほか、社会生活の中で他者との連携を図り、チーム医療を担う医療従事者の基盤をつくる実践的能力を養います。

3) 専門教育科目（必修科目66単位、選択科目9単位から5単位以上選択）

「医用生体工学」 必修科目8単位、選択科目2単位から1単位以上選択

生体材料と生体物性について学修するとともに、基礎医学分野と基礎工学分野で学修した知識を総合的に理解し、医学と工学の知識を融合した医工学分野への応用力を修得します。

「医用機器学及び臨床支援技術」 必修科目16単位、選択科目4単位から2単位以上選択

検査・治療に関わる様々な医用機器の原理構造を理解し、医用機器の適正な管理方法を修得するほか、それぞれの分野ごとに医用機器に関連した臨床支援技術を修得します。

「生体機能代行技術学」 必修科目18単位、選択科目3単位から2単位以上選択

生命維持管理装置の操作管理に必要な基礎を修得し、さらに実践的な実技実習と組み合わせて臨床現場で必要不可欠な知識・技術を修得します。

「医療安全管理学」 必修科目 6 単位

医用機器の安全使用を確保するために必要な知識を幅広く理解し、医療安全の推進に寄与できる専門知識と技術を習得します。

「関連臨床医学」 必修科目 7 単位

臨床工学の業務である生命維持管理装置の操作・管理を行う上で必要な関連疾患の病態や診断方法、治療法について理解するための知識を修得します。

「臨床実習」 必修科目 7 単位

臨床工学技士としての臨床的な知識と実践技術を学ぶほか、医療チームの一員としての責任と自覚を養います。

「卒業研究」 必修科目 4 単位

臨床工学の発展に関わる基礎的研究を中心に担当教員の指導の下で、研究計画書の作成、実験、結果の評価方法や考察の考え方などについて学びます。研究成果は発表会で発表します。

〈履修科目一覧 臨床工学科 (2026年度カリキュラム)〉

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎教育科目	必修	スタートアップ講座[1] 心理学[1]	生命科学[1] コミュニケーション学[1]						
	選択	倫理学[1] 人間関係の科学[1] 生活と運動[1] 健康とスポーツ[1] 法学[1] 教育学[1] 北海道史[1]	生命倫理[1] 医療と哲学[1] 文化人類学[1] 医療と社会[1]	医療と宗教[1]	ポランテニア論[1]				必修4単位を 含む6単位以上
	必修	物理学I[1] 化学[1] 数学I[2]	物理学II[1] 生物学[1] 数学II[1]			数学III[1]			必修8単位
	必修	英語I[1]	英語I[1]	英語II[1]	英語III[1]				必修3単位を 含む4単位以上
	選択	日本語表現[1]	中国語[1]		韓国語[1]				
	必修	解剖生理学I[2] 解剖生理学II[2]	解剖生理学演習[2] 生化学[1] 生体防御学[1]						必修8単位
	必修	医療総論[1]		病理学[2] 微生物学[2] 公衆衛生学[1]	臨床薬理概論[1] チーム医療論[1]		医療コミュニケーション論[1]		必修9単位
	必修	電気工学I[2] 基礎理工学演習I[1]	電気工学II[2] 計測工学[1] 基礎理工学実習I[1]	機械工学[2] 電子工学[2]	基礎理工学実習II[1]			基礎理工学演習III[2]	必修15単位 を含む17単 位以上
	選択			基礎理工学総合I[1]		基礎理工学総合II[1]		基礎理工学総合III[2]	
	必修			医療倫理情報学[2]		システム工学[2]			必修6単位を 含む7単位以上
選択	情報処理[1]	情報科学[1]							
専門基礎教育科目									

科目区分	1年		2年		3年		4年		卒業認定に 必要な単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
医用生体工学	必修 臨床工学概論 [1] 臨床工学概論演習 [1]	物性工学 I [1] 医用工学概論 [2]	材料工学 I [1] 医用工学概論演習 I [1]		材料工学 II [1]	物性工学 II [1]		医用工学概論演習 II [1]	必修8単位を 含む9単位以上
	選択		医用治療機器学 [2] 生体計測装置学 I [1] 生体計測装置学 II [1] 生体計測装置学演習 I [1]	生体計測技術学 [1] 循環器治療機器学 I [1] 消化器治療機器学 [1]		循環器治療機器学 III [1] 生体計測技術学実習 I [1] 循環器治療機器学 II [1] 臨床支援技術学 [2]	臨床支援技術学実習 I [1]	医用治療機器学演習 I [1] 生体計測装置学演習 II [1]	
医用機器学及 臨床支援技術	必修			生体計測技術学 [1] 循環器治療機器学 I [1] 消化器治療機器学 [1]		材料工学 II [1] 生体計測技術学実習 I [1] 循環器治療機器学 II [1] 臨床支援技術学 [2]	物性工学 II [1]		必修16単位 を含む18単 位以上
	選択					医用治療機器学 III [1] 生体計測技術学実習 I [1] 循環器治療機器学 II [1] 臨床支援技術学 [2]	循環器治療機器学 III [1] 生体計測技術学実習 I [1] 循環器治療機器学 II [1] 臨床支援技術学 [2]	医用治療機器学演習 I [1] 生体計測装置学演習 II [1]	
生体機能代行技術学 専門教育科目	必修		生体機能代行装置学 I [4]	生体機能代行装置学演習 I [1] 生体機能代行装置学実習 I [1]	生体機能代行装置学 I [2] 生体機能代行装置学演習 II [1]	血液透析法装置学 I [2] 生体機能代行装置学 II [2] 生体機能代行装置学実習 II [2] 生体機能代行技術実習 I [1]	生体機能代行装置学 II [2] 血液透析法装置学 II [2]		必修18単位 を含む20単 位以上
	選択					血液浄化療法装置学 [1] 呼吸療法装置学 [1] 体外循環療法装置学 [1]			
医療安全	必修		医用機器安全管理学 I [2]		医用機器安全管理学 II [1]		医用機器安全管理学実習 I [1]	医療安全管理学 [2]	6単位
関連臨床 医学	必修			臨床医学総論 I [1]		臨床医学総論 II [1] 臨床医学総論 III [1] 臨床医学総論 IV [1] 臨床医学総論 V [1]			7単位
臨床 実習	必修							臨床実習 [7]	7単位
卒業 研究	必修						卒業研究 [4]		4単位

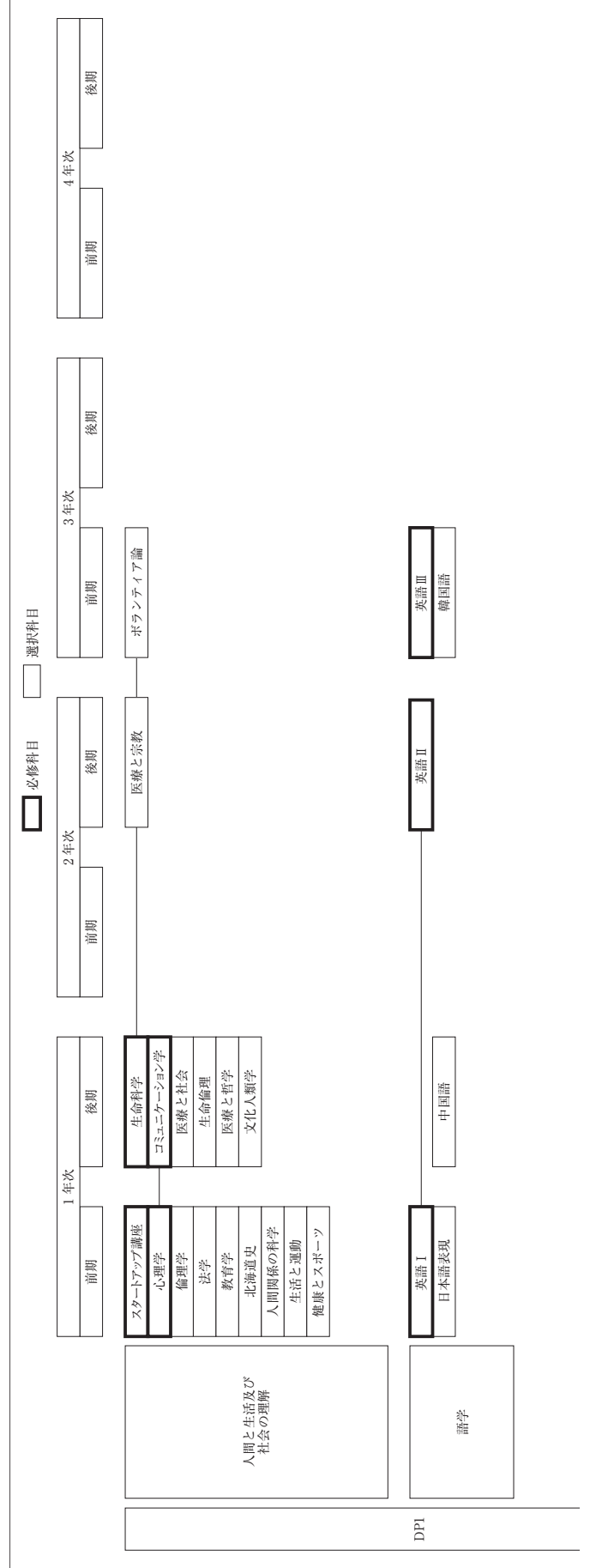
必修科目	33単位	34単位	26単位	26単位	119単位
選択科目	15単位	2単位	12単位	2単位	31単位
計	48単位	36単位	38単位	28単位	150単位
CAP制	48単位	38単位	40単位	30単位	148単位

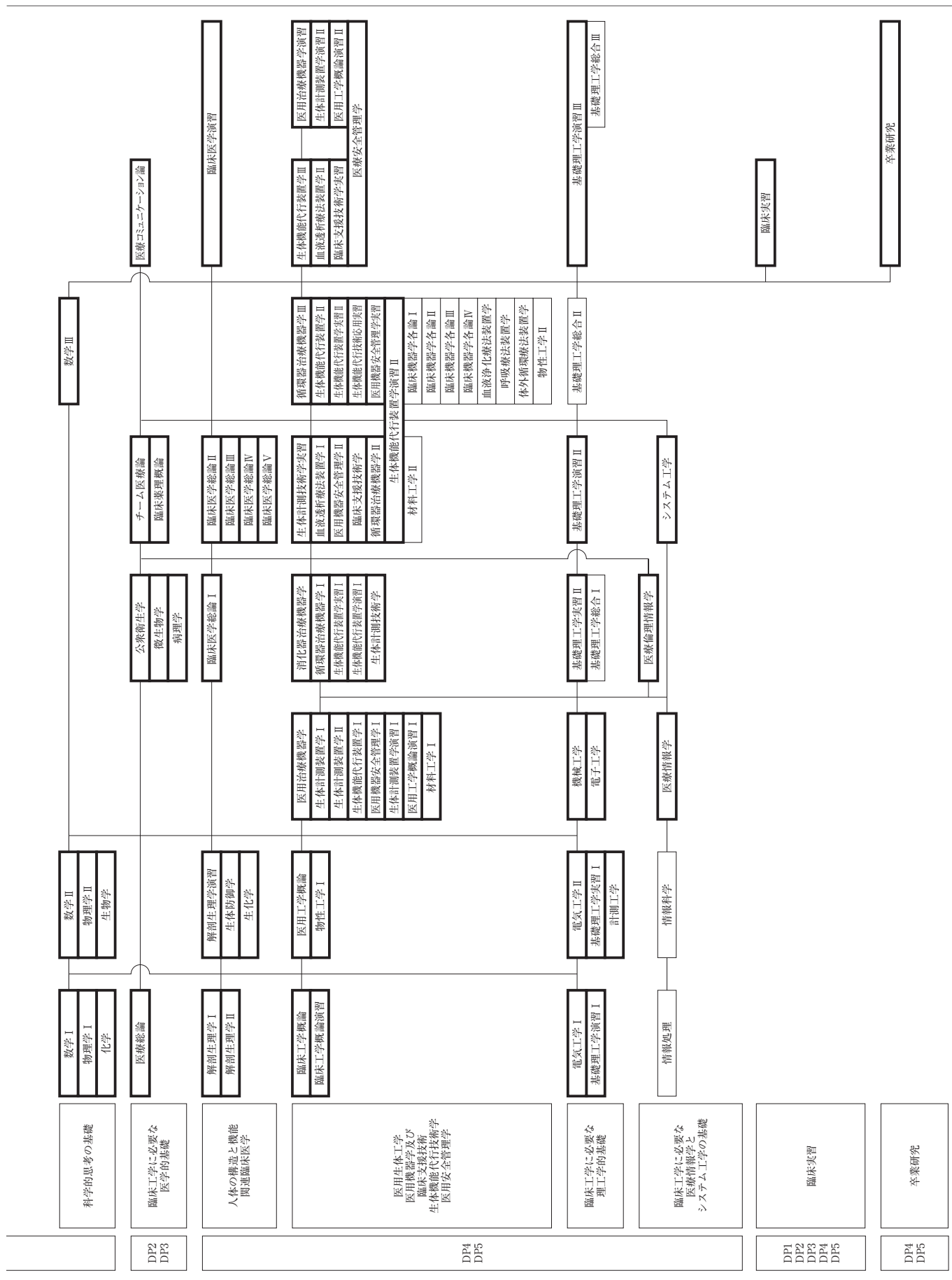
○卒業要件 130 単位以上 必修119 単位 選択11 単位以上

○ [] 内は、単位数

〈カリキュラム・ツリー 臨床工学科〉(2026年度カリキュラム)

臨床工学科ディプロマポリシー (DP)	DP1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力	DP2. 臨床工学に関する高い専門性と豊かな人間性を発揮し、地域社会に貢献し、生命維持管理装置の運用管理の向上に寄与する能力	DP3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力	DP4. 科学的根拠に基づき、良質な生命維持管理装置の運用管理を提供する能力	DP5. 論理的思考をもって主体的に学修し、臨床工学を発展させる能力
臨床工学科カリキュラムポリシー (CP)	CP1. 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って、共生社会の実現に寄与する能力を育成するために、基礎教育科目を配置する	CP2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる人材を育成するため、保健医療福祉について学ぶ専門基礎教育科目を配置する	CP3. 科学的根拠に基づいた生命維持管理装置の運用管理の知識を習得するため、「臨床工学」と「人体の構造と機能」、「臨床工学に必要な医学的基礎」、「臨床工学に必要な理工学的基礎」、「臨床工学に必要となる医療情報技術とシステム工学の基礎」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する	CP4. 高度で専門的な生命維持管理装置の運用管理を実施する能力と向上させる能力を育成するため、「医用生体工学」、「医用機器学及び臨床支援技術」、「生体機能代行技術学」、「医療安全管理学」、「関連臨床医学」、「臨床工学」を学ぶ専門教育科目を配置する	CP5. 将来の臨床工学専門職業人としての自覚を持ち、豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う





IV 教育課程進度表

〈教育課程進度表 看護学科 (2025年度以降入学生カリキュラム)〉

科目区分	科目名	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎	科学的思考の基礎	スタートアップ講座	講義	○	1		15								BNSLA1-01	必修を含む8単位以上
	生命科学	講義	○	2		30									BNSLA1-02	
	数学	講義			1	15									BNSLA1-03	
	環境科学	講義			1	15									BNSLA1-04	
	生活科学	講義			1		15								BNSLA1-05	
	統計学	講義	○	1		15									BNSLA1-06	
	情報科学Ⅰ	演習	○	1		30									BNSLA1-07	
	情報科学Ⅱ	演習	○	1		30									BNSLA1-08	
	生活と運動	演習			1	30									BNSLA1-09	
	健康とスポーツ	演習			1		30								BNSLA1-10	
基礎	人間と生活及び社会の理解	心理学	講義	○	1		15								BNSLA1-11	必修を含む7単位以上
	発達心理学	講義			1		15								BNSLA1-12	
	倫理学	講義	○	1		15									BNSLA1-13	
	生命倫理	講義			1	15									BNSLA1-14	
	医療と哲学	講義			1			15							BNSLA2-15	
	論理学	講義	○	1		15									BNSLA1-16	
	医療と宗教	講義			1			15							BNSLA2-17	
	人間関係の科学	講義			1	15									BNSLA1-18	
	文化人類学	講義			1		15								BNSLA1-19	
	医療と社会	講義			1			15							BNSLA2-20	
	音楽	講義			1			15							BNSLA2-21	
	法学	講義			1			15							BNSLA2-22	
	教育学	講義			1			15							BNSLA2-23	
	北海道史	講義			1	15									BNSLA1-24	
	ボランティア論	講義			1			15							BNSLA2-25	
語学	日本語表現	演習	○	1		30									BNSLA1-26	必修を含む5単位以上
	英語Ⅰ	演習	○	1		30									BNSLA1-27	
	英語Ⅱ	演習	○	1			30								BNSLA1-28	
	英語Ⅲ	演習			1			30							BNSLA2-29	
	英語Ⅳ	演習			1				30						BNSLA3-30	
	中国語	演習			1		30								BNSLA1-31	
	韓国語	演習			1			30							BNSLA2-32	
専門基礎	健康と疾病	総合医療論	講義	○	1		15								BNSa1-01	必修18単位
	形態機能学Ⅰ(消化器・血液系)	講義	○	2		30									BNSa1-02	
	形態機能学Ⅱ(循環・代謝系)	講義	○	2		30									BNSa1-03	
	形態機能学Ⅲ(運動・神経系)	講義	○	2		30									BNSa1-04	
	形態機能学Ⅳ(人体解剖実習)	演習	○	2			30								BNSa1-05	
	臨床微生物学	講義	○	1		30									BNSa1-06	
	病態病理学	講義	○	1			30								BNSa2-07	
	臨床薬理学	講義	○	1				30							BNSa2-08	
	臨床栄養学	講義	○	1		30									BNSa1-09	
	疾病論Ⅰ(循環器・呼吸器系)	講義	○	1			30								BNSa2-10	
	疾病論Ⅱ(消化器・血液系)	講義	○	1				30							BNSa2-11	
	疾病論Ⅲ(運動・神経系)	講義	○	1			30								BNSa2-12	
	疾病論Ⅳ(内分泌・腎泌尿器・感覚器系)	講義	○	1			30								BNSa2-13	
	感染症概論	講義	○	1		15									BNSa1-14	
育科	社会と健康支援	公衆衛生学	講義	○	1		15								BNSb1-01	必修を含む9単位以上
	保健医療統計	講義	○	1			15								BNSb2-02	
	健康教育論	講義	○	1				15							BNSb3-03	
	保健医療福祉行政論	講義	○	1		15				15					BNSb1-04	
	チーム医療論	講義	○	1					15						BNSb3-05	
	関係法規	講義	○	1			15								BNSb2-06	
	社会福祉学	講義			1			15							BNSb2-07	
	家族論	講義			1						15				BNSb4-08	
	コミュニケーション論	講義			1		15								BNSb1-09	
	心の健康科学	講義			1			15							BNSb2-10	
	リハビリテーション概論	講義			1					15					BNSb3-11	

(次ページに続く)

科目区分	科目名	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	初期実習	実習	○	1		45								BNSc5-01	必修16単位	
	看護学概論	講義	○	2		30								BNSc1-02		
	基礎看護技術論Ⅰ	演習	○	2		30								BNSc1-03		
	基礎看護技術論Ⅱ	演習	○	2		60								BNSc1-04		
	基礎看護技術論Ⅲ	演習	○	2			60							BNSc2-06		
	基礎看護技術論Ⅳ	演習	○	2			30							BNSc2-07		
	基礎看護学実習Ⅰ	実習	○	1			45							BNSc5-08		
	基礎看護学実習Ⅱ	実習	○	2				90						BNSc5-09		
	成人看護学概論	講義	○	2			30							BNSd1-01		必修48単位
	成人看護援助論Ⅰ	講義	○	2				30						BNSd2-02		
	成人看護援助論Ⅱ	演習	○	2					60					BNSd3-03		
	成人看護学実習	実習	○	5						225				BNSd5-04		
	老年看護学概論	講義	○	2			30							BNSd1-05		
	老年看護援助論Ⅰ	講義	○	2				30						BNSd2-06		
	老年看護援助論Ⅱ	演習	○	1					30					BNSd2-07		
	老年看護学実習	実習	○	3						135				BNSd5-08		
	小児看護学概論	講義	○	2				30						BNSd2-09		
	小児看護援助論Ⅰ	講義	○	2					30					BNSd2-10		
	小児看護援助論Ⅱ	演習	○	1						30				BNSd3-11		
	母性・小児看護学実習	実習	○	4							180			BNSd5-12		
	母性看護学概論	講義	○	2				30						BNSd2-13		
	母性看護援助論Ⅰ	講義	○	2					30					BNSd2-14		
	母性看護援助論Ⅱ	演習	○	1						30				BNSd3-15		
	精神看護学概論	講義	○	2				30						BNSd2-16		
	精神看護援助論Ⅰ	講義	○	2					30					BNSd2-17		
	精神看護援助論Ⅱ	演習	○	1						30				BNSd3-18		
	精神看護学実習	実習	○	2							90			BNSd5-19		
	地域・在宅看護学概論	講義	○	2				30						BNSd1-20		
	地域・在宅看護援助論Ⅰ	演習	○	2					30					BNSd2-21		
	地域・在宅看護援助論Ⅱ	演習	○	2						30				BNSd3-22		
	地域・在宅看護学実習	実習	○	2							90			BNSd5-23		
	看護の統合	医療安全	講義	○	1				15						BNSe2-01	必修を含む14単位以上
		統合実習	実習	○	3							135			BNSe5-02	
		看護研究	演習	○	1						30				BNSe3-03	
		看護研究ゼミナールⅠ	演習	○	1						30				BNSe5-04	
		看護研究ゼミナールⅡ	演習	○	1							30			BNSe5-05	
看護倫理学		講義	○	1							15			BNSe4-06		
看護管理		講義	○	1						15				BNSe3-07		
感染管理		講義			1					15				BNSe3-08		
看護教育		講義			1							15		BNSe4-09		
国際看護学		講義			1						15			BNSe4-10		
災害看護学Ⅰ		講義	○	1			15							BNSe1-11		
災害看護学Ⅱ		講義			1							15		BNSe4-12		
臨床看護技術演習	演習	○	2						30				BNSe3-13			
エンド・オブ・ライフケア	講義			1							15		BNSe4-14			
看護ゼミナール	演習	○	1								30		BNSe4-15			

〈教育課程進度表 リハビリテーション学科 理学療法専攻 (2025年度以降入学生カリキュラム)〉

科目区分	授業科目の名称	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎	スタートアップ講座	講義		1		15									BPTLA1-01	必修を含む10単位以上
	心理学	講義		1		15									BPTLA1-02	
	発達心理学	講義			1	15									BPTLA1-03	
	生物学	講義			1	15									BPTLA1-04	
	物理学	講義			1	15									BPTLA1-05	
	生活科学	講義			1	15									BPTLA1-06	
	環境科学	講義			1	15									BPTLA1-07	
	生活と運動	講義		1		15									BPTLA1-08	
	健康とスポーツ	演習			1	30									BPTLA1-09	
	統計学	講義		1		15									BPTLA1-10	
	情報科学	講義		1		15									BPTLA1-11	
	情報科学演習	演習			1	30									BPTLA1-12	
	人間発達学	講義		2				30							BPTLA2-13	
	教育	倫理学	講義		1		15									
生命倫理		講義			1	15									BPTLA1-15	
医療と哲学		講義			1	15									BPTLA1-16	
論理学		講義			1	15									BPTLA1-17	
医療と宗教		講義			1	15									BPTLA1-18	
人間関係の科学		講義			1	15									BPTLA1-19	
文化人類学		講義			1	15									BPTLA1-20	
医療と社会		講義		1		15									BPTLA1-21	
音楽		講義			1			15							BPTLA2-22	
法学		講義			1	15									BPTLA1-23	
教育学		講義			1	15									BPTLA1-24	
北海道史		講義			1	15									BPTLA1-25	
ボランティア論		講義			1		15								BPTLA2-26	
言語		日本語表現	演習		1		30									BPTLA1-27
	英語Ⅰ	演習		1		30									BPTLA1-28	
	英語Ⅱ	演習			1	30									BPTLA1-29	
	英語Ⅲ	演習			1		30								BPTLA2-30	
	英語Ⅳ	演習			1			30							BPTLA3-31	
	中国語	演習			1	30									BPTLA1-32	
専門基礎	韓国語	演習			1		30								BPTLA2-33	必修20単位
	解剖学Ⅰ	講義	○	2		30									BPTa1-01	
	解剖学Ⅱ	講義	○	2		30									BPTa1-02	
	解剖学演習	演習		2		60									BPTa1-03	
	解剖学特論	講義		1			30								BPTa2-04	
	体表解剖学	演習	○	1		30									BPTa1-05	
	生理学Ⅰ	講義	○	2		30									BPTa1-06	
	生理学Ⅱ	講義	○	2		30									BPTa1-07	
	生理学演習	演習		1			30								BPTa2-08	
	生理学特論	講義		1				30							BPTa2-09	
	運動学Ⅰ	講義	○	2		30									BPTa1-10	
	運動学Ⅱ	講義	○	2			30								BPTa2-11	
	運動学演習	演習		1				30							BPTa2-12	
	運動学特論	講義		1					30						BPTa3-13	
教育科目	病理学	講義		2		30									BPTb1-01	必修を含む16単位以上
	栄養学	講義		1		15									BPTb1-02	
	心の健康科学Ⅰ	講義			1		15								BPTb2-03	
	心の健康科学Ⅱ	講義			1			15							BPTb2-04	
	教育心理学	講義			1		15								BPTb2-05	
	内科学	講義		2				30							BPTb2-06	
	整形外科	講義		2			30								BPTb2-07	
	神経障害学	講義		2			30								BPTb2-08	
	精神障害学	講義		1				15							BPTb2-09	
	発達障害学	講義		1				15							BPTb2-10	
	生体情報論	講義		1				15							BPTb2-11	
	応急処置法	講義		1					15						BPTb3-12	
	薬理学	講義		1		15									BPTb1-13	
	予防医学	講義	○	1		15									BPTb1-14	

科目区分	授業科目の名称	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎教育科目	リハビリテーション論	講義	○	2		30								BPTc1-01	必修6単位	
	チーム医療論	講義		1					15					BPTc3-02		
	総合医療論	講義		1		15								BPTc1-03		
	社会福祉学	講義		1				15						BPTc2-04		
	健康政策論	講義		1								15		BPTc4-05		
基礎理学療法学	理学療法概論	講義	○	1		30								BPTd1-01	必修7単位	
	理学療法概論演習	演習	○	1			30							BPTd1-02		
	理学療法セミナーⅠ	演習		1		30								BPTd1-03		
	理学療法セミナーⅡ	演習		1				30						BPTd2-04		
	理学療法セミナーⅢ	演習		1						30				BPTd3-05		
	理学療法研究法	講義		1						30				BPTd3-06		
	理学療法総合演習	演習		1								30		BPTd4-07		
理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	講義	○	1		15								BPTe1-01	必修8単位	
	理学療法評価学演習Ⅰ	演習	○	1		30								BPTe1-02		
	理学療法評価学Ⅱ	講義	○	1			15							BPTe2-03		
	理学療法評価学演習Ⅱ	演習	○	1			30							BPTe2-04		
	理学療法評価学Ⅲ	講義	○	1				15						BPTe2-05		
	理学療法評価学演習Ⅲ	演習	○	1				30						BPTe2-06		
	運動器系検査法(筋力測定)	演習	○	1			30							BPTe2-07		
	臨床判断学	演習	○	1					30					BPTe3-08		
専門教育科目	運動療法学	講義	○	1			30							BPTf2-01	必修を含む24単位以上	
	運動療法学演習	演習	○	1				30						BPTf2-02		
	運動器障害理学療法学	講義	○	1					30					BPTf3-03		
	運動器障害理学療法学演習	演習	○	1					30					BPTf3-04		
	臨床神経機能解剖学	講義	○	1				15						BPTf2-05		
	神経障害理学療法学	講義	○	1					30					BPTf3-06		
	神経障害理学療法学演習	演習	○	1					30					BPTf3-07		
	内部障害理学療法学(循環器)	講義	○	1					30					BPTf3-08		
	内部障害理学療法学(呼吸器)	講義	○	1						30				BPTf3-09		
	代謝・免疫系障害理学療法学	講義	○	1						30				BPTf3-10		
	発達障害理学療法学	講義	○	1						30				BPTf3-11		
	高齢期障害理学療法学	講義	○	1						30				BPTf3-12		
	物理療法学	講義	○	1					30					BPTf3-13		
	物理療法学演習	演習	○	1					30					BPTf3-14		
	義肢装具学	講義	○	1					30					BPTf3-15		
	義肢装具学演習	演習	○	1						30				BPTf3-16		
	日常生活活動基礎学	講義	○	1					30					BPTf3-17		
	卒業研究Ⅰ	演習		2						60				BPTf5-18		
	卒業研究Ⅱ	演習		1								30		BPTf5-19		
	ウィメンズヘルスケア論	講義			1					15						BPTf3-20
	災害リハビリテーション	講義			1					15						BPTf3-21
	徒手関節治療学	演習			1					30						BPTf3-22
	神経筋促通治療学	演習			1						30					BPTf3-23
	軟部組織治療学	演習			1						30					BPTf3-24
	高次脳機能障害学	講義			1						30					BPTf3-25
	スポーツ理学療法学	講義			1						30					BPTf3-26
地域理学療法学	地域リハビリテーション学	講義	○	1			30							BPTg2-01	4単位 必修	
	地域リハビリテーション学演習	演習	○	1				30						BPTg2-02		
	地域理学療法学	講義		1					30					BPTg3-03		
	生活環境学	講義	○	1						15				BPTg3-04		
理学療法臨床実習	臨床実習Ⅰ(理学療法)	実習		2				90						BPTf5-01	20単位 必修	
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	実習		4						180				BPTf5-02		
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	実習		7							315			BPTf5-03		
	臨床実習Ⅳ(理学療法)	実習		7								315		BPTf5-04		
理学療法管理学	リハビリテーション管理学	講義	○	2						30				BPTi3-01	必修2単位	

〈教育課程進度表 リハビリテーション学科 作業療法専攻(2025年度以降入学生カリキュラム)〉

科目区分	授業科目の名称	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎	スタートアップ講座	講義		1		15									BOTLA1-01	必修を含む10単位以上
	心理学	講義		1		15									BOTLA1-02	
	発達心理学	講義			1	15									BOTLA1-03	
	生物学	講義			1	15									BOTLA1-04	
	物理学	講義			1	15									BOTLA1-05	
	生活科学	講義			1	15									BOTLA1-06	
	環境科学	講義			1	15									BOTLA1-07	
	生活と運動	講義		1		15									BOTLA1-08	
	健康とスポーツ	演習			1	30									BOTLA1-09	
	統計学	講義		1		15									BOTLA1-10	
	情報科学	講義		1		15									BOTLA1-11	
	情報科学演習	演習			1	30									BOTLA1-12	
	人間発達学	講義		2				30							BOTLA2-13	
	教育	倫理学	講義		1		15									
生命倫理		講義			1	15									BOTLA1-15	
医療と哲学		講義			1	15									BOTLA1-16	
論理学		講義			1	15									BOTLA1-17	
医療と宗教		講義			1	15									BOTLA1-18	
人間関係の科学		講義			1	15									BOTLA1-19	
文化人類学		講義			1	15									BOTLA1-20	
医療と社会		講義		1		15									BOTLA1-21	
音楽		講義			1			15							BOTLA2-22	
法学		講義			1	15									BOTLA1-23	
教育学		講義			1	15									BOTLA1-24	
北海道史		講義			1	15									BOTLA1-25	
ボランティア論		講義			1			15							BOTLA2-26	
言語		日本語表現	演習		1		30									BOTLA1-27
	英語Ⅰ	演習		1		30									BOTLA1-28	
	英語Ⅱ	演習				30									BOTLA1-29	
	英語Ⅲ	演習			1		30								BOTLA2-30	
	英語Ⅳ	演習			1			30							BOTLA3-31	
	中国語	演習			1		30								BOTLA1-32	
韓国語	演習			1		30								BOTLA2-33		
専門基礎	解剖学Ⅰ	講義	○	2		30									BOa1-01	必修20単位
	解剖学Ⅱ	講義	○	2		30									BOa1-02	
	解剖学演習	演習		2		60									BOa1-03	
	解剖学特論	講義		1			30								BOa2-04	
	体表解剖学	演習	○	1		30									BOa1-05	
	生理学Ⅰ	講義	○	2		30									BOa1-06	
	生理学Ⅱ	講義	○	2		30									BOa1-07	
	生理学演習	演習		1			30								BOa2-08	
	生理学特論	講義		1				30							BOa2-09	
	運動学Ⅰ	講義	○	2		30									BOa1-10	
	運動学Ⅱ	講義	○	2			30								BOa2-11	
	運動学演習	演習		1				30							BOa2-12	
	運動学特論	講義		1					30						BOa3-13	
教育科目	病理学	講義		2		30									BOtb1-01	必修を含む16単位以上
	栄養学	講義		1		15									BOtb1-02	
	心の健康科学Ⅰ	講義			1		15								BOtb2-03	
	心の健康科学Ⅱ	講義			1			15							BOtb2-04	
	教育心理学	講義			1		15								BOtb2-05	
	内科学	講義		2				30							BOtb2-06	
	整形外科	講義		2				30							BOtb2-07	
	神経障害学	講義		2				30							BOtb2-08	
	精神障害学	講義		1				15							BOtb2-09	
	発達障害学	講義		1				15							BOtb2-10	
	生体情報論	講義		1				15							BOtb2-11	
	応急処置法	講義		1					15						BOtb3-12	
	薬理学	講義		1			15								BOtb1-13	
	予防医学	講義	○	1			15								BOtb1-14	

科目区分	授業科目の名称	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件
				必修	選択	1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎教育科目	リハビリテーション論	講義	○	2		30								B0Tc1-01	必修6単位
	チーム医療論	講義		1					15					B0Tc3-02	
	総合医療論	講義		1		15								B0Tc1-03	
	社会福祉学	講義		1			15							B0Tc2-04	
	健康政策論	講義		1							15			B0Tc4-05	
基礎作業療法学	作業療法概論	講義	○	1		30								B0Td1-01	必修8単位
	基礎作業学	講義	○	1		30								B0Td1-02	
	基礎作業学演習	演習	○	1			30							B0Td1-03	
	作業療法セミナーⅠ	演習		1		30								B0Td1-04	
	作業療法セミナーⅡ	演習	○	1				30						B0Td2-05	
	作業療法セミナーⅢ	演習	○	1					30					B0Td3-06	
	作業療法研究法	講義		1					30					B0Td3-07	
	作業療法総合演習	演習		1								30		B0Td4-08	
作業療法評価学	作業療法評価学	講義	○	1		30								B0Te1-01	必修6単位
	作業療法評価学演習(基礎評価・発達)	演習	○	1			30							B0Te2-02	
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	演習	○	1		30								B0Te1-03	
	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	演習	○	1			30							B0Te2-04	
	作業療法評価学演習(中枢神経系)	演習	○	1				30						B0Te2-05	
	作業療法評価学演習(精神・高齢期)	演習	○	1				30						B0Te2-06	
作業療法教育学	作業療法治療学(総論)	講義	○	2					60					B0Tf3-01	必修を含む22単位以上
	身体障害作業治療学(中枢神経障害系)	講義	○	1						30				B0Tf3-02	
	身体障害作業治療学(運動器障害系)	講義	○	1						30				B0Tf3-03	
	身体障害作業治療学(内部障害・代謝障害系)	講義	○	1							30			B0Tf3-04	
	身体障害作業治療学(ハンドセラピー)	演習	○	1							30			B0Tf3-05	
	精神障害作業治療学	講義	○	2						30				B0Tf3-06	
	発達障害作業治療学	講義	○	2						30				B0Tf3-07	
	高齢期障害作業治療学	講義	○	2						30				B0Tf3-08	
	高次脳機能障害作業治療学	講義	○	1						30				B0Tf3-09	
	義肢装具作業療法学	講義	○	1						30				B0Tf3-10	
	日常生活適応学(ADL)	講義	○	1				30						B0Tf2-11	
	日常生活適応学(動作分析)	演習	○	1					30					B0Tf2-12	
	就労支援作業療法学	講義	○	1						30				B0Tf3-13	
	卒業研究Ⅰ	演習		2							60			B0Tf5-14	
	卒業研究Ⅱ	演習		1								30		B0Tf5-15	
	作業療法治療学特論(治療理論)	講義			1					15				B0Tf3-16	
	作業療法治療学特論(シーティング)	講義			1					15				B0Tf3-17	
	認知機能障害対応論(スヌーズレン)	講義			1					15				B0Tf3-18	
	軟部組織治療学	演習			1						30			B0Tf3-19	
	ウィメンズヘルスクエア論	講義			1					15				B0Tf3-20	
災害リハビリテーション	講義			1					15				B0Tf3-21		
地域作業療法学	地域リハビリテーション学	講義	○	1			30							B0Tg2-01	4単位 必修
	地域リハビリテーション学演習	演習	○	1				30						B0Tg2-02	
	地域作業療法学	講義	○	1					30					B0Tg3-03	
	福祉住環境論	講義	○	1					30					B0Tg2-04	
作業療法臨床実習	臨床実習Ⅰ(作業療法)	実習		2				90						B0Th5-01	27単位 必修
	地域臨床実習(作業療法)	実習		1					45					B0Th5-02	
	臨床実習Ⅱ(作業療法)	実習		6						270				B0Th5-03	
	臨床実習Ⅲ(作業療法)	実習		8							360			B0Th5-04	
	臨床実習Ⅳ(作業療法)	実習		8							360			B0Th5-05	
	臨床実習セミナーⅠ	講義		1				15						B0Th5-06	
	臨床実習セミナーⅡ	講義		1					30					B0Th5-07	
作業療法管理学	リハビリテーション管理学	講義	○	2							30			B0Ti3-01	必修2単位

IV
教育課程進度表

〈教育課程進度表 診療放射線学科 (2026年度入学生カリキュラム)〉

科目区分	授業科目の名称	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件		
				必修	選択	1年		2年		3年		4年					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎教育科目	人間と生活	スタートアップ講座	講義		1		15									BRTLA1-01	必修を含む8単位以上
	生命科学	講義	○	1		15										BRTLA1-02	
	心理学	講義	○	1		15										BRTLA1-03	
	倫理学	講義			1	15										BRTLA1-04	
	生命倫理	講義			1		15									BRTLA1-05	
	医療と宗教	講義			1		15									BRTLA1-06	
	人間関係の科学	講義			1	15										BRTLA1-07	
	文化人類学	講義			1		15									BRTLA1-08	
	医療と社会	講義			1		15									BRTLA1-09	
	法学	講義			1		15									BRTLA1-10	
	教育学	講義			1		15									BRTLA1-11	
	北海道史	講義			1	15										BRTLA1-12	
	ボランティア論	講義			1			15								BRTLA1-13	
	医療コミュニケーション学	講義	○	1			15									BRTLA1-14	
	科学的思考の基礎	物理学	講義	○	2		30									BRTLA1-15	必修を含む10単位以上
	化学	講義		1		15										BRTLA1-16	
	生物学	講義		1		15										BRTLA1-17	
	生活と運動	演習			1	30										BRTLA1-18	
	健康とスポーツ	演習			1			30								BRTLA2-19	
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	講義		2		30										BRTLA1-20	
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	講義	○	1			15									BRTLA1-21	
	数学Ⅲ(統計学)	講義			1		15									BRTLA1-22	
	情報科学	講義	○	1			15									BRTLA1-23	
	情報科学演習	演習			1		30									BRTLA1-24	
	語学	日本語表現	演習		1	30										BRTLA1-25	3単位以上 必修を含む
	英語Ⅰ	演習	○	1		30										BRTLA1-26	
	英語Ⅱ	演習			1		30									BRTLA1-27	
	韓国語	演習			1			30								BRTLA2-28	
	中国語	演習			1		30									BRTLA1-29	
専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	講義	○	1		15									BRTa1-01	必修を含む15単位以上
	系統解剖学	講義		2		30										BRTa1-02	
	系統解剖学演習	演習			1		30									BRTa1-03	
	臨床解剖学	講義		2			30									BRTa1-04	
	臨床解剖学演習	演習			1			30								BRTa2-05	
	生理学	講義			1			15								BRTa2-06	
	病態生理学	講義	○	1					15							BRTa2-07	
	病理学	講義		1				15								BRTa2-08	
	生化学	講義		1				15								BRTa2-09	
	臨床薬理学Ⅰ	講義	○	1						15						BRTa3-10	
	臨床薬理学Ⅱ	講義			1					15						BRTa3-11	
	衛生学	講義	○	1			15									BRTa1-12	
	公衆衛生学	講義	○	1								15				BRTa4-13	
	臨床医学概論	講義	○	1					15							BRTa2-14	
	臨床医学演習	演習			1					30						BRTa3-15	
基礎教育科目	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	講義		2		30									BRTb1-01	必修を含む19単位以上
	放射線生物学	講義	○	2			30									BRTb1-02	
	放射線生物学演習	演習			1			30								BRTb2-03	
	放射線物理学	講義	○	2			30									BRTb1-04	
	放射線物理学演習	演習			1			30								BRTb2-05	
	放射線・物理学実験	実習	○	1			30									BRTb1-06	
	放射化学	講義	○	2			30									BRTb1-07	
	放射化学演習	演習			1			30								BRTb2-08	
	医用工学	講義	○	2			30									BRTb1-09	
	医用工学演習	演習			1							30				BRTb4-10	
	放射線計測学	講義	○	2				30								BRTb2-11	
	放射線計測学演習	演習	○	1								30				BRTb4-12	
	診療画像検査学概論	講義		2			30									BRTb1-13	
機能と役割	基礎看護学	講義	○	1				15								BRTc2-01	5単位以上 必修を含む
	チーム医療論	講義	○	1				15								BRTc2-02	
	医療経済学	講義			1			15								BRTc2-03	
	心の健康科学Ⅰ	講義			1			15								BRTc2-04	
	放射線カウンセリング学	講義			1				15							BRTc2-05	
医療職としての責任と役割	講義	○	1								15				BRTc4-06		

科目区分	授業科目の名称	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門	診療画像技術学Ⅰ（一般撮影）	講義	○	2					30						BRTd2-01	必修22単位※
	診療画像技術学Ⅱ（造影検査）	講義	○	2						30					BRTd2-02	
	X線CT検査学	講義	○	1				15							BRTd2-03	
	MRI検査学	講義	○	2					30						BRTd2-04	
	超音波検査学	講義	○	2						30					BRTd3-05	
	診療画像技術学演習※	演習			1							30			BRTd4-06	
	放射線技術学実習Ⅰ	実習	○	1				30							BRTd5-07	
	放射線技術学実習Ⅱ	実習	○	1					30						BRTd5-08	
	放射線技術学実習Ⅲ	実習	○	1						30					BRTd5-09	
	診療画像機器学	講義	○	2				30							BRTd2-10	
	診療画像機器学演習※	演習			1							30			BRTd4-11	
	画像解剖学Ⅰ（X線画像）	講義	○	2					30						BRTd2-12	
	画像解剖学Ⅱ（MRI・超音波）	講義	○	2						30					BRTd3-13	
	画像解剖学Ⅲ（演習）※	演習			1						30				BRTd3-14	
	実践臨床画像学	講義	○	2							30				BRTd3-15	
	画像診断学	講義	○	2								30			BRTd3-16	
	画像診断学演習※	演習			1								30		BRTd4-17	
教育	核医学検査技術学	放射線医学	講義	○	1				15						BRTe2-01	必修6単位※
	核医学検査技術学概論	講義		1						15					BRTe3-02	
	核医学検査機器学	講義	○	2						30					BRTe3-03	
	核医学検査技術学	講義	○	2							30				BRTe3-04	
	核医学検査技術学演習※	演習			1							30			BRTe4-05	
育	放射線治療技術学	放射線治療	講義		2				30						BRTf2-01	必修7単位※
	放射線治療技術学	講義	○	2						30					BRTf3-02	
	放射線治療計測学	講義	○	1								15			BRTf4-03	
	放射線治療機器学	講義	○	2							30				BRTf3-04	
	放射線治療技術学演習※	演習			1							30			BRTf4-05	
科	医療画像情報学	医療画像情報	講義	○	1				15						BRTg2-01	必修6単位※
	医療画像工学	講義	○	2					30						BRTg3-02	
	医療画像情報学	講義	○	2						30					BRTg3-03	
	医療画像情報学演習※	演習			1							30			BRTg4-04	
	医療情報管理学	講義	○	1								15			BRTg4-05	
目	放射線安全管理学	放射線安全	講義	○	2						30				BRTk3-01	4単位 必修
	医療機器安全管理学	講義	○	1						15					BRTk3-02	
	関係法規	講義	○	1								15			BRTk4-03	
目	医療安全管理学	医療安全	講義	○	1						15				BRTi3-01	必修 2単位
	応急処置法（演習）	演習		1								30			BRTi4-02	
	早期臨床実習	実習	○	1					45						BRTj5-01	
目	臨床実習Ⅰ	実習	○	5							225				BRTj5-02	12単位 必修
	臨床実習Ⅱ	実習	○	6								270			BRTj5-03	
	放射線技術学特別講義※	講義			1							30			BRTk4-01	
目	総合演習Ⅰ（専門基礎領域）	演習		1									30		BRTk4-02	2単位 必修
	総合演習Ⅱ（臨床領域）	演習		1									30		BRTk4-03	
	診療放射線学コロキウム	演習	○	1							30				BRTl5-01	
卒業研究	卒業研究	演習		2								30	30	BRTl5-02	必修 1単位※	

※診療画像技術学・画像診断学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医療画像情報学、総合科目、卒業研究の全ての選択科目の中から7単位以上を修得

〈教育課程進度表 臨床検査学科（2025年度以降入学生カリキュラム）〉

科目区分	科目名	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件			
				必修	選択	1年		2年		3年		4年						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
基礎教育科目	生命科学	講義		1			15								BCLLA1-01	必修を含む9単位以上		
	心理学	講義		1		15									BCLLA1-02			
	コミュニケーション学	講義		1		15									BCLLA1-03			
	倫理学	講義			1	15									BCLLA1-04			
	生命倫理	講義			1	15									BCLLA1-05			
	医療と哲学	講義			1	15									BCLLA1-06			
	人間関係の科学	講義			1	15									BCLLA1-07			
	文化人類学	講義			1	15									BCLLA1-08			
	医療と社会	講義			1	15									BCLLA1-09			
	法学	講義			1	15									BCLLA1-10			
	教育学	講義			1	15									BCLLA1-11			
	北海道史	講義			1	15									BCLLA1-12			
	ボランティア論	講義			1			15							BCLLA2-13			
	科学的思想の基礎	スタートアップ講座	講義	○	1		15									BCLLA1-14	7単位以上 必修を含む	
		物理学	講義			1	15									BCLLA1-15		
		化学	講義		1		15									BCLLA1-16		
		生物学	講義		1		15									BCLLA1-17		
		生活と運動	演習			1	30									BCLLA1-18		
		健康とスポーツ	演習			1	30									BCLLA1-19		
		数学	講義		1		15									BCLLA1-20		
		数学（統計学）	講義		1		15									BCLLA1-21		
語学		日本語表現	演習			1	30									BCLLA1-22		位以上 必修を含む5単
		英語Ⅰ	演習		1		30									BCLLA1-23		
	英語Ⅱ	演習		1		30									BCLLA1-24			
	英語Ⅲ	演習		1		30		30							BCLLA2-25			
	中国語	演習			1	30									BCLLA1-26			
	韓国語	演習			1		30								BCLLA2-27			
専門基礎教育科目	人体の構造と機能	解剖学	講義	○	1	15									BCLa1-01	必修8単位		
		解剖学演習	演習	○	1	30									BCLa1-02			
		組織細胞学	講義	○	1		15								BCLa1-03			
		組織細胞学実習	実習	○	1		45								BCLa5-04			
		生理学Ⅰ	講義	○	1	15									BCLa1-05			
		生理学Ⅱ	講義	○	1	15									BCLa1-06			
		生化学Ⅰ	講義	○	1	15									BCLa1-07			
		生化学Ⅱ	講義	○	1	15									BCLa1-08			
	医学検査の基礎と関連	病理学	講義	○	1	15										BCLb1-01	必修6単位	
		免疫学	講義	○	1	15										BCLb1-02		
		臨床栄養概論	講義		1						15					BCLb4-03		
		臨床薬理概論	講義		1				15							BCLb2-04		
		臨床病棟検査概論	講義		1				15							BCLb2-05		
		臨床検査入門	講義		1	15										BCLb1-06		
		保健医療福祉と医学検査	保健医療福祉概論	講義		1	15											BCLc1-01
公衆衛生学	講義			1			15								BCLc2-02			
救命救急検査概論	講義			1						15					BCLc4-03			
地域医療連携学	講義			1			15								BCLc2-04			
チーム医療論	講義		○	1					15						BCLc3-05			
医学情報科学及	情報科学	講義		1	15										BCLd1-01	必修4単位		
	情報科学演習	演習		1	30										BCLd1-02			
	医用工学Ⅰ	講義		1						15					BCLd4-03			
	医用工学Ⅱ	講義		1						15					BCLd4-04			
専門教育科目	臨床病態学	臨床検査医学総論Ⅰ	講義		1	15									BCLe1-01	必修15単位		
		臨床検査医学総論Ⅱ	講義		1		15								BCLe2-02			
		症例細胞診検査学	講義		1					15							BCLe3-03	
		症例血液・染色体検査学	講義	○	1					15							BCLe3-04	
		症例微生物・感染制御学	講義	○	1					15							BCLe3-05	
		症例臨床化学・免疫検査学	講義	○	1					15							BCLe3-06	
		症例輸血検査学	講義	○	1					15							BCLe3-07	
		症例生理機能検査学	講義	○	1					15							BCLe3-08	
		臨床検査総論演習	演習	○	7								210				BCLe4-09	

科目区分	科目名	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門	病理検査学	講義	○	1				15						BCLf2-01	必修10単位	
	細胞検査学	講義	○	1				15						BCLf2-02		
	病理検査学実習	実習	○	1				45						BCLf5-03		
	細胞検査学実習	実習	○	1				45						BCLf5-04		
	臨床血液学Ⅰ	講義	○	1		15								BCLf1-05		
	臨床血液学Ⅱ	講義	○	1			15							BCLf2-06		
	臨床血液学実習Ⅰ	実習	○	1			45							BCLf5-07		
	臨床血液学実習Ⅱ	実習	○	1				45						BCLf5-08		
	病理検査学総合演習	演習	○	1					30							BCLf3-09
	血液検査学総合演習	演習	○	1							30					BCLf4-10
専門	一般検査学	講義	○	1		15								BCLg1-01	必修11単位	
	一般検査学実習	実習	○	1		45								BCLg5-02		
	臨床化学Ⅰ	講義	○	1		15								BCLg1-03		
	臨床化学Ⅱ	講義	○	2			30							BCLg2-04		
	臨床化学実習Ⅰ	実習	○	1			45							BCLg5-05		
	臨床化学実習Ⅱ	実習	○	1				45						BCLg5-06		
	遺伝子・染色体検査学	講義	○	1			15							BCLg2-07		
	遺伝子検査学実習	実習	○	1			45							BCLg5-08		
	一般検査学総合演習	演習	○	1					30							BCLg3-09
	分析検査学総合演習	演習	○	1					30							BCLg3-10
教育	微生物学	講義	○	1		15								BCLh1-01	必修15単位	
	臨床微生物学Ⅰ	講義	○	1			15							BCLh2-02		
	臨床微生物学Ⅱ	講義	○	1				15						BCLh2-03		
	臨床微生物学Ⅲ	講義	○	1				15						BCLh2-04		
	臨床微生物学実習Ⅰ	実習	○	1			45							BCLh5-05		
	臨床微生物学実習Ⅱ	実習	○	2				90						BCLh5-06		
	臨床免疫学	講義	○	1		15								BCLh1-07		
	臨床免疫学実習	実習	○	1			45							BCLh5-08		
	輸血・移植検査学Ⅰ	講義	○	1			15							BCLh2-09		
	輸血・移植検査学Ⅱ	講義	○	1				15						BCLh2-10		
	輸血・移植検査学Ⅲ	講義	○	1					15					BCLh3-11		
	輸血検査学実習	実習	○	1					45					BCLh5-12		
	微生物検査学総合演習	演習	○	1							30			BCLh4-13		
	免疫検査学総合演習	演習	○	1							30			BCLh4-14		
科	臨床生理学Ⅰ	講義	○	2			30							BCLi2-01	必修11単位	
	臨床生理学Ⅱ	講義	○	1			15							BCLi2-02		
	臨床生理学Ⅲ	講義	○	1				15						BCLi2-03		
	臨床生理学Ⅳ	講義	○	1				15						BCLi2-04		
	臨床生理学Ⅴ	講義	○	1					15					BCLi3-05		
	臨床生理学実習Ⅰ	実習	○	2				90						BCLi5-06		
	臨床生理学実習Ⅱ	実習	○	2					90					BCLi5-07		
	生理機能検査学総合演習	演習	○	1							30			BCLi4-08		
目	検査機器総論演習	演習		1		30								BCLj1-01	必修7単位	
	専門検査技師総論	講義		1							15			BCLj4-02		
	臨床検査管理学Ⅰ	講義		1				15						BCLj2-03		
	臨床検査管理学Ⅱ	演習		1					30					BCLj3-04		
	臨床検査マネジメント論	講義		1							15			BCLj4-05		
	関係法規	講義	○	1					15					BCLj3-06		
	臨地実習前総合実習	実習	○	1						45				BCLj5-07		
医療安全管理学	感染管理学	講義	○	1			15							BCLk2-01	3単位 必修	
	医療安全管理学	講義	○	1		15								BCLk1-02		
	医療安全管理学実習	実習	○	1		45								BCLk5-03		
実習地	臨地実習	実習	○	11						330				BCLl5-01	必修11単位	
卒業研究	卒業研究	演習		4							120			BCLm5-01	必修4単位	

〈教育課程進度表 臨床工学科 (2026年度入学生カリキュラム)〉

科目区分	科目名	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎教育科目	スタートアップ講座	講義		1		15									BCELA1-01	必修を含む6単位以上
	心理学	講義		1		15									BCELA1-02	
	生命科学	講義		1		15									BCELA1-03	
	コミュニケーション学	講義		1		15									BCELA1-04	
	倫理学	講義			1	15									BCELA1-05	
	生命倫理	講義			1	15									BCELA1-06	
	医療と哲学	講義			1	15									BCELA1-07	
	人間関係の科学	講義			1	15									BCELA1-08	
	医療と宗教	講義			1			15							BCELA2-09	
	文化人類学	講義			1	15									BCELA1-10	
	医療と社会	講義			1	15									BCELA1-11	
	生活と運動	演習			1	30									BCELA1-12	
	健康とスポーツ	演習			1	30									BCELA1-13	
	法学	講義			1	15									BCELA1-14	
	教育学	講義			1	15									BCELA1-15	
	北海道史	講義			1	15									BCELA1-16	
	ボランティア論	講義			1				15						BCELA3-17	
	科学的思考の基盤	物理学Ⅰ	講義		1		15								BCELA1-18	必修8単位
		物理学Ⅱ	講義		1		15								BCELA1-19	
		化学	講義		1		15								BCELA1-20	
		生物学	講義		1		15								BCELA1-21	
		数学Ⅰ	講義		2		30								BCELA1-22	
		数学Ⅱ	講義		1		15								BCELA1-23	
		数学Ⅲ	講義		1					15					BCELA3-24	
	語学	日本語表現	演習			1	30								BCELA1-25	4単位以上 必修を含む
		英語Ⅰ	演習		1		30								BCELA1-26	
		英語Ⅱ	演習		1			30							BCELA2-27	
		英語Ⅲ	演習		1				30						BCELA3-28	
		中国語	演習			1	30								BCELA1-29	
	韓国語	演習			1				30					BCELA3-30		
専門基礎	人体の構造と機能	講義	○	2		30								BCeA1-01	必修8単位	
	解剖生理学Ⅱ	講義	○	2		30								BCeA1-02		
	解剖生理学演習	演習	○	2		30								BCeA1-03		
	生化学	講義		1		15								BCeA1-04		
	生体防御学	講義		1		15								BCeA1-05		
	臨床学に必要な医学的基礎	医療総論	講義		1	15									BCeB1-01	必修9単位
	病理学	講義		2				30							BCeB2-02	
	微生物学	講義		2				30							BCeB2-03	
	臨床薬理概論	講義		1					15						BCeB3-04	
	公衆衛生学	講義		1				15							BCeB2-05	
医療コミュニケーション論	講義		1							15				BCeB4-06		
チーム医療論	講義		1						15					BCeB3-07		
基礎教育科目	臨床工学に必要な理工学的基礎	機械工学	○	2				30							BCeC2-01	必修を含む17単位以上
	電気工学Ⅰ	講義	○	2		30									BCeC1-02	
	電気工学Ⅱ	講義	○	2		30									BCeC1-03	
	電子工学	講義	○	2			30								BCeC2-04	
	計測工学	講義	○	1		15									BCeC1-05	
	基礎理工学総合Ⅰ	講義			1			15							BCeC2-06	
	基礎理工学総合Ⅱ	講義			1					15					BCeC3-07	
	基礎理工学総合Ⅲ	講義			2							30			BCeC4-08	
	基礎理工学実習Ⅰ	実習	○	1		45									BCeC5-09	
	基礎理工学実習Ⅱ	実習	○	1			45								BCeC5-10	
	基礎理工学演習Ⅰ	演習	○	1		30									BCeC1-11	
	基礎理工学演習Ⅱ	演習	○	1					30						BCeC3-12	
	基礎理工学演習Ⅲ	演習	○	2							60				BCeC4-13	
臨床学に必要な医療情報学	情報処理	講義			1	15									BCeD1-01	7単位以上 必修を含む
	情報科学	講義			1	15									BCeD1-02	
	医療情報学	講義		2			30								BCeD2-03	
	システム工学	講義		2				30							BCeD3-04	
	医療倫理情報学	講義		2				30							BCeD2-05	

科目区分	科目名	講義形態	主要授業科目	単位数		配当年次・時間数								ナンバリングコード	卒業要件	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育	臨床工学概論	講義	○	1		15								BCEe1-01	必修を含む9単位以上	
	臨床工学概論演習	演習	○	1		15								BCEe1-02		
	材料工学Ⅰ	講義		1			15							BCEe2-03		
	材料工学Ⅱ	講義		1	1				15					BCEe3-04		
	物性工学Ⅰ	講義		1		15								BCEe1-05		
	物性工学Ⅱ	講義		1	1					15				BCEe3-06		
	医用工学概論	講義	○	2		30								BCEe1-07		
	医用工学概論演習Ⅰ	演習	○	1			30							BCEe2-08		
	医用工学概論演習Ⅱ	演習	○	1								30		BCEe4-09		
	医用治療機器学	講義	○	2			30							BCEf2-01	必修を含む18単位以上	
	医用治療機器学演習	演習	○	1								30		BCEf4-02		
	生体計測装置学Ⅰ	講義	○	1			30							BCEf2-03		
	生体計測装置学Ⅱ	講義	○	1			30							BCEf2-04		
	生体計測技術学	講義	○	1				15						BCEf2-05		
	生体計測装置学演習Ⅰ	演習	○	1			30							BCEf2-06		
	生体計測装置学演習Ⅱ	演習	○	1								30		BCEf4-07		
	生体計測技術学実習	実習	○	1					45					BCEf5-08		
	循環器治療機器学Ⅰ	講義	○	1				15						BCEf2-09		
	循環器治療機器学Ⅱ	講義	○	1					15					BCEf3-10		
	循環器治療機器学Ⅲ	講義	○	1						15				BCEf3-11		
	消化器治療機器学	講義	○	1				15						BCEf2-12		
	臨床機器学各論Ⅰ	講義			1					15				BCEf3-13		
	臨床機器学各論Ⅱ	講義			1					15				BCEf3-14		
	臨床機器学各論Ⅲ	講義			1					15				BCEf3-15		
	臨床機器学各論Ⅳ	講義			1					15				BCEf3-16		
	臨床支援技術学	講義	○	2					30					BCEf3-17		
	臨床支援技術学実習	実習	○	1							30			BCEf5-18		
	育科	生体機能代行装置学Ⅰ	講義	○	4			60							BCEg2-01	必修を含む20単位以上
		生体機能代行装置学Ⅱ	講義	○	2					30					BCEg3-02	
		生体機能代行装置学Ⅲ	講義	○	2						30				BCEg4-03	
		血液透析療法装置学Ⅰ	講義	○	2					30					BCEg3-04	
		血液透析療法装置学Ⅱ	講義	○	2						30				BCEg4-05	
		血液浄化療法装置学	講義			1					15				BCEg3-06	
		呼吸療法装置学	講義			1					15				BCEg3-07	
		体外循環療法装置学	講義			1					15				BCEg3-08	
		生体機能代行装置学演習Ⅰ	演習	○	1			30							BCEg2-09	
生体機能代行装置学演習Ⅱ		演習	○	1					30					BCEg3-10		
生体機能代行装置学実習Ⅰ		実習	○	1			45							BCEg5-11		
生体機能代行装置学実習Ⅱ		実習	○	2						90				BCEg5-12		
生体機能代行技術応用実習		実習	○	1						30				BCEg5-13		
目	医療安全管理学Ⅰ	講義	○	2			30							BCEhs-01	必修6単位	
	医療安全管理学Ⅱ	講義	○	1				15						BCEhs3-02		
	医療安全管理学実習	実習	○	1					30					BCEh5-03		
	医療安全管理学	講義	○	2						30				BCEh4-04		
関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ	講義	○	1				15						BCEi2-01	必修7単位	
	臨床医学総論Ⅱ	講義	○	1					15					BCEi3-02		
	臨床医学総論Ⅲ	講義	○	1					15					BCEi3-03		
	臨床医学総論Ⅳ	講義	○	1					15					BCEi3-04		
	臨床医学総論Ⅴ	講義	○	1					15					BCEi3-05		
	臨床医学演習	講義	○	2							60			BCEi4-06		
実臨床	臨床実習	実習	○	7							210			BCEj5-01	必修7単位	
卒業	卒業研究	演習	○	4								120		BCEk5-01	必修4単位	

V 關係規程

日本医療大学保健医療学部履修規程

第1章 目的

(目的)

第1条 この規程は、日本医療大学（以下「本学」という。）学則第6章の授業科目、履修方法、試験及び成績評価等の各条項の規定に基づき、学生の授業科目の履修等について必要な事項を定めることを目的とする。

第2章 授業科目及び単位

(授業科目)

第2条 各学年において履修する授業科目は、配当年度内に単位を修得することを原則とする。

2 在籍する学年より下級学年に配当されている授業科目を履修することは、当該学年の科目履修に支障のない範囲で認められるが、上級学年に配当されている授業科目は履修することはできない。

(単位)

第3条 授業科目の単位数及び必修・選択の別並びに卒業に必要な単位数は、本学学則第26条第2項の別表第2のとおりとする。

第3章 履修

(履修の登録)

第4条 授業科目を履修しようとする者は、各年次当初の所定の期日までに履修届を提出し、履修の登録を行わなければならない。

2 履修する授業科目においては、各年次の学年履修の上限単位（別表1）を超えての履修登録はできないことを原則とする。

3 後期開講科目の登録変更を希望する者は、所定の期間内に変更手続きをしなければならない。

4 所定期間外の履修登録及び登録変更は、教務委員長の認めたものに限る。

(重複履修の禁止)

第5条 次に掲げる授業科目の履修は認めない。

(1) すでに単位を修得している科目

(2) 授業時間が重複する科目

(出席・欠席)

第6条 履修する授業科目の授業には、原則として毎時間出席しなければならない。

2 やむを得ない事由により授業を欠席するときは、所定の欠席届を大学に提出しなければならない。

第4章 試験及び実習

(試験)

第7条 履修登録した授業科目の単位修得のために試験を行う。

2 試験の種類は定期試験、追試験及び再試験とする。

3 試験の方法は、筆記試験、レポート及び実技等とする。

(受験資格)

第8条 学生は、各学期に履修登録した授業科目についてのみ、受験することができる。

2 次の各号のいずれかに該当する者は、受験資格を有しない。

(1) 授業料等その他納入金が未納な者

(2) 講義、演習、実習及び実技による授業の出席回数が、その授業実施回数の3分の2未満の者

(受験資格の喪失)

第9条 次の各号のいずれかに該当する者は、当該科目の受験資格を失う。

(1) 学生証又は学生証の仮身分証明書を所持していない者

(2) 試験開始後20分を超えて遅刻した者

(3) 試験監督者の指示に従わない者

(4) 追試験及び再試験について所定の手続きを終了していない者

(定期試験)

第10条 定期試験は学期末の定められた期間に行う。

2 前項にかかわらず科目担当教員が必要と認める場合には、臨時試験を行うことができる。臨時試験の手続き及び実施は、科目担当教員の責任の下で行う。

(追試験)

第11条 本学が定める事由で定期試験又は定期試験に相当する臨時試験を受験できなかった者には、願い出により審査し、追試験の可否を決定する。

2 追試験受験の審査は教務委員会が行い、教務委員長が許可する。

3 追試験には、1科目につき受験手数料1,000円を課す。

(再試験)

第12条 単位認定に必要な評点に達しなかった者には、願い出により再試験を認めることがある。ただし、定期試験（定期試験に相当する臨時試験を含む）又は追試験を受験しなかった者は、再試験を願い出することはできない。

2 再試験に合格した者の評点は、60点「C評価（合格）」とする。

3 再試験には、1科目につき受験手数料2,000円を課す。

(追実習)

第13条 臨地・臨床実習において、本学が定める事由により出席日数が所要日数の3分の2を満たすことができなかった者には、願い出により審査し、追実習を認めることがある。

2 追実習の審査は教務委員会の議を経て、教務委員長が許可する。

3 追実習には、1科目につき手数料1,000円を課す。

(再実習)

第14条 臨地・臨床実習において、単位認定に必要な評点に達しなかった者には、再実習を認めることがある。

2 再実習には、学外の臨地・臨床実習と学内における補習がある。

3 再実習に合格した者の評点は、60点「C評価（合格）」とする。

4 再実習には、1科目につき手数料2,000円を課す。

(不正行為)

第15条 試験において不正行為をした者は、本学学則第41条による懲戒処分のほか、当該科目並びに当該試験期間中の全科目の試験の評点を0点とし、「D評価（不合格）」とする。

2 懲戒処分は、学生の懲戒に関する規程による。

第5章 成績評価

(成績評価)

第16条 授業科目の成績は、定期試験及びその他に実施された試験の結果に基づいて、科目担当者が総合的に評価する。

2 成績は、AA、A、B、C、Dの5種の評語又は評点をもって表し、基準は次のとおりとする。

成績評語	評点	単位付与
AA (秀)	100~90点	合格
A (優)	89~80点	
B (良)	79~70点	
C (可)	69~60点	
D (不可)	59点以下	不合格

第6章 単位授与

(GPA)

第17条 前条の学業成績による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点 (Grade Point Average、以下、「GPA」という。)を用いる。

2 前項に定めるGPAは、学業成績のうち、AAにつき4.0、Aにつき3.0、Bにつき2.0、Cにつき1.0、Dにつき0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する。

3 第1項のGPAの取扱いについては、日本医療大学GPA制度に関する内規によって別に定める。

(単位授与)

第18条 授業科目が終講し、次の要件が満たされた場合、学長が単位を授与する。

(1) 履修登録がなされていること

(2) 出席が授業実施回数の3分の2以上であること

(3) 評点が合格に達していること

(4) 当該学期の学費が納入されていること

第7章 進級および卒業要件

(進級要件)

第19条 進級要件は次のとおりとする。

(1) 1年次から2年次への進級については、次の進級要件を満たしていなければならない。

① 1年次に配当された必修科目を修得していなければならない。

② 必修科目の試験で不合格の場合は、必修科目1科目に限り仮進級の審査を受けることができる。

③ 仮進級の可否については、教務委員会の議を経て、教務委員長が進級者とともに教授会に意見を求めて学長が決定する。

(2) 2年次から3年次への進級については、次の進級要件を満たしていなければならない。

① 2年次に配当された必修科目を修得していなければならない。

② 必修科目の試験で不合格の場合は、2年次に配当されている必修科目1科目に限り、仮進級の審査を受けることができる。

③ 実習科目が不合格の場合は、仮進級を認めず、留年とする。

④ 仮進級の可否については、教務委員会の議を経て、教務委員長が進級者とともに教授会に意見を求めて学長が決定する。

(3) 3年次から4年次への進級については、3年次までに開講される全ての必修

科目の単位を修得していなければならない。

(仮進級)

第 19 条の 2 仮進級は次のとおりとする。

- (1) 学生は、該当年度に配当されている必修科目（選択必修含む）1 科目のみ不合格の場合、仮進級を申請することができる。失格の場合は対象外とする。
- (2) 仮進級した学生は、仮進級学年の前期定期試験後に組まれる仮進級者試験に申し込み、未修得科目の試験に合格しなければならない。この場合の受験手数料は 2,000 円とする。
- (3) 仮進級者試験で合格した場合の評価は 60 点「C 評価（合格）」とする。
- (4) 仮進級者試験で不合格の場合は次の学年への進級はできない。
- (5) 仮進級制度の適用は 3 年次までであり、最終学年の進級は第 19 条第 1 項第 3 号による。

(臨地・臨床実習科目の履修要件)

第 20 条 臨地・臨床実習に係る科目を履修するためには、前条の進級要件を満たし、かつ先修要件（別表 2）を満たしていなければならない。

(卒業の要件)

第 21 条 本学学則第 33 条の定めにより、その要件を満たす者は、卒業とする。

- 2 前項の定めによる卒業ができなかった者は、未修得科目の単位を修得しなくてはならない。
- 3 前項の卒業時期は、卒業の要件を満たした 9 月または 3 月とする。

第 8 章 資格取得のために必要な要件

(資格取得のために必要な要件)

第 22 条 国家試験受験資格の取得には、卒業に必要な授業科目の単位を修得しなければならない。

- 2 前項とは別に保健医療学部看護学科の W ライセンスコースに関する必要な事項は別に定める。

第 9 章 他の大学等における履修等

(他大学等の対象となる履修等)

第 23 条 本学学則第 31 条の定めにより、他の大学又は短期大学における本学入学前の履修等を、本学における授業科目の履修とみなし、相当の単位を認定することができる。

(他の大学等との協議に基づく学生の履修等)

第 24 条 本学学則第 30 条の定めにより、他の大学又は短期大学との協議に基づき、本学学生が入学後に当該大学等の授業科目を履修する場合の取扱いについては、他大学等における履修の取扱い規程による。

(認定単位及びその上限)

第 25 条 第 23 条及び第 24 条の履修等について認定できる単位数は、合計で 60 単位を超えないものとする。ただし、転入学をした者についてはこの限りではない。

2 編入学に関する規程第 10 条の定めにより、編入学をした者の入学前の既修得単位等として認定できる単位及びその上限は以下のとおりとする。

- (1) 基礎教育科目の単位認定は、認定単位の上限は定めない。
- (2) 専門基礎教育科目及び専門教育科目の単位認定は、認定単位の上限は 60 単位とする。
- 3 前項の単位には、本学学則第 30 条第 1 項の定めにより本学において履修したもののみならず単位を含むものとする。

(願い出の手續)

第 26 条 第 23 条の履修等における単位の認定を希望する者は、所定の願い出用紙を大学に提出しなければならない。

2 第 23 条の履修等については、単位修得証明書又はそれに準ずるもの及び履修等をした科目の授業概要を示す文書を添付し、原則として履修登録又は登録変更期間の 8 日前までに願い出なければならない。

3 編入学及び転入学試験の合格通知を受けた者は、第 23 条の中から該当する履修等にかかわる単位修得証明書又はそれに準ずるもの及び授業概要を示す文書を、指定の期日までに大学に提出しなければならない。

4 第 24 条の履修にかかわる願い出手続については、別に定める。

(単位の認定)

第 27 条 単位の認定は、教務委員会で審議し、かつ教授会に意見を求め学長が単位認定を行う。

(評価)

第 28 条 第 23 条の履修等に対して認定した単位の評価は、「N」の評語をもって表す。

2 第 23 条にかかわる履修等に対して認定した単位の評価については、別に定める。

(修業年限)

第 29 条 単位を認定された者の在学期間及び卒業に必要な単位は、本学学則第 7 条及び第 32 条の定めによるものとし、本学での修業年限の短縮は行わない。

(再入学をした者の既修得単位等認定)

第 30 条 再入学をした者の再入学前の既修得単位等認定の取扱いについては、

再入学に関する規程に定める。

第 10 章 補則

(改廃)

第 31 条 この規程の改廃は、教授会に意見を求めて学長が行う。

附則

- 1 この規程は令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この規程は令和 8 年 4 月 1 日現在で保健医療学部在学する学生にも適用する。

別表1 (第4条第2項関係 上限単位)

1年間の上限

看護学科

入学年度 学年	2019年	2020年～ 2021年	2022年～ 2024年	2025年以降
1年	39単位	43単位	45単位	54単位
2年	39単位	40単位	40単位	46単位
3年	33単位	30単位	31単位	27単位
4年	19単位	17単位	18単位	17単位

リハビリテーション学科 (理学療法専攻・作業療法専攻)

入学年度 学年	2019年～ 2021年	2022年～ 2024年	2025年以降
1年	47単位	47単位	50単位
2年	41単位	41単位	35単位
3年	38単位	37単位	38単位
4年	21単位	21単位	21単位

診療放射線学科

入学年度 学年	2019年	2020年～ 2021年	2022年～ 2025年	2026年以降
1年	34単位	33単位	47単位	48単位
2年	40単位	41単位	37単位	37単位
3年	42単位	42単位	36単位	36単位
4年	28単位	28単位	25単位	25単位

臨床検査学科

入学年度 学年	2021年	2022年～ 2024年	2025年	2026年以降
1年	45単位	45単位	43単位	48単位
2年	36単位	36単位	36単位	42単位
3年	37単位	37単位	39単位	34単位
4年	24単位	28単位	31単位	24単位

臨床工学科

入学年度 学年	2022年～ 2024年	2025年	2026年以降
1年	48単位	48単位	48単位
2年	45単位	45単位	38単位
3年	38単位	38単位	40単位
4年	29単位	29単位	30単位

別表2 先修要件
(看護学科) 2019年度まで

臨地実習科目	先修要件
基礎看護学実習Ⅰ	看護学概論、看護の基本技術論、生活援助技術Ⅰ、生活援助技術Ⅱ、生活援助技術Ⅲの科目の単位を修得していること、看護過程論、看護ヘルスアセスメント論の単位を修得見込みであること
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅰ及び看護過程論、看護ヘルスアセスメント論の単位を修得していること、診療過程の援助技術の単位を修得見込みであること
成人看護学実習Ⅰ	成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲ、成人看護学特論の科目を修得、もしくは修得見込みであること
成人看護学実習Ⅱ	成人看護学実習Ⅰ又は成人看護学実習Ⅱかつ、老年看護学実習Ⅰ又は老年看護学実習Ⅱ、精神看護学実習かつ、母性看護学実習又は小児看護学実習の科目の単位を修得もしくは修得見込みであること
老年看護学実習Ⅰ	老年看護学概論、高齢者の健康障害、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱの科目を修得、もしくは修得見込みであること
老年看護学実習Ⅱ	老年看護学実習Ⅰの単位を修得していること
精神看護学実習	精神看護学概論、精神の健康障害、精神看護援助論の科目を修得、もしくは修得見込みであること
母性看護学実習	母性看護学概論、女性の健康障害、母性看護援助論の科目を修得、もしくは修得見込みであること
小児看護学実習	小児看護学概論、小児の健康障害、小児看護援助論の科目を修得、もしくは修得見込みであること
在宅看護学実習	在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ、在宅看護援助論Ⅱの科目を修得、もしくは修得見込みであること
統合実習	成人看護学実習Ⅰ又は成人看護学実習Ⅱかつ、老年看護学実習Ⅰ又は老年看護学実習Ⅱ、精神看護学実習かつ、母性看護学実習又は小児看護学実習の科目の単位を修得もしくは修得見込みであること

(看護学科) 2020年度～2021年度

臨地実習科目	先修要件
基礎看護学実習Ⅰ	看護学概論、看護の基本技術論、生活援助技術Ⅰ、生活援助技術Ⅱ、生活援助技術Ⅲの科目の単位を修得していること、看護過程論、看護ヘルスアセスメント論の単位を修得見込みであること
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅰ及び看護ヘルスアセスメント論の単位を修得していること、看護過程論、診療過程の援助技術の単位を修得見込みであること
成人看護学実習Ⅰ	成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲ、成人看護学特論の科目を修得、もしくは修得見込みであること
成人看護学実習Ⅱ	成人看護学実習Ⅰ又は成人看護学実習Ⅱかつ、老年看護学実習Ⅰ又は老年看護学実習Ⅱ、精神看護学実習かつ、母性看護学実習又は小児看護学実習の科目の単位を修得もしくは修得見込みであること
老年看護学実習Ⅰ	老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱの科目を修得、もしくは修得見込みであること
老年看護学実習Ⅱ	老年看護学実習Ⅰの単位を修得していること
精神看護学実習	精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱの科目を修得、もしくは修得見込みであること
母性看護学実習	母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの科目を修得、もしくは修得見込みであること
小児看護学実習	小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱの科目を修得、もしくは修得見込みであること
在宅看護学実習	在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ、在宅看護援助論Ⅱの科目を修得、もしくは修得見込みであること
統合実習	成人看護学実習Ⅰ又は成人看護学実習Ⅱかつ、老年看護学実習Ⅰ又は老年看護学実習Ⅱ、精神看護学実習かつ、母性看護学実習又は小児看護学実習の科目の単位を修得もしくは修得見込みであること

(看護学科) 2022年度入学生～

臨地実習科目	先修要件
初期実習	なし
基礎看護学実習Ⅰ	看護学概論、看護の基本技術論、生活援助技術Ⅰ、生活援助技術Ⅱ、生活援助技術Ⅲの単位を修得していること
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅰ、看護ヘルスアセスメント論の単位を修得していること、及び看護過程論の単位を修得見込みであること
成人看護学実習Ⅰ	成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱの単位を修得していること
成人看護学実習Ⅱ	成人看護学実習Ⅰの単位及び、成人看護援助論Ⅰ、成人看護学特論の単位を修得していること
老年看護学実習Ⅰ	老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱの単位を修得していること
老年看護学実習Ⅱ	老年看護学実習Ⅰの単位を修得していること
精神看護学実習	精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱの単位を修得していること
母性看護学実習	母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの単位を修得していること
小児看護学実習	小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱの単位を修得していること
地域・在宅看護学実習	地域・在宅看護学概論、地域生活支援論、在宅看護援助論の単位を修得していること
統合実習	成人看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ、母性看護学実習、小児看護学実習、地域・在宅看護学実習の単位を修得見込みであること

(看護学科) 2025年度入学生～

臨地実習科目	先修要件
初期実習	なし
基礎看護学実習Ⅰ	看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術論Ⅱ、基礎看護技術論Ⅲの単位を修得していること
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護技術論Ⅳ、基礎看護技術論Ⅴ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得していること
成人看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱの単位を修得していること
老年看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱの単位を修得していること
精神看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ、精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱの単位を修得していること
母性・小児看護学実習	小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱ、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの単位を修得していること
地域・在宅看護学実習	地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護援助論Ⅰ、地域・在宅看護援助論Ⅱの単位を修得していること
統合実習	3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

(リハビリテーション学科 理学療法専攻) 2018年度入学生まで

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	2年次前期の専門基礎教育科目の必修科目（「生理学演習」「運動学」「整形外科」「神経内科学」「小児科学」と、専門教育科目の「理学療法セミナーⅠ」「運動療法」の単位を修得していること
臨床実習Ⅱ	専門教育科目の「理学療法セミナーⅢ」「臨床判断学（基礎編）」の単位を修得していること
臨床実習Ⅲ	3年次後期までの専門基礎教育科目と専門教育科目の履修科目の単位をすべて修得していること

(リハビリテーション学科 作業療法専攻) 2018年度入学生まで

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	2年次前期の専門基礎教育科目の必修科目（「生理学演習」「運動学」「整形外科」「神経内科学」「小児科学」と、専門教育科目の「作業療法評価学」「作業療法評価学演習（基礎評価）」「作業療法評価学演習（骨・関節系）」の単位を修得していること
臨床実習Ⅱ	専門教育科目の「作業療法セミナーⅢ」「身体障害作業治療学（運動器・内部障害系）」「日常生活適応学（ADL）」の単位を修得していること
臨床実習Ⅲ	3年次後期までの専門基礎教育科目と専門教育科目の履修科目の単位をすべて修得していること

〈リハビリテーション学科〉2019年度入学生～

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	1年次前期のリハビリテーション論、理学療法概論（理学療法学専攻）、作業療法概論（作業療法学専攻）を修得し、2年次前期の必修科目をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	3年次前期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅲ	3年次後期までの履修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅳ	

〈リハビリテーション学科 理学療法学専攻〉2025年度入学生～

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	1年次前期のリハビリテーション論、理学療法概論を修得し、2年次前期の必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	3年次前期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅲ	3年次後期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅳ	

〈リハビリテーション学科 作業療法学専攻〉2025年度入学生～

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	1年次前期のリハビリテーション論、作業療法概論を修得し、2年次前期の必修科目の単位をすべて修得していること
地域臨床実習	2年次後期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	3年次前期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅲ	3年次後期までの必修科目の単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅳ	

〈診療放射線学科〉2017年度～2021年度入学生

臨床実習科目	先修要件
臨床実習Ⅰ	2年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

〈診療放射線学科〉2022年度入学生～2023年度入学生

臨床実習科目	先修要件
早期臨床実習	履修条件は、1年次後期までの必修単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅰ	履修条件は、2年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	履修条件は、3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

〈診療放射線学科〉2024年度入学生～

臨床実習科目	先修要件
早期臨床実習	履修条件は、1年次後期までの専門基礎教育科目の必修単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅰ	履修条件は、2年次後期までの専門基礎教育科目および専門教育科目の必修単位をすべて修得していること
臨床実習Ⅱ	履修条件は、3年次後期までの専門基礎教育科目および専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

〈臨床検査学科〉2021年度入学生～

臨床実習科目	先修要件
臨床実習	3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

〈臨床検査学科〉2022年度入学生～

臨床実習科目	先修要件
臨床実習	2年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得していること

〈臨床工学科〉2022年度入学生～

臨床実習科目	先修要件
臨床実習	3年次後期までの専門基礎教育科目及び専門教育科目の必修単位をすべて修得し、3年次に実施するOSCE（客観的臨床能力試験）に合格していること

日本医療大学 GPA 制度に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、日本医療大学履修規程（以下「規程」という。）第17条に基づき、GPA (Grade Point Average) 制度について必要な事項について定める。

(目的)

第2条 GPA 制度は、学生に個人成績の学内での相対的な位置付けを把握させることにより、学生の学修意欲を高めるとともに、学生の学修支援に役立つことを目的とする。

(GPA の定義)

第3条 GPA とは、個々の学生の学修時間当たりの学修到達度を表す指標となる数値で、履修した授業科目の成績評価における GP (Grade Point) に当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値 (Average) をいう。

(GPA 算定対象授業科目)

第4条 GPA の算定対象となる授業科目は、卒業要件単位に含む科目とする。
なお、「認定」評価の科目や各学部において GPA の算定対象外と定めたものは除く。

(GP)

第5条 GP とは、規程第17条第2項に定めるポイントをいう。

(GPA の種類)

第6条 GPA は、当該学期において学修達成度を示す指標として「年度学期 GPA」、「年度 GPA」と在学中の全学期において学修達成度を示す指標として「通算 GPA」に区分される。

(年度学期 GPA)

第7条 年度学期 GPA は、各学期において評価された成績評価を基に、次の式により算定する。計算値は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までとする。

「年度学期 GPA = (当該学期科目の GP × 当該科目の単位数) の総和 / 当該学期科目の合計単位数」

(年度 GPA)

第8条 年度 GPA は、各年度において評価された成績評価を基に、次の式により算定する。計算値は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までとする。

「年度 GPA = (当該年度科目の GP × 当該科目の単位数) の総和 / 当該年度科目の合計単位数」

(通算 GPA)

第9条 通算 GPA は、在学中に評価された成績評価を基に、次の式により算定する。計算値は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までとする。

「通算 GPA = (在学中の科目の GP × 当該科目の単位数) の総和 / 在学中の科目の合計単位数」

2 成績評価の追加又は変更がなされた場合、通算 GPA の再計算を行う。

3 再度履修した授業科目は、いかなる成績評価においても GP 及び単位数を通算 GPA に上書きしない。

(GPA の活用)

第10条 GPA は、学生の学修意欲向上以外に特待生の選抜、学修支援及び修学指導、退学勧告、及びカリキュラムの改善等に活用する。

(GPA の記載及び通知)

第11条 学期 GPA、年間 GPA 及び通算 GPA は、成績原簿に記載し、成績通知書及びユニバーサルパスポートに記載する。

2 学生には、成績通知書及びユニバーサルパスポートにより、学期 GPA、年度 GPA 及び通算 GPA を通知する。

(事務)

第12条 本内規に関する事務は、教務担当事務が所掌する。

(改訂)

第13条 本内規の改廃については、学長の承認を得る。

附則

この内規は、令和8年4月1日から施行する。

履修の手引き 2026

発行日 2026年4月

発行 日本医療大学

■保健医療学部（月寒本キャンパス）

看護学科／リハビリテーション学科

（理学療法学専攻・作業療法学専攻）／

診療放射線学科／臨床検査学科／臨床工学科

〒062-0053 札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号

TEL：011-351-6100（代表）

